

S1-133 (第249・250図)

台地南端C2区の5F95-2グリッドを主体に位置し、SI-132によって北東隅を壊されているほか後世に削られており、堅穴の約1/4程度が失われている。平面形は方形を呈し、規模は北東壁5.30m、南東壁4.94mを測る規模の大きな堅穴である。ピットは5本検出された。P1~P4は主柱穴でP5は出入口施設のピットであろう。周溝は全周していたものと推測される。竈は北西壁の中央に構築され、煙道部の突出はほとんどない。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕1点である。堅穴の規模から古墳時代後期の堅穴と考えられ、2・3の坏は攪乱によって混入したものであろう。

S1-134 (第251図)

台地南端C2区の5F94-10グリッドに位置し、SI-135によって北西側を壊されている。堅穴の遺存は悪く南側の壁は失われている。平面形は方形を呈し、一辺約3.00mの規模と推定される。ピットは4本検出された。P1~P4は主柱穴と考えられる。周溝は全周していたと推測される。竈は北西壁に位置していたと思われるがSI-135に壊されている。

出土遺物は微量であり図示できるものはなかったが、SI-135より若干古い時期で大きな時期差を伴わないと思われる。

S1-135 (第251図)

台地南端C2区の5F94-10グリッドに位置し、SI-134を壊している。堅穴の遺存が悪く西側コーナーは失われている。平面形は方形を呈し、北壁2.62m、東壁2.71mを測る小規模な堅穴である。ピットは検出されなかった。周溝は全周していたと推測される。竈は検出できなかったが、西壁の中央に構築されていたと考えられる。

出土遺物は墨書を伴う土師器の坏1点が出土している。

S1-136 (第252図)

台地南端C2区の最西南端5F94-15グリッドを主体に位置している。南西斜面にかかる肩の部分にあって、堅穴の約1/3が失われている。平面形は方形を呈すると考えられ、規模は北東壁2.61mの小規模な堅穴である。ピットは検出されなかった。周溝は全周していたものと推測される。竈は南西壁に位置していたと考えられる。

出土遺物は皆無で、時期は不明だが9世紀代の堅穴であろう。

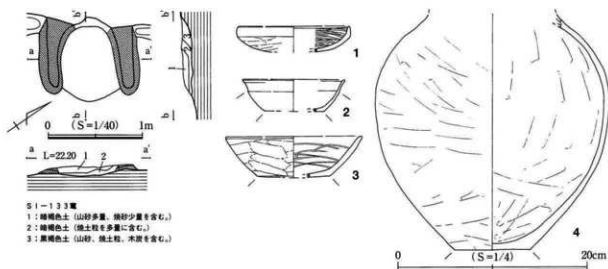
S1-141 (第253図)

台地南端C2区の最南端5F95-16グリッドを主体に位置している。南斜面にかかる肩の部分にあって、堅穴のほとんどが失われている。また、縄文時代の堅穴の一部を本堅穴が壊している。平面形は方形を呈すると考えられる。ピットや周溝は検出されなかった。伴出遺物からすれば、竈を伴っていたと考えられる。

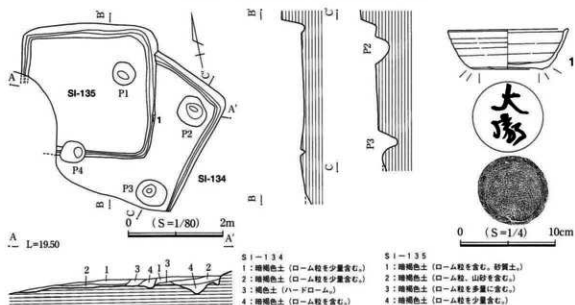
出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の坏1点と土玉1点、砥石1点である。

S1-146 (第254図)

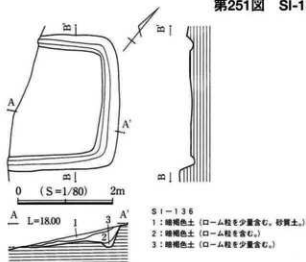
台地南側C1区の5F86-21グリッドを主体に位置している。後世の掘削によって堅穴の東側半分が失われている。遺存する堅穴は深い。平面形は方形を呈し、規模は北西壁2.89mを測る小規模な堅穴である。



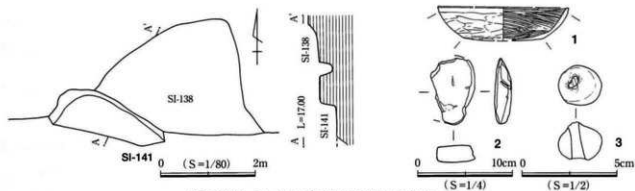
第250図 SI-133竈 実測図及び出土遺物



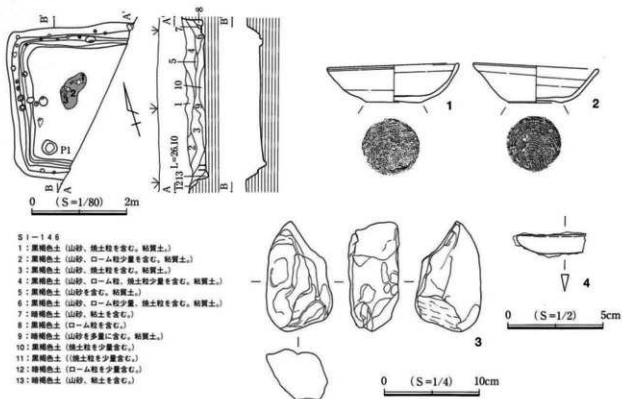
第251図 SI-134・135 実測図及び出土遺物



第252図 SI-136 実測図



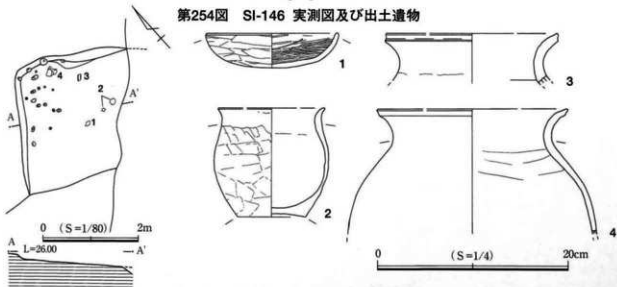
第253図 SI-141 実測図及び出土遺物



SI-146

- 1: 黄褐色土 (山砂, 焼土粒を含む, 粘質土。)
- 2: 黄褐色土 (山砂, ローム粒少量を含む, 粘質土。)
- 3: 黄褐色土 (山砂, 焼土粒を含む, 粘質土。)
- 4: 黄褐色土 (山砂, ローム粒, 焼土粒少量を含む, 粘質土。)
- 5: 黄褐色土 (山砂を含む, 粘質土。)
- 6: 黄褐色土 (山砂, ローム粒少量, 焼土粒を含む, 粘質土。)
- 7: 黄褐色土 (山砂, 粘土を含む。)
- 8: 黄褐色土 (ローム粒を含む。)
- 9: 黄褐色土 (山砂を多量に含む, 粘質土。)
- 10: 黄褐色土 (焼土粒を少量含む。)
- 11: 黄褐色土 (焼土粒を少量含む。)
- 12: 黄褐色土 (ローム粒を少量含む。)
- 13: 黄褐色土 (山砂, 粘土を含む。)

第254図 SI-146 実測図及び出土遺物



第255図 SI-147 実測図及び出土遺物

ピットは1本検出され、他に周溝内に小ピットが検出されている。周溝は全周していたと推測される。伴出遺物から竈を伴っている時期であり南西壁に構築されていたと考えられるが、東側に竈を伴う例は、神山谷遺跡では数軒である。

出土遺物は少ない。図示できた遺物は、土師器の坏2点と鉄製刀子1点である。3は自然礫である。

SI-147 (第255図)

台地南側C1区の5F85-25グリッドに位置し、幅の広い溝SD-19によって南西側が壊されているほか後世の攪乱によって失われている。平面形は方形を呈すると考えられる。ピットと周溝は検出されなかった。竈は検出されなかったが伴出遺物から竈を伴っていたと考えられる。

出土遺物は堅穴の遺存が悪かったが、比較的出土している。図示できた遺物は、土師器の坏1点・甕3点である。

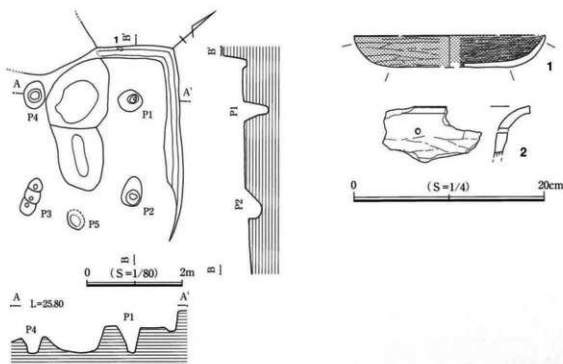
SI-148 (第256図)

台地南側C1区の5F85-19グリッドを主体に位置している。後世に削平が行われており、南西壁と南東壁は検出できておらず、堅穴の中央にも大きな攪乱が入っている。平面形は方形を呈すると考えられ、規模は一辺約4.20mと推定される。ピットは5本検出された。P1~P4は支柱穴でP5は出入口施設のピットであろう。周溝は全周していたと推測される。伴出遺物から竈を伴うと考えられるが、攪乱により検出できなかった。竈は北西壁に位置していたと考えられる。

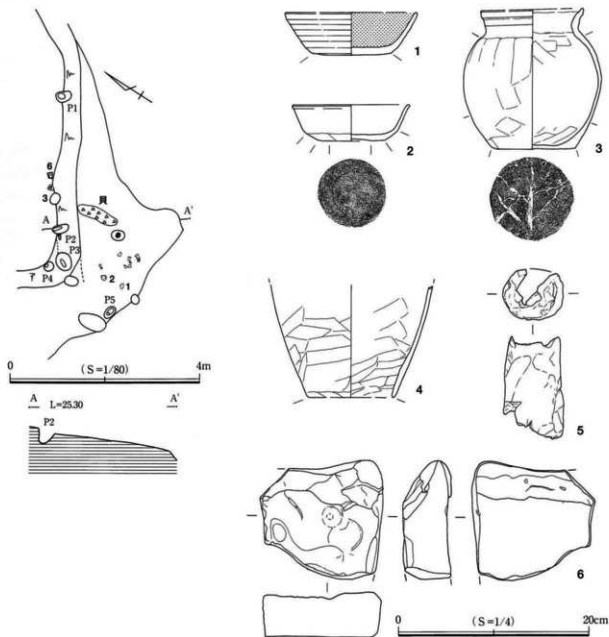
出土遺物は堅穴の遺存が悪く少なかった。図示できた遺物は、土師器の坏1点・焼成前の穿孔を伴う甕1点である。

SI-149 (第257図)

台地南側C1区のF85-25グリッドを主体に位置している。幅の広い溝SD-19によって大きく攪乱され堅



第256図 SI-148 実測図及び出土遺物



第257図 SI-149 実測図及び出土遺物

穴の形態を検出できていないが、この地点からの出土遺物に時期的なまとまりがあることから、竪穴住居跡が存在することは間違いなろう。遺物の時期から平面形は方形を呈していたと考えられる。ピットは小さく明らかに柱穴と判断できるものはない。周溝や竈は検出されなかった。覆土中に貝ブロックが検出されたが竪穴に伴うかどうかははっきりしない。貝ブロックの組成については分析を行っていない。

竪穴に伴う可能性がある遺物の内、図示できた遺物は、土師器の坏2点・甕1点・甌1点のほか支脚1点、砥石1点である。

S1-150 (第258図)

台地南側C1区の5F85-23グリッドに位置している。後世の削平によって堅穴の約3/4が失われているほか北東壁の中央が攪乱によって壊されている。平面形は方形を呈すると考えられる。北東壁3.23mを測る小規模な堅穴である。ピットは1本検出された。周溝は全周していたものと推測される。竈は検出できなかったが、時期的には竈を伴うと考えられ北西壁に位置していたと推測される。

出土遺物は皆無であるが、堅穴の規模から9世紀代の堅穴と思われる。

S1-151 (第259・260図)

台地南側C1区の中央5F85-23グリッドに位置している。SI-152・153と重複しており、本堅穴が最も新しいと判断される。後世の削平によって堅穴の約半分が失われている。平面形は方形を呈し、規模は北東壁3.19mを測る。ピットは検出されなかった。壁際に小孔が多数検出されている。竈は北西壁の中央に構築されている。遺存状態はあまりよくない。煙道部の突出は大きい。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少なかった。図示できた遺物は、土師器の坏1点・甕1点、須恵器の片口鉢1点・甕2点である。

S1-152 (第259・260図)

台地南側C1区の中央5F85-18グリッドを主体に位置している。SI-151・153と重複しており、SI-153を壊し、SI-151に壊されている。また床面に大きな攪乱が及んでいる。平面形は方形を呈し、規模は一辺3.33mを測る。ピットは2本検出されているが、P4・P5はSI-153のピットである可能性が高い。周溝は全周していたものと推測される。竈は北西壁の中央に構築されており、攪乱によって一部が壊されている。煙道部は大きく突出している。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が比較的良かったが少ない。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕1点・甌1点である。坏1点には外面に墨書が伴っている。

S1-153 (第259・260図)

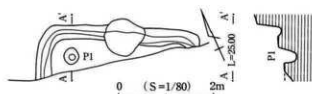
台地南側C1区の中央5F85-18グリッドに位置している。SI-151・152と重複しており、SI-152によって堅穴の大半が壊されている。平面形は方形を呈し、規模は北西壁3.67mを測る。ピットは遺存する床面に1本しか検出されていないが、P1・P2・P4・P5は本堅穴の主柱穴の可能性が高い。また、P3は出入口施設のピットかもしれない。周溝は全周していたものと推測される。竈は北西壁の中央に構築され、両袖とも構築材が残っていない。煙道部の突出は他の堅穴と同様に大きい。

出土遺物は堅穴の遺存が極めて悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の甕1点である。

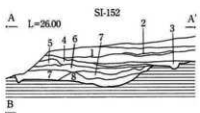
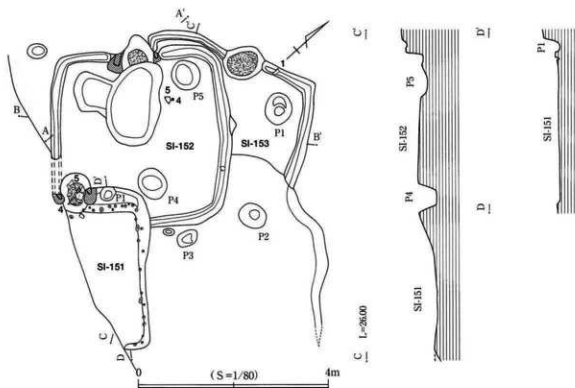
S1-154 (第261図)

台地南側C1区の中央5F85-17グリッドに位置している。後世の削平によって堅穴遺存状態はよくない。平面形はやや歪みのある方形を呈し、規模は南東壁2.72m、南西壁2.48mを測る小規模な堅穴である。ピットは2本検出されたが柱穴ではなかろう。周溝は全周している。竈は北西壁の中央からやや左に寄っている。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

遺物は竈内からまとも出土している。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕2点、須恵器の甕3点・甌1点、鉄製刀子1点である。



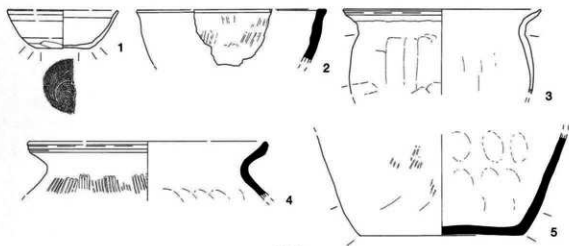
第258図 SI-150 実測図



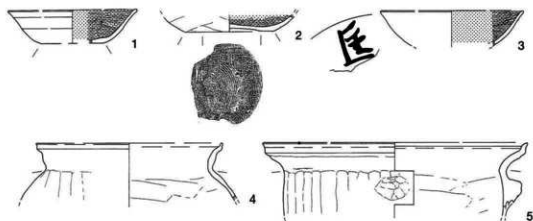
- SI-152
- 1: 暗褐色土 (山崩、ローム粒、黒色土粒を含む。)
 - 2: 暗褐色土 (ローム粒を含む。粘質土。)
 - 3: 黄褐色土 (ローム粒を含む。)
 - 4: 暗褐色土 (ローム粒、ロームブロックを多量に含む。)
 - 5: 暗褐色土 (ローム粒を含む。)
 - 6: 黄褐色土 (ローム粒、黒色土粒を含む。)
 - 7: 暗褐色土 (ローム粒、焼土粒、粘土少量を含む。)
 - 8: 暗褐色土 (焼土粒、粘土多量を含む。)



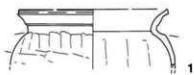
第259図 SI-151・152・153 実測図



SI-151



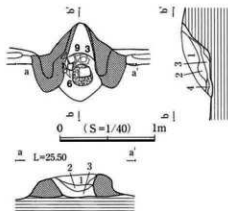
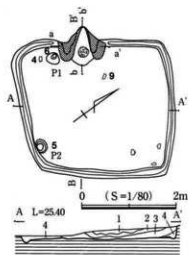
SI-152



SI-153

0 (S=1/4) 20cm

第260図 SI-151・152・153 出土遺物

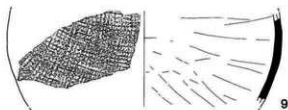
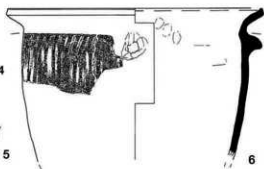
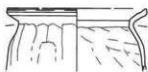
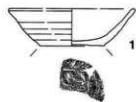


SI-154

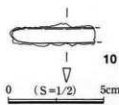
- 1: 黒色土 (山砂、粘土、ローム粒を含む。)
- 2: 黒褐色土 (ローム粒、粘土を含む。)
- 3: 暗褐色土 (ローム粒、粘土を含む。)
- 4: 暗褐色土 (ローム粒を含む。)

SI-154 壁

- 1: 暗褐色土 (黄土粒、山砂、灰を含む。)
- 2: 赤褐色土 (黄土粒を多量に含む。)
- 3: 黄褐色土 (黄土粒、山砂、灰を含む。)
- 4: 褐色砂



0 (S=1/4) 20cm



0 (S=1/2) 5cm

第261図 SI-154 実測図及び出土遺物

S1-155 (第262図)

台地南側C1区の5F85-16グリッドを主体に位置している。SI-156・157と重複している。SI-156の大半を壊しており、SI-157には西側コーナーを壊されている。南西壁は遺存しておらず、周溝によって堅穴の規模を確認することができた。平面形は方形を呈し、南東壁2.67m、南西壁2.72mを測る小規模な堅穴である。ピットは検出されなかった。周溝は全周していたものと推測される。竈は北東壁の中央に構築されており、袖の遺存はあまりよくない。煙道部の突出はほとんどない。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴が小規模で浅かったが比較的多かった。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕3点・瓶1点、手捏土器1点である。土師器の坏破片1点に墨書が伴っている。

S1-156 (第262図)

台地南側C1区の5F85-17グリッドに位置し、SI-155に堅穴の大半を壊されているほか後世の削平によっても東側が失われており遺存状態は良くない。平面形は隅丸方形を呈すると思われ、規模は不明である。出土遺物の時期から竈を伴うと考えられるが、その痕跡を確認することはできなかった。ピットは2本検出されたが柱穴とは言い難い。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の甕2点である。

S1-157 (第263図)

台地南側C1区の5F85-16グリッドに位置し、SI-155の一部を壊している。床面及び南西壁が3号炭窯によって大きく攪乱されている。平面形は隅丸方形を呈し、規模は南西壁3.10m、北西壁2.74mを測る。ピットは2本検出された。P1・P2は柱穴であろう。周溝は全周していたと推測される。竈は北東壁の中央に構築されており、煙道部の突出は大きい。竈の外縁部に検出面より一段低い掘り込みが確認されている。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪かったが、竈周囲からまとまって出土している。図示できた遺物は、土師器の坏3点・鉢1点・甕2点・瓶1点である。土師器の坏破片1点に墨書が伴っている。

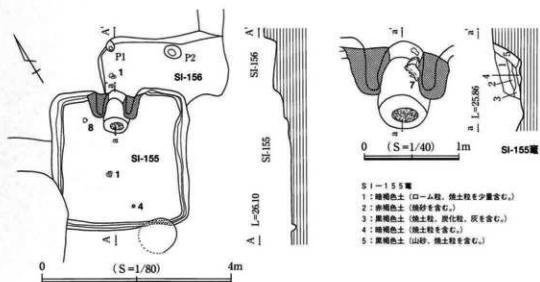
S1-158 (第264図)

台地南側C1区の5F85-12グリッドに位置し、SI-159によって西側の約半分が壊されているほか、後世の削平によって南側壁も失われている。平面形は長方形を呈すると思われ、北壁2.47mを測る小規模な堅穴である。堅穴に関連すると思われるピットはP2・P3であるが柱穴ではなからう。周溝は全周していたと推測される。竈は北壁の中央やや東寄りに位置している。煙道部の突出はほとんどなく、小規模な竈である。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

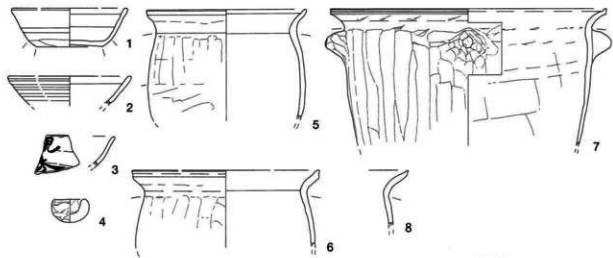
出土遺物は堅穴の遺存が悪く出土量は少量である。図示できた遺物は、土師器の坏3点である。調査段階で1軒の堅穴として調査を進めたため、遺物の出土地点に混乱が生じており、本堅穴に伴うのは1・3であろう。

S1-159 (第264図)

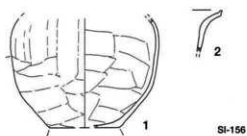
台地南側C1区の5F85-12グリッドを主体に位置し、SI-158を壊している。後世の削平によって南側コーナー付近が失われている。平面形はSI-158と同様に長方形を呈し、規模は北西壁2.04m、北東壁2.64mを測る小規模な堅穴である。ピットは1本検出されたが柱穴ではなからう。周溝は全周していたと推測される。竈は北東壁の西寄りに位置しており、袖左側の遺存が特に悪い。火床部から2の坏が出土している。



- SI-155 層
- 1: 暗褐色土 (ローム粒、焼土粒を少量含む。)
 - 2: 赤褐色土 (焼砂を含む。)
 - 3: 黒褐色土 (焼土粒、炭化粒、灰を含む。)
 - 4: 暗褐色土 (焼土粒を含む。)
 - 5: 黒褐色土 (山砂、焼土粒を含む。)

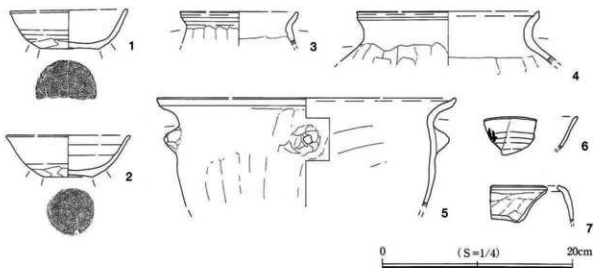
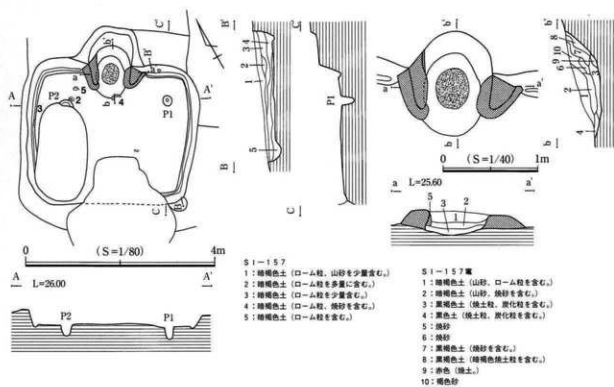


SI-155

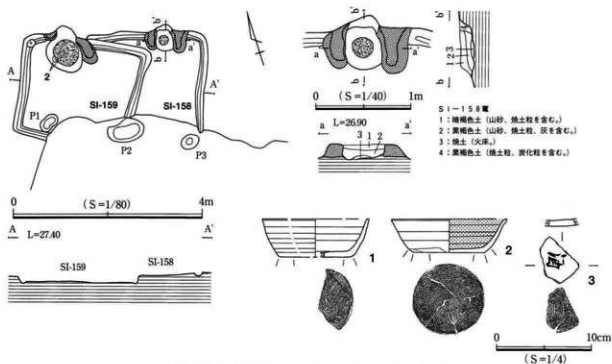


SI-156

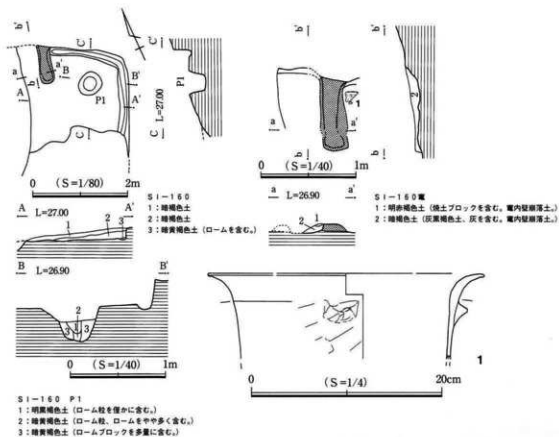
第262図 SI-155・156 実測図及び出土遺物



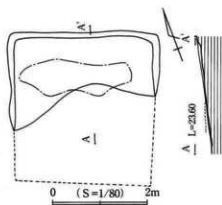
第263図 SI-157 実測図及び出土遺物



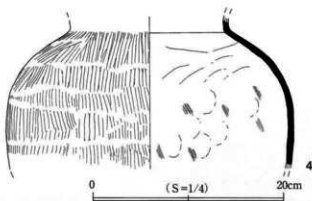
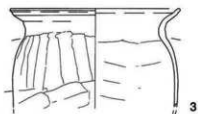
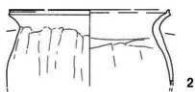
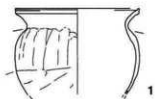
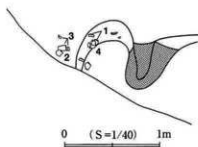
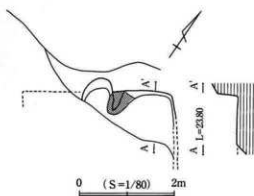
第264図 SI-158・159 実測図及び出土遺物



第265図 SI-160 実測図及び出土遺物



第266図 SI-161 実測図



第267図 SI-162 実測図及び出土遺物

煙道部の突出はあまり大きくない。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は土師器の坏1点である。

S1-160 (第265図)

台地南側C1区の西側斜面5 F85-11グリッドに位置している。西斜面の肩の部分にあって堅穴の西側が大きく失われているほか、南側も削平によって失われている。平面形は方形を呈すると考えられ、規模は一辺約4.0mと推定される。柱穴と思われるピットが1本検出されている。周溝は全周していたと推測される。竈は北東壁の中央に位置していたと考えられる。袖左側は失われ火床面も検出されなかった。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は甎1点のみである。

S1-161 (第266図)

台地南側C2区の5 F85-21グリッドに位置している。後世の削平によって堅穴の遺存状態は極めて悪い。平面形は方形を呈すると考えられる。規模は北東壁3.15mを測る。ピットや周溝、竈などは検出されなかった。

出土遺物は皆無であるため堅穴の時期は不明である。

S1-162 (第267図)

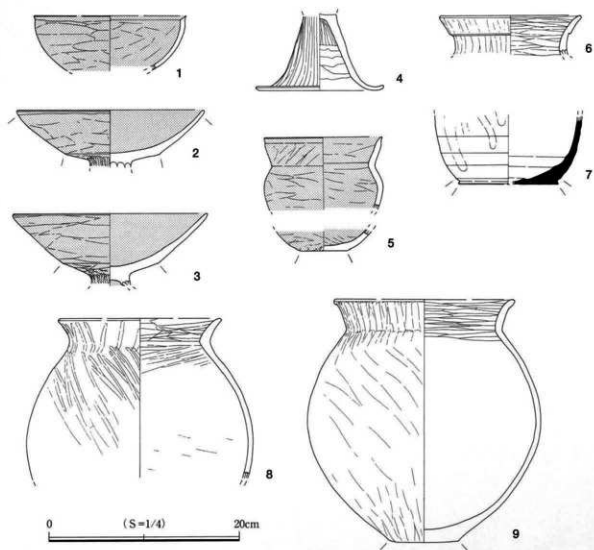
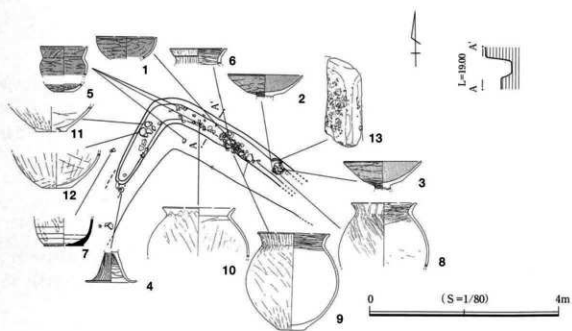
台地南側C1区の東側5 F85-25グリッドに位置している。東側斜面の肩の部分に位置しているほか、SD-19の溝によっても削平されているため堅穴の遺存状態はよくない。規模は、一辺約3.2mの方形を呈すると考えられる。ピットや周溝は検出されなかった。竈は北西壁の中央に構築され、袖部等の構築材は山砂が使用されている。袖左側は失われているが、竈内から土器がまとまって出土している。

出土遺物は堅穴の遺存が悪いため少なかった。図示できた遺物は、土師器の甍3点、須恵器の甍1点である。

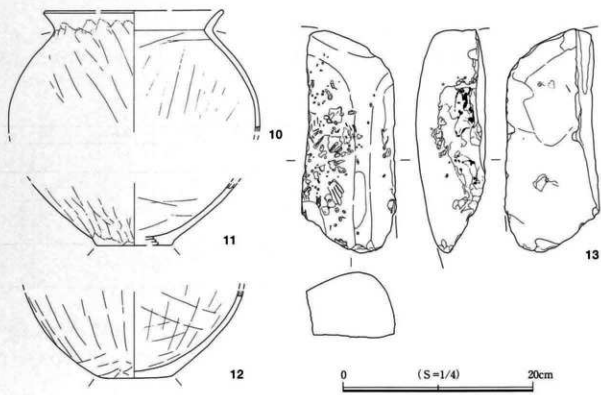
S1-163 (第268・269図)

台地南側C2区の東側5 F95-14グリッドに位置している。SI-109に堅穴の約2/3を壊されているほか斜面下側の南側コーナーも失われており、規模は明確ではないが北壁から一辺約4.2mの隅丸方形を呈すると考えられる。周溝は幅広く検出されたが、掘り過ぎによるものと考えられる。伴出土器の時期から炉跡を伴うと考えられるが、SI-109に壊されており検出されていない。

出土遺物は堅穴の遺存が悪かったが北壁際でまとまって出土している。図示できた遺物は、土師器の碗1点・高坏3点・甍7点、砥石1点である。他に灰釉陶器が検出されているが堅穴に伴う遺物ではなからう。



第268図 SI-163 実測図及び出土遺物



第269図 SI-163 出土遺物

第2節 土坑・その他

B区に比べて、C区では土坑の検出数は少ないが、類似した規模・形態の土坑がまとまっている。古代の土坑は、竪穴住居跡が多数検出されている地点から離れて分布している。また、中世と判断した土坑墓も周囲に他の遺構が見つかっていない。また、炭窯は近世に属する。

第13表 C1・2区土坑計測表

遺構種別	遺構番号	出土地点	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)
土坑墓	2号土坑墓	5F85-16	N-87°-E	1.3	1.2	1.1
土坑墓	3号土坑墓	5F85-16	N-10°-W	1.2	1.0	0.8
土坑	1号土坑	5F85-12	-	1.6	1.6	0.8
土坑	2号土坑	5F85-17	-	1.6	1.5	1.1
土坑	3号土坑	5F85-13	N-39°-E	1.4	1.3	0.3
土坑	4号土坑	5F85-11	N-21°-E	2.2	1.6	1.9
土坑	5号土坑	5F85-14	N-2°-W	1.6	1.2	1.3
炭窯	3号炭窯	5F85-16	N-21°-E	2.7	2.5	1.5
炭窯	4号炭窯	5F85-21	N-130°-E	0.9	0.7	0.8
炭窯	5号炭窯	5F84-20	N-80°-W	2.0	0.9	0.2

1. 土坑墓

2基の土坑から人骨が検出できた。土坑は長方形を基調として、掘り方が深い。時期を特定する遺物は出土していないが、土坑の形態と人骨の遺存状況から中世から近世であろう。中世の遺構はC3・C6区で多く検出しているが、C1・C2区では当該時期の遺構は少ない。

2号土坑墓 (第270図)

C1区の5F85-16・17で検出した。3号土坑墓に隣接している。検出面平面形はやや不整な長方形を呈し、底面は丸味をもつ。ほぼ垂直に深く掘り込まれている。底面は平らである。東壁際の底面で人の頭蓋骨のほか、四肢骨などの長骨が遺存していた。伴出遺物はなく時期は不明であるが、隣接する3号土坑墓とほぼ同じ時期と推定される。

3号土坑墓 (第270図)

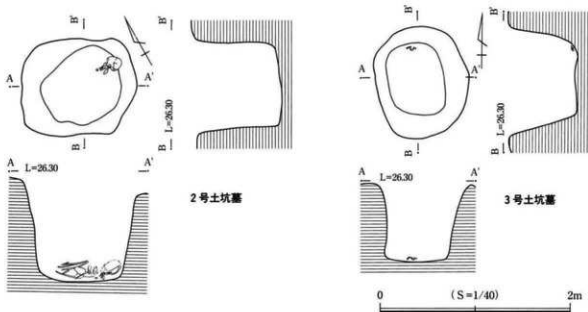
C1区の5F85-16で検出した。2号土坑が隣接している。隅の丸い長方形を呈する。平面形態や規模は2号土坑墓に類似し、ほぼ垂直に深く掘り込まれている。底面は平らである。北壁際の底面で人の歯を検出しており、土坑墓と考えられる。伴出遺物はなく時期は不明であるが、隣接する2号土坑墓とほぼ同じ時期と推定される。

2. 土坑

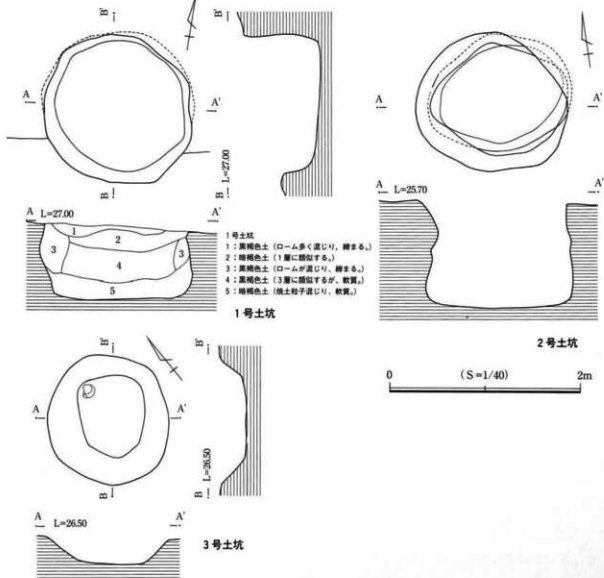
1～3号は古代、4号は中世、5号は中世以降と判断した。1・2号は円形を基調とする。B区で土坑墓の可能性のある17号、21号土坑と類似するものの、掘り方が深く、埋め戻された状況が明瞭ではない。4号は形態が崩れているものの地下式坑であろう。1・2号土坑墓との関係の有無については明らかになかった。

1号土坑 (第271図)

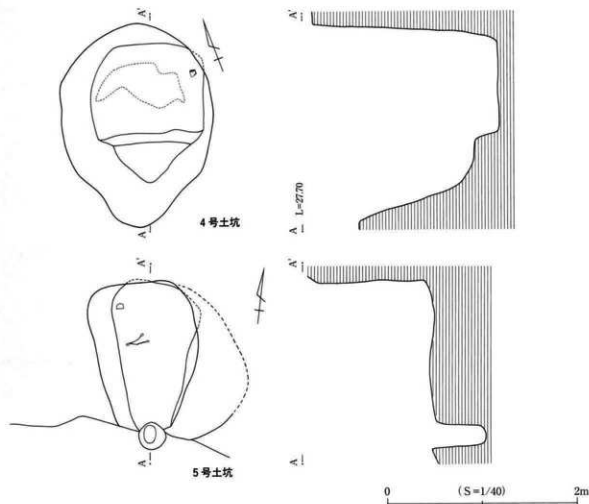
C1区の5F85-12で検出した。均整のとれた円形を呈する。平滑な床面とほぼ垂直に立ち上がる壁を有する。覆土は軟質で、全体的に黒色味が強く、ロームの含有も少ない。



第270図 2号・3号土坑墓実測図



第271図 1号～3号土坑実測図



第272図 4号・5号土坑実測図

2号土坑 (第271図)

C1区の5 F85-17で検出した。平面形は1号土坑に類似しており、均整のとれた円形を呈する。断面は基盤層が砂地であるためか、壁面が抉れており、また掘り方も深い。

3号土坑 (第271図)

C1区の5 F85-13で検出した。検出面での平面形態は楕円形を呈するものの、下場では隅の丸い長方形を呈する。掘り方は浅く、壁は床面からやや緩い角度で立ち上がる。

4号土坑 (第272図)

C1区の5 F85-11で検出した。階段状の構造で、形態の特徴から地下式坑と考えられる。基盤層が砂地であることから、主室部は長方形を呈するものの、壑坑部は崩落して方形を呈しておらず、本来の形態をとどめていない。主室部は壑坑部から25cmほど低くなる。ほぼ底面で炭化物が分布していた。

5号土坑 (第272図)

C1区の5 F85-14で検出した。北側の台地斜面中に構築されており、その構造から横穴を呈していたと考えられる。平面形態は細長い扇状である。半地下式に掘り窪められてはいない。入口相当部分にピットを検出したが、本遺構に伴うかどうか明確でない。

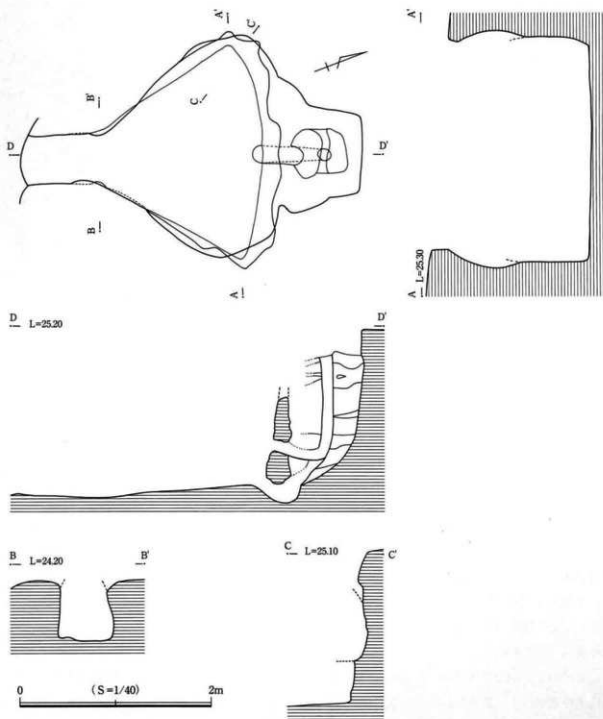
3. 炭窯

C1・C2区の境で3基まとまって分布していた。B区で記載した炭窯とは時期的、立地的に異なり、近世以降に属する。いずれも広い燃焼空間をもち、煙道を有する。燃焼空間の形態は1号の扇形に対して、

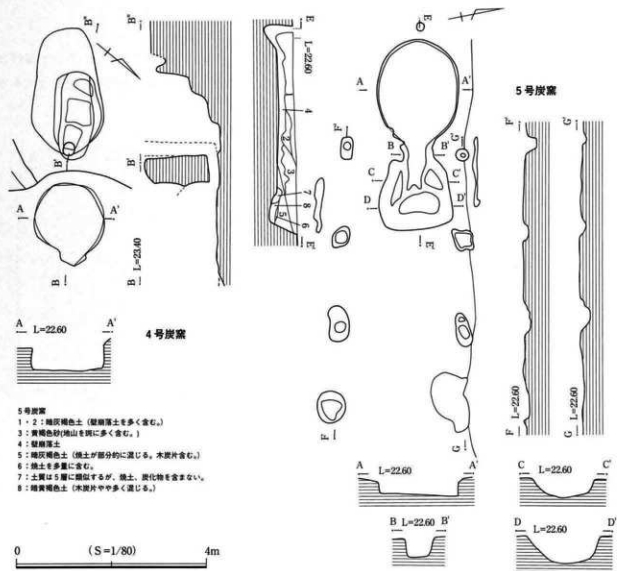
2・3号は円形と異なるが、煙道の構築方法は1・2号で類似している。

3号炭窟（第273図）

C1区の5F85-16で検出した。平面形態は三角フラスコ状で、燃烧部は扇形を呈している。土層観察により、煙道部は地山をその規模で掘り抜いたのではないことが判明した。広めに掘削した後に丸太ある



第273図 3号炭窟実測図



第274図 4号・5号炭窯実測図

いは竹を心材として設置し、その周りに土を版築状に充填している。

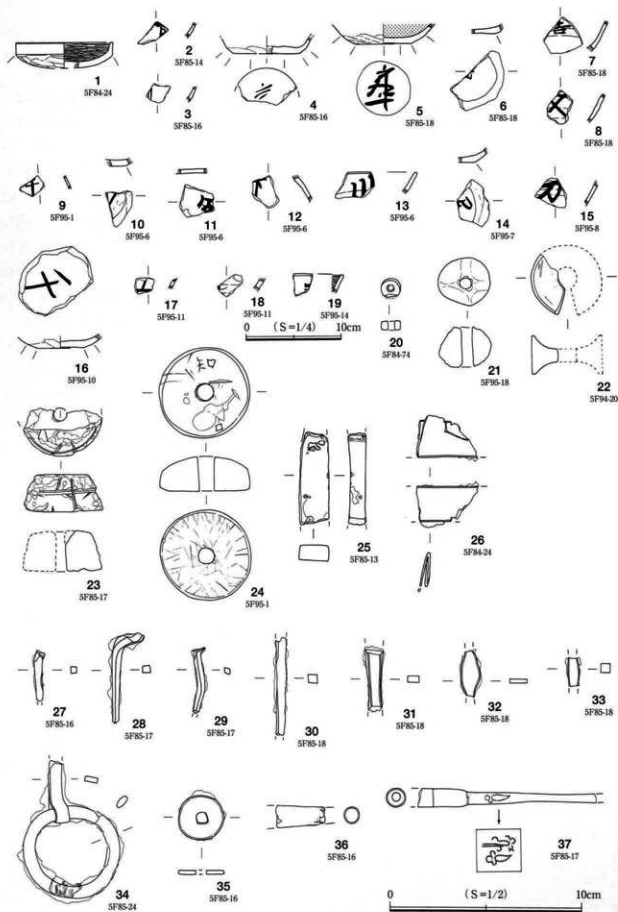
また、造り替えられており、煙道入口部分は高い位置に構築し直している。その高低差や断面（E.P.C-C'）形態から床も貼り直していた可能性がある。

4号炭窯（第274図）

C 2区の5 F 85-21で検出した。燃烧部の平面形態は円形を呈する。煙道部分は、その掘り方から判断して、1号炭窯と同様に心材を設置してから、土を充填したものと思われる。

5号炭窯（第274図）

C 2区の5 F 84-20で検出した。平面形態は柄鏡状で、燃烧部は円形を呈する。煙道部が他の炭窯と同様に土の充填により構築されていたかどうかは明らかでない。焚口相当部分の手前には足場に相当する空間が設けられている。この空間にかかるように掘立柱建物跡が構築されている。1間×3間（2.46m×5.60m）の建物跡で、作業小屋として炭窯と一体の構造をなしていたと考えられる。桁柱筋の両外側には浅い溝が確認できた。雨だれの痕跡であろう。



第275図 遺構外出土遺物 (1~19・25 1/4, 20 1/1, 21~24・26~37 1/2)

第3節 遺構外出土遺物 (第275図)

帰属時期が異なる遺構から出土した遺物や遺構外から出土した遺物についてまとめることにする。C1・C2区ともに中世以降の整地が行われていることから、縄文時代以降の遺物が、遺構外から多く出土している。縄文時代の遺物は、いわゆる遺物包含層として認められる層位からではなく、攪乱層というべき層からの出土であり、弥生時代以降においても多くは、漸移層からの出土である。特に目立つのは、古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡に伴っていたと考えられる土器類である。このほか鉄製品・紡錘車などである。ここでは土器類については、墨書を伴う土器の坏類を中心に鉄製品など若干を示すことにする。1～19は土器の坏である。1は7世紀代の坏である。2～19は墨書を伴っているものである。16の内面の墨書1例を除けば、体部外面乃至は底部外面の墨書である。5は判読不明。7は「吉」であろう。9は「千」か。13は「川」であろう。15は「刀」。16も9と同じく「千」である。20は石製の白玉である。21は土玉である。22は縄文時代前期の土製状耳飾である。外縁は厚く、内孔の厚さは外縁の約半分である。23・24は石製紡錘車である。23は被熱していると思われ、表面が劣化している。石材は凝灰岩と思われる。側面中央に横位の沈線を施している。24は表面に光沢がある。蛇紋岩と思われる。上面に線刻があり「知」という文字であろう。25は砥石である。4面を使用している。26～35は鉄製品である。26は薄い鉄板が折り込まれている。27～33は釘・鎌・刀子の類であろうが、特定できない。34は鉄製の輪に薄板が取り付けられている。35は鉄製の私鑄銭と思われる。36・37は煙管である。37は道管に装飾が施されている。

第6章 まとめ

ここでは、本書「神山谷遺跡(1)」と「神山谷遺跡(2)」の2分冊にわたり報告した遺構・遺物についてまとめることにしたい。

今回の発掘調査によって検出された神山谷遺跡の遺構・遺物は、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中・近世に及んでいる。遺跡の主たる遺構群は、古墳時代から奈良・平安時代の堅穴住居跡群である。神山谷遺跡の狭い台地最上位面に止まらず西側及び南側の緩斜面にも多くの堅穴住居跡が検出されており、時期不明の堅穴住居跡も含めれば全体で251軒にのぼる検出数となっている。

神山谷遺跡が所在する台地は、南北に細長く北部では東側に狭い台地がさらに伸びている。すでに報告されている城山遺跡とは北部西側で僅かにつながっているが、台地上においては集落跡としては城山遺跡との連続性は薄いと考えられる。一方城山遺跡との間に入り込む支谷の谷頭にあたる低位面のC4区などでも堅穴住居跡が検出されている。また、今回の工業団地造成とは異なる土採取事業に関連して行われた神山谷遺跡の北端部から東側にのびる台地の発掘調査では、今回の調査結果とほぼ同じ時期である古墳時代から奈良・平安時代の堅穴住居跡が160軒あまり検出されている(東総文化財センター年報2 1998)。このことから神山谷遺跡は、西側の城山遺跡・夏台遺跡・新台遺跡の同時期の集落規模とは比べるまでもなく際立った堅穴住居跡の検出数となっている。各時代の主な遺構・遺物の概要は以下のとおりである。

旧石器時代に関連した遺物集中地点は検出されなかったが、台地上のB区から縦長剥片が2点出土しており、僅かだが旧石器時代の痕跡を窺い知ることができた。

縄文時代では、早期の堅穴住居跡が4軒、前期の堅穴住居跡が3軒、早期の炉穴10基、落とし穴20基が検出された。包含層や時期の異なる遺構の覆土から、早期の撚糸文式、田戸下層式・田戸上層式・子母口式・茅山下層式・茅山上層式、前期の黒浜式・諸磯式・浮島式、中期の阿玉台式・加曾利E式、晩期の荒海式などの土器片が出土している。また、礫斧・磨製石斧・打製石斧・磨石・凹石・石鏃などの石器や土製耳飾りなどが出土している。縄文時代の遺構・遺物は、C1・C2区で主に検出されており、台地南端の緩斜面がその活動の中心となっていたことが判明した。

弥生時代では、中期宮ノ台式後半の堅穴住居跡2軒と後期の堅穴住居跡5軒が検出されている。当地域の中期堅穴住居跡の検出例としては数少ない例の一つである。後期には集落が若干拡大すると考えられるが、それでも小規模である。ガラス玉を伴う土坑墓が1基検出されている。土器が伴っていないため時期は明らかでないが、小規模な楕円形の土坑墓であり、ガラス玉は被葬者の頭にかけていた首飾りと判断される。弥生時代後期から古墳時代前期の可能性が高く、管切り製法のガラス玉であることから弥生時代後期が妥当ではないかと思われる。弥生時代の出土遺物は、堅穴住居跡に限られ僅かな量であった。

古墳時代前期・中期は、弥生時代後期の集落規模よりも僅かばかり拡大する程度で大きな変化はなかったようであり、古墳時代後期になってようやく集落が拡大してくるようである。古墳時代の堅穴住居跡の総数は70軒である。この内、前期の堅穴住居跡は11軒検出されており、弥生時代後期末から継続しているようである。中期の堅穴住居跡は19軒あまり検出されている。台地の南部で古墳の可能性をもつものを含め4基の古墳が検出されており、時期は6世紀代と推測される。たぶん6世紀代は堅穴住居跡が最も少ない時期であることから一時的に墓域となったのであろう。西側の城山遺跡でも5世紀代と考えられる2基

の古墳が確認されている程度で、造墓活動は一時的なものである(道澤 2000)。

台地の景観が大きく変わり始めるのは6世紀末からであろう。古墳時代後期6世紀末から7世紀代の堅穴住居跡は39軒検出されている。台地の最上位面に止まらず、C1・C2区とした南側の緩斜面や西側の谷沿いの斜面に堅穴が展開する。堅穴住居跡の平面規模が最も大きくなる時期である。竈の設置方位は北乃至は北北西の壁に位置している例が多い。台地最上位面の西斜面側で検出された特殊な廃棄遺構SX-90が形成されたのもこの時期である。

奈良時代の8世紀代は64軒の堅穴住居跡が検出されている。最も集落の規模が拡大し、台地中央を主体に南側のC1区やC2区にも堅穴住居跡が増加してゆく。堅穴の平面規模は7世紀代の堅穴に比べ小さくなる。竈の設置方位は、北東乃至は北西の壁に設置される例が多い。

平安時代の9世紀代以降は96軒の堅穴住居跡が検出されている。このうち10世紀以降の堅穴住居跡はわずか9軒あまりで9世紀代の堅穴住居跡が大半を占めており、奈良時代から平安時代の8・9世紀は、集落の規模が最も拡大した時期である。西側谷頭の平場であるC4区にも堅穴住居跡がこの時期までまってみられる。C4区は平安時代の最も新しい時期の10世紀から11世紀に入る可能性がある堅穴住居跡が検出されており、堅穴に伴う土器類はこの時期の器種構成を探る上で貴重な資料と考えられる。10世紀以降になると急激に集落の規模が縮小し、堅穴の平面規模はさらに小さくなり、掘り込みも浅く貧弱なものとなってゆく。集落は、栗山川下流域の低位段丘面に移動していくものと考えられる。

台地斜面にいくつかの平場が造成されたのは、西側に隣接する城山遺跡(篠本城)とほぼ同じ時期、室町時代の14世紀後半から15世紀末までの時期と考えられる。しかし、城山遺跡に見られるような台地全面に及ぶ積極的な土地造成が行われたわけではなく、規模の大きな整地は、城山遺跡に面する西側斜面に限られるようである。調査開始当初、篠本城跡の隣接地として、中世城跡に関連した遺構が濃密に分布すると推測されたが、C3～C6区の何れにも多くの中世遺構を検出したわけではない。中世の遺構を最も多く検出したのは、C3区及びC6区で、この中には近世遺構も多く検出されている。C4区とC5区には僅かな中世遺構しか検出されなかった。中世と思われる掘立柱建物跡は全体で26棟検出されているが、規模は何ずれも小規模である。C3区では14棟の掘立柱建物跡のほか、地下式坑10基、土坑が48基が検出されている。中世の遺物は、土師質土器、陶磁器類、金属製品、石塔類が出土しているが、遺物量としては僅かである。土師質土器ではかわりけや内耳鍋、茶釜などが出土している。陶磁器類では備前や常滑産の播磨や甕などである。石塔類では五輪塔や宝篋印塔が出土している。

近世ではC3区などから井戸や斜面を挟り込んだ横井戸など水利関連施設や掘立柱建物跡4棟、土坑墓1基などが検出されている。遺物は、陶磁器類では瀬戸・美濃産の灯明皿や碗・鉢・德利・瓶子、肥前産の染付碗、志戸呂産の灯明皿などである。この他には寛永通宝や文久永宝などの銭貨、煙管や鉄腕・鉄鎌・刀子などが出土している。

以上のように多時期にわたり遺構・遺物が多数検出され、当地域の歴史を探る上で豊富な資料を得ることができたと考えよう。

参考文献

- 財団法人東総文化財センター「東総文化財センター年報2(平成5・6年度)」1998年
道澤明「篠本城跡・城山遺跡」財団法人東総文化財センター発掘調査報告書第21集 2000年

附 章 自然科学分析

第1節 神山谷遺跡における遺構内出土の貝類について

西本豊弘・小林園子・太田敦子

(国立歴史民俗博物館 西本研究室)

概要

本遺跡ではSX-90とSI-112の8世紀代の2遺構から貝層が検出されている。貝層は、水洗によって土を取り除いたサンプルの状態、テンバコに15箱あったが、1箱を除きほとんどがSX-90出土のものである。SX-90は調査開始当初堅穴住居跡と認識して調査にあっていたが、堅穴状の落ち込みの中に土器類が多量に廃棄された特殊な遺構であることが判明した。貝層はその覆土内の一部にブロック状に堆積していた。また、SI-112遺構の貝層は小規模で、ビニール袋1袋分の貝ブロックである。

SX-90の水洗後の貝の総重量は119.15kgあり、SI-112は1.35kgであった。貝類の分析は、SI-112はすべて行なったが、SX-90では貝の量が多いため、最もサンプルの多い第4ブロック出土の貝サンプルを約3,400cc、重量にして2.4kgを抽出して行なった。SX-90の貝サンプル全体を概観したところ、貝種組成と貝の大きさの点では、この遺構内で大きな変化や違いはないと思われる。

貝類の同定の結果、本遺跡では18種の貝類を検出した(第1表)。以下に各遺構の内容を説明する。また、貝層からは魚骨・獣骨などの出土はなかった。

SX-90

小型のチョウセンハマグリとダンベイキサゴ主体の貝層で、保存状態は良好である。貝種組成を最小個体数で比較すると、チョウセンハマグリが約83%を占め、ダンベイキサゴが14%を占める。その他の貝類は稀に検出する貝か、大きさ1cmにも満たない小型の貝もしくは幼貝であり、明らかに採取場所で混入したものである。チョウセンハマグリは殻長18mm~24mm未満の小型貝を主体に採取している。ダンベイキサゴは殻径15.5mm~35.4mmとばらつきがあり、さまざまな大きさのものを採取している。

第1表 神山谷遺跡貝種類名一覧

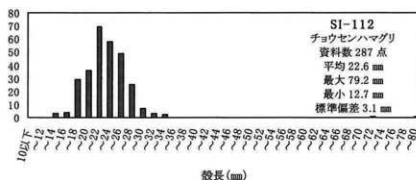
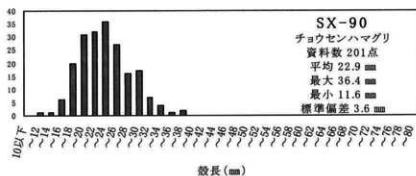
腹足綱	Gastropoda
メガイアワビ	<i>Carithium echinatum</i>
ダンベイキサゴ	<i>Umbonium giganteum</i>
クボガイ類	<i>Chlorostoma</i> sp.
オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>
カワニナ	<i>Semisulcospira libertina libertina</i>
二枚貝綱	Bivalvia
サトウガイ	<i>Scapharca satowi</i>
タマキガイ類	<i>Glycymeris</i> sp.
イタヤガイ科	<i>Pectinilidae</i> gen.
マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>
コタマガイ	<i>Gomphina melanaegis</i>
ワスレガイ	<i>Cyclosanetta menstrualis</i>
チョウセンハマグリ	<i>Meretrix lamarcki</i>
カガミガイ	<i>Phacosoma japonicum</i>
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>
シオフキガイ	<i>Macra veneriformis</i>
バカガイ	<i>Macra chinensis chinensis</i>
フジノハナガイ	<i>Chion dysoni semigranulosus</i>
オノノガイ	<i>Mya arebaria conoqui</i>

第2表 遺構別貝類出土量表

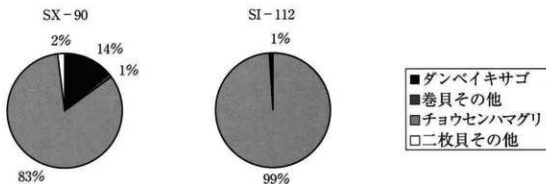
種名	左右	SX-90	SI-112	備考
ダンベイキサゴ		147	4	
タニシ科		3		
クボガイ類		2		
巻貝種不明		1		小型
チョウセンハマグリ	左殻	788	533	
	右殻	866	580	
アサリ	右殻	1		
コタマガイ	右殻	1		
バカガイ	左殻	2		幼貝
	右殻	2		
フジノハナガイ	左殻	9		
	右殻	4		
イタヤガイ科	不明	2		幼貝?
不明二枚貝	不明	2	1	幼貝

S I - 1 1 2

チョウセンハマグリ主体の貝層であるが、保存状況はあまり良好ではなかった。ダンベイキサゴが稀に混入している。チョウセンハマグリは、20mm～24mm未満の大きさのものが中心に出土しているが、75mm～80mmの大型のものも含まれている。



第1図 チョウセンハマグリの種類分布



第2図 遺構別貝類組成 (最小個体数による)

第2節 神山谷遺跡における遺構内出土のガラス玉について

バリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

神山谷遺跡B区の北端に位置する1号土坑墓からガラス小玉が出土している。台地最上位面で検出されているこの土坑は、他のピットとの重複によって攪乱を受けているため遺存状態はあまり良くない。覆土中からガラス玉が10点出土しており、攪乱を受けていなければもっと数が多かった可能性がある。ガラス玉以外に遺物は出土しておらず、時期は不明であるが、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土坑墓と推測される。土坑墓は楕円形を呈し、検出面の長軸長1.4mを測り、遺体は屈葬され遺体の頭飾りとしてガラス小玉が使われていたものと推測される。

今回、ガラス玉の材質に関する情報を知るためにエネルギー分散型蛍光X線分析装置（SEA2120L）による化学成分分析を行った。

1. 試料

試料は、1号土坑墓から出土したガラス製品10点（1～10）である。この内、1・2・4・5がガラス小玉、3・6～10が管玉といえよう。

2. 分析方法

超音波洗浄機で試料を洗浄し、エネルギー分散型蛍光X線分析装置（セイコーインスツルメンツ（株）製：SEA2120L）で測定する。含有率算出にあたってはFP法（ファンダメンタルパラメーター法）を用いたノンスタンダード法を用い、各元素とも酸化物として定量演算を行う。測定時の装置条件を表1に示す。

表1 エネルギー分散型蛍光X線分析装置の測定条件

測定装置	SEA2120L	
	Rh	
管球ターゲット元素		
定性元素	Na ¹¹ ～Ca ²⁰	Sc ²¹ ～U ⁹²
コリメータ	φ 10.0mm	φ 10.0mm
励起電圧 (kV)	15	50
管電流 (μA)	自動設定	自動設定
フィルター	なし	なし
マイラー	ON	ON
雰囲気	真空	真空

3. 結果

表2に化学組成を酸化物として表示する。本分析によって、これらのガラス玉から16種の成分の存在が確認される。これら検出元素の中で存在量の多いSiO₂、Al₂O₃はこれらガラスを構成する形成酸化物、中間酸化物として位置づけられると考えられる。一方、修飾酸化物についてはガラスの形態別に、小玉ではK₂O、CaO、管玉ではNa₂O、CaOが機能していると予想される。

4. 考察

ガラスは主原料であるケイ酸原料に、融けやすくしたり固まりやすくしたりする融剤および着色剤を混合・調合し、熔融・冷却され製品となる。したがって、ガラス製品の組成の違いは、原材料の違いを表し、材料産地の推定や当時のガラス製作技術なども推定することが可能となる。

表2 ガラス製品の科学組成

試料 No.	Na ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	Ni ₂ O ₃	CuO	ZnO	Rb ₂ O	SrO	ZrO ₂	BaO	備考
1	0.13	0.05	7.28	81.24	4.85	2.73	0.29	1.45	1.74	0.01	0.04	0.00	0.01	0.02	0.01	0.15	小玉
2	0.33	0.00	7.29	78.22	7.08	1.52	0.23	2.81	2.19	0.01	0.05	0.01	0.02	0.01	0.01	0.23	小玉
3	5.77	0.00	13.86	73.79	1.03	2.05	0.26	1.34	1.67	0.01	0.06	0.01	0.00	0.04	0.01	0.10	管玉
4	0.59	0.04	7.06	79.91	8.29	1.03	0.09	1.24	1.51	0.01	0.02	0.00	0.01	0.01	0.01	0.18	小玉
5	0.18	0.05	8.48	79.31	6.44	1.53	0.12	1.94	1.54	0.02	0.03	0.00	0.02	0.02	0.01	0.32	小玉
6	7.23	0.00	15.15	70.13	0.92	2.46	0.30	1.47	1.97	0.02	0.10	0.01	0.01	0.06	0.02	0.16	管玉
7	3.79	0.00	13.10	74.62	0.94	3.10	0.32	1.92	1.88	0.02	0.09	0.01	0.00	0.05	0.02	0.15	管玉
8	3.63	0.01	13.85	73.97	0.93	2.80	0.24	2.20	1.95	0.02	0.12	0.01	0.01	0.06	0.02	0.19	管玉
9	4.36	0.00	10.57	76.86	1.00	2.88	0.31	1.92	1.79	0.02	0.10	0.01	0.01	0.05	0.02	0.11	管玉
10	2.74	0.00	12.51	77.19	0.91	2.79	0.24	1.59	1.67	0.02	0.06	0.01	0.00	0.05	0.01	0.20	管玉

日本においてガラス製の遺物が発見されるのは、弥生時代以降の遺跡からであり、それ以前の縄文時代の遺跡からの出土例は報告されていない。古代ガラスの化学組成に関する分類基準は現在のところ、まだ体系的な基準は設けられていないが、山崎（1990）によれば、古代ガラスは融剤に主として鉛を用いた鉛ガラスとナトリウム・カリウム等アルカリ元素を用いたアルカリ石灰ガラスに大別される。その中で、弥生時代に出土するガラス製品は鉛ガラス、アルカリ石灰ガラス、またバリウムを多く含む特殊な鉛ガラスである。また、古墳時代に入ると鉛ガラスの出土が認められず、アルカリ石灰ガラスが主体となる。古墳時代中期後葉になるとアルカリ石灰ガラスの色が多様化し、古墳時代後期からは再び鉛ガラスも出土するようになると考察している。また、最近では肥塚（1999）によって詳細な検討がなされており、融剤の種類によってアルカリ珪酸塩ガラス、鉛珪酸塩ガラス、アルカリ鉛珪酸塩ガラスのグループに分類しており、さらにこれらを構成酸化物の種類と量から、アルカリ珪酸塩ガラスをK₂O-SiO₂系・Na₂O-CaO-SiO₂系・K₂O-CaO-SiO₂系・Na₂O-Al₂O₃-CaO-SiO₂系・(Na₂O/K₂O)-CaO-SiO₂系に、鉛珪酸塩ガラスをPbO-SiO₂系・PbO-BaO-SiO₂系に、アルカリ鉛珪酸塩ガラスをK₂O-PbO-SiO₂系としている。

今回のガラス玉はいずれもアルカリ珪酸塩ガラス（アルカリ石灰ガラス）と認識されるが、ガラス小玉に属する1・2・4・5と管玉に属する3・6～10では修飾酸化物の種類、中間酸化物の量比が異なる特徴が見られる。ガラス玉の種類と成分がよく対応していることから、ガラス玉の種類により原材料の調査、製作工程などが異なっていたと考えられる。ここで、管玉に属す資料は肥塚の分類においてNa₂O-Al₂O₃-CaO-SiO₂系と認識される。しかし、小玉に属す資料については組成比を見る限りではどの分類にも該当しない。この原因として、試料表面の風化層の影響が第一に考えられる。したがって、今後風化層を除去し新鮮面での化学組成を求めることができれば、さらに詳細に検討できると考えられる。なお、これら資料においてはFe₂O₃、MnOが数%のオーダーで検出されており、ガラスの呈色要因として作用していることが推定される。

引用文献

- 肥塚隆保（1999）出土遺物の材質調査－日本で出土した古代ガラスの研究－、理学電気ジャーナル、30（1）、p.33-40。
 山崎一雄（1990）日本出土のガラスの化学的研究。「古文化財の科学」、p.274-300、思文閣出版

遺物 観 察 表

A区遺物観察表

1 5 1号住居跡遺物観察表

()は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 38 60	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナゲ風ミガキ。内面はヘラケズリ後ナゲ。	白色粒、透明粒を含む。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No.6、一括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 34 (62)	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ。内面はナゲ仕上げ。	透明粒子及び金雲母を微量、赤色粒を多く含む。灰褐色。焼成は良好。	No.5
3	土師器	蓋	口径 器高 底径	— <10> —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。	赤色粒を含む。外面は淡褐色、内面は灰色。焼成は良好。	No.4
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <52> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はケズリ後ナゲ。口縁端部は脱くつまみ出される。	白色粒を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No.3
5	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <70> —	胴部外面は横方向のタタキ整形。内面は円形当て具痕を小口状工具によりナゲ削す。	白色微粒子を微量に含む。青灰色。焼成は良好で硬質。	No.1 湖西産
6	土製品	土玉	径20×21mm, 厚さ11mm, 重さ5.00g。	扁平な土玉。	胎土は粗く砂を多く含む。焼成はあまい。	一括3	
7	鉄製品	不明	鉄造品。鉄錘?中世か。			一括2	

1 5 2号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(196) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、雑な散状のミガキ。胴部内面はヘラナゲ後ナゲ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒及び透明粒を多く含む。橙褐色及び褐色。焼成は良好。	No.1、一括

1 5 4号住居遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	152 <51> —	口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。	細かい白色粒子を含む。褐色及び黒褐色。焼成は良好で硬質。	一括1

1 5 6号住居遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	— <16> 60	ロクロ整形。底部は回転系切り後、肩縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は雑な手持ちヘラケズリ。	赤色粒及び白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No.6
2	石器	蔵石	長さ103mm, 幅54mm, 厚さ42mm, 重さ297.8g。			No.3	

1 5 7号住居遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	138 47	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、雑なミガキ。内面は丁寧なミガキ。	白色粒を含む。暗褐色。焼成は不良。	ANo.1
2	土師器	坏	口径 器高 底径	124 39 <76>	ロクロ整形。底部は静止系切り後、肩縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括1
3	土師器	盤状坏	口径 器高 底径	— <13> 84	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は未調整。内外面とも赤彩される。	白色粒及び透明粒子を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	ANo.10
4	土師器	盤状坏	口径 器高 底径	160 <42> —	ロクロ整形。体部下端は回転ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	磁器だが白色粒子及び赤色微粒子を多く含む。灰褐色。焼成は良好。	一括2
5	須恵器	坏	口径 器高 底径	(150) 34 (97)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	雲母が含まないが長石、石英を多く含む。灰色。焼成は良好で硬質。	一括1 常陸産
6	須恵器	長頸甕	口径 器高 底径	— <61> —	ロクロ整形。外面にはごま塩状の自然釉。胴部は回転ヘラケズリ。内面はナゲ。	緻密で白色粒を僅かに含む。灰色。焼成は良好で硬質。	ANo.12 湖西産
7	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <120> —	ロクロ整形。外面はタタキ整形後、胴部下半は回転ヘラケズリ。内面は円形当て具痕。ナゲ。	白色粒子を僅かに含む。外面は灰色。内面は白灰色。焼成は良好で硬質。	No.13 湖西産
8	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <140> —	ロクロ整形。胴部外面は格子状のタタキ整形。内面は上半部が当て具痕をナゲ、下半部は巾広の木口ナゲ。	緻密で白色粒子を僅かに含む。濃灰色で焼成は良好で硬質。	ANo.11 湖西産
9	鉄製品	刀子	長さ<72mm>, 幅7mm, 背幅3mm。			No.6	

1 5 8号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(112) 44 (80)	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後、ナゲ風ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	砂を多く含む。黒褐色。焼成は不良。	一括3 底部に木葉痕

2	土師器	坏	口径器高底径	(116) 42 54	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は巾の狭い手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。褐色及び灰褐色。焼成は良好。	一括2
3	土師器	坏	口径器高底径	(112) <44> (56)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。灰褐色、一部橙褐色。焼成は良好。	一括1
4	土師器	坏	口径器高底径	— <10> 68	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 11
5	須恵器	蓋	口径器高底径	(170) <26>	天井部は回転ヘラケズリ。天井部はへの字状に開く。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒は目立つが雲母は含まない。濃褐色。焼成は良好だが軟質。	No. 5, 7
6	土師器	甕	口径器高底径	130 <60>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ、内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、透明粒を含む。黒褐色及び赤褐色。焼成は良好。	No. 3
7	土師器	甕	口径器高底径	(166) <72>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端が鋭くなる。	白色粒、石英粒を含む。橙褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 16
8	土師器	甕	口径器高底径	(180) <85>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒子を多く含む。橙褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 14, 15
9	土師器	甕	口径器高底径	(206) <28>	口縁部は横ナデ。口縁部はくの字状に曲折し、口縁端部は短くつまみ出される。	赤色粒を少量含む。褐色。焼成はあまりない。	BNo. 10
10	土師器	甕	口径器高底径	— <50> 72	— 体部外面はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。	細かな白色粒子を含む。橙褐色。焼成はやや不良。	一括4 木葉痕
11	鉄製品	不明	巾6mm, 厚さ9mm。				No. 18
12	鉄製品	不明	長さ63mm, 幅20mm, 厚さ4mm。板状であり一見脚遣かと思えるが、端部に水平割痕が見られる。内側で見る限り織織、布などの付着痕跡はない。				

159号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (160) <44>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内面は漆仕上げによる黒色処理痕が見られる。	磁密で白色粒を多く含む。淡黄褐色、一部黒灰。焼成は良好。	A一括1
2	土師器	坏	口径器高底径 (160) <35>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。内面は剥落。	磁密で白色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	一括
3	鉄製品	不明	長さ40mm, 幅5mm, 厚さ4mm, 3mm。			一括3

160号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (120) <26>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	磁密で金雲母を含む。黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2
2	土師器	坏(盤)	口径器高底径 (120) <27>	— 体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	磁密で白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 11
3	土師器	甕	口径器高底径 (182) <88> 胴最大径(173)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後半部は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒、透明粒を多く含む。橙褐色及び灰褐色。焼成は良好。	No. 1, 8, 12, 一括
4	土師器	甕	口径器高底径 (182) <86>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素線短し。	白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成はやや不良。	No. 16
5	土師器	甕	口径器高底径 (182) <50>	— 口縁部横ナデ。口縁部は素線大きく外反する。	赤色粒子、白色粒子を含む。外面は褐色、内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 9, 16住一括2と同一個体
6	土師器	甕	口径器高底径 (182) <33>	— 外面は割痕が著しく調整は不明。口縁部は素線で小さく外反する。	白色粒と赤色粒子を多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 1
7	土師器	甕	口径器高底径 (182) <25> 64	— 胴部下半部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒及び白色粒を含む。橙褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 17
8	土師器	甕	口径器高底径 (182) <53> 120	— 胴部外面は斜位ヘラケズリ。底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。	赤色微粒子、白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	No. 14, 15
9	磁	雲母片岩	長さ62mm, 幅59mm, 厚さ6mm, 重さ37.7g。			一括3
10	土製品	土鐘	長さ53mm, 径10mm, 重さ8.4g。			No. 19

162号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 128 36	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内面に漆仕上げの黒色処理痕が見られる。	白色微粒子、石英を含む。外面は黒褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 7
2	土師器	坏	口径器高底径 (128) <28>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	黒色粒及び石英を含む。淡褐色。焼成は良好。	一括2

3	土師器	碗	口径 器高 九底	(140) <58>	体部はから底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	一括1
4	土師器	坏(胸)	口縁部片 器高 九底	<34>	口縁部から体部はヘラケズリ後ナデ。口縁部は沈み状の凹面。内外面とも赤彩される。	赤色粒子、白色粒子を含む。赤褐色及び黒色。焼成は良好。	一括3
5	土師器	転用磁石	口唇部近く の巻き込み		残りの非クロの陶磁片の転用。3面に使用痕が見られる。		一括4
6	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(178) <137> (215)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下半が横位ヘラケズリ。内面頸部が横位ヘラケズリ。胴部が縦位ヘラケズリ。	白色粒、石英を多く含む。褐色及び茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 8

1 6 3号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	<29>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	白色微粒子を僅かに含む。素地は黄白色。焼成は良好。	No.1
2	土師器	坏	口径 器高 九底	<29>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。薄手。	白色微粒子を僅かに含む。素地は黄白色。焼成は良好。	No.2

1 6 4号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	(110) <32>	口縁部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は粗いミガキ。	緻密で細かな砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括1
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) <40> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で細かな砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括2
3	土師器	坏	口径 器高 底径	<40> —	口縁部は横ナデ体部から底部はヘラケズリ。内面はミガキ。	緻密で細かな砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括3
4	土師器	転用磁石	葉片の転用磁石。		断面を使用し、3面に使用痕が確認できる。		B一括4

1 6 6号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	(138) 41	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いナデ風のミガキ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好だが軟質。	No.7
2	土師器	高坏	口径 器高 底径	(180) <93> —	坏部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はカーボン吸着による黒色処理。外面は赤彩される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。素地は淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No.1
3	土製品	土玉	径23mm, 厚さ50mm, 重さ9.48g。				No.3
4	土製品	埴	長さ<74>mm, 幅<37>mm, 厚さ2mm, 重さ37.7g。				No.5

1 6 7号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	140 <27>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面ミガキ。	茶褐色。白色粒、黒色粒、茶色粒を含む。焼成は良好。	一括3
2	土師器	坏	口径 器高 九底	(144) <33>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒、半透明粒及び黒色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No.3
3	土師器	坏	口縁部片 器高 九底	<27>	体部から底部はヘラケズリ後ナデ。内面は幅の広いミガキ。	小砂利、白色微粒子、黒色微粒子を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No.7
4	土師器	坏	口縁部片 器高 九底	<22>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は幅の広いまばらなミガキ。	白色粒及び粗い砂多く含む。外面は橙褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	一括4
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <18> 66	ロクロ製。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒、茶色粒、黒色粒を含む。外面は灰黒褐色。内面は増灰褐色。焼成は良好。	一括2
6	土師器	甕	口縁部片 器高 底径	<36> —	口縁部は横ナデ。口縁部は外反気味につまみ出される。	白色、黒色の微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	一括5
7	土師器	甕	口径 器高 底径	<164> 108	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラケズリ後ナデ。	外面は褐色。内面は橙褐色。白色粒、石英を含む。焼成は良好。	一括1

方形土坑遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	118 48	口縁部は横ナデ後ヘラケズリ。更にミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色微粒子が目立つ。暗褐色及び黒色。焼成は不良。	No.3~12
2	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(163) <130> (270)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は漆線で直立気味に立ち上がり、大きく外反する。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を多く含む。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No.1

B区遺物観察表

S I - 1 遺物観察表

()は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 125 器高 52 丸底	口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面ヘラナゲ後ナデ。口縁部は長く垂直になる。	赤色粒子、白色粒子を含む。内外面とも淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2, 括2
2	土師器	坏	口径 (139) 器高 (35) 丸底	口縁部は横ナデ。体部ケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。外面と口縁部内面にかけて赤彩される。	白色粒子、金雲母粒子を含む。外面は淡褐色。内面は茶褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	高坏	口径 一 器高 (72) 基部径 32	胴部外面は縦位ミガキ。内面はヘラケズリ。外面は赤彩される。	白色粒子、黒色粒子を含む。内面は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
4	土師器	鉢	口径 165 器高 88 底径 一	口縁部横ナデ。胴部外面斜横位のヘラケズリ後ミガキ。赤彩によって調整度は殆ど消えている。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	黒色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。外面にスス付着。全面に赤彩。	No. 50, 51, 53, 5 5, 56, 58, 59, 73
5	土師器	甕	口径 132 器高 178 底径 58 胴最大径 175	口縁部は横ナゲ後、頸部縦位ヘラケズリ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ。	金雲母、白色子及び赤色子を含む。淡褐色。二次焼成を受けスス付着。	No. 48, 49, 60~ 69
6	土師器	甕	口径 (154) 器高 (180) 底径 (84) 胴最大径 175	口縁部は横ナゲ。胴部内面はヘラナゲ後ナゲ。頸部に輪積面が見られる。底部は削り出しにより括れが作られる。	大粒の赤色粒、白色粒子を含む。内外面とも褐色。外面は一部黒褐色。焼成は良好。東京湾沿岸地域と胎土が類似。	No. 17
7	土師器	甕	口径 162 器高 260 底径 59 胴最大径 233	口縁部は横ナゲ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナゲ。底部外面はヘラケズリ。外面全体と内面頸部が赤彩される。	白色粒子、褐色粒を含む。胴部内面は黒褐色。焼成は良好だが、二次焼成を受け頸部から胴中部にかけてスス付着。	貯蔵穴 No. 4, 11, 19, 21 181, 316
8	土師器	甕	口径 161 器高 302 底径 65 胴最大径 262	口縁部内外面はヘラ調整。胴部外面は二方面からの斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナゲ。胴下部は磨滅により不明。底部はヘラケズリ。内面口縁部付近から外面全体が赤彩される。	白色粒子、長石粒を含む。赤褐色。焼成は良好だが、二次焼成を受け頸部から胴中部にかけてスス付着。	No. 19~47, 貯蔵 穴No. 1~3, 5~ 10, 30~ 36, 38, 40, 41, 44 ~46, 48~ 51, 53, 58~ 60, 63, 65
9	土師器	坏	底部片 器高 <11 底径 80	ロクロ製形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含む。内外面とも淡黄褐色。焼成は良好。	括1、 底部外面に墨書

S I - 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (120) 器高 (32) 底径 一	非ロクロ製形。口縁部横ナゲ。体部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。褐色色及び内面黒褐色。焼成は良好。	No. 14, 15
2	土師器	高台付坏	口径 144 器高 51 裾径 97	ロクロ製形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子を僅かに含む。着地は淡褐色。一部良褐色。焼成は良好。	No. 20, 21, 23
3	土師器	甕	口径 178 器高 (81) 胴最大径 180	口縁部は横ナゲ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、上半部は横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナゲ。口縁部は短くつまみ出される。	砂と白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 2, 3, 10~ 12, 18, 24
4	土師器	甕	器高 <199 底径 120 胴最大径 304	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ風ナゲ。下部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナゲ。	砂と大粒の赤色粒を多く含む。褐色。焼成は良好だが、二次焼成を受け下部にスス付着。	No. 5, 7
5	石器	磁石	長さ61mm, 幅41mm, 厚さ15mm, 重さ36.0g.			No. 1
6	鉄製品	鎌	長さ170mm, 幅22mm, 背幅1.5mm, 幅36mm, 背幅2.5mm.			No. 6

S I - 3 A遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 144 器高 33 丸平底 75	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナゲ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。底部に木炭灰が僅かに残る。	白色微粒子を僅かに含む。着地は淡黄褐色。内面は褐色。黒褐色。外面は黒褐色。	No. 5
2	土師器	坏	口径 146 器高 31 丸平底 94	口縁部は横ナゲ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナゲ。内面はミガキ。黒色処理については不明。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 6, 底部外 面に墨書「O」 及び刻書「X」
3	土師器	鉢	口径 239 器高 133 底径 93	口縁部は横ナゲ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナゲ。口縁部は面取り状につまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 3
4	土製品	紡繰車	径43mm, 厚さ24mm, 重さ45.7g.			No. 7
5	土製品	紡繰車	径54mm, 厚さ16mm, 重さ25.18g.			No. 14
6	石製品	管玉	滑石製。径5×6mm, 長さ22mm, 重さ0.50g. 両側からの穿孔(中央部に設あり)。			No. 2

S I - 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 127 器高 43 丸底	口縁部は横ナゲ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後全面ミガキ。内面はミガキ。内外面とも剥離が著しい。	砂を多く含む。外面は黒褐色。内面は赤褐色及び暗褐色。焼成は不良。	P-4, 括

2	土師器	坏	口径器高丸底	(110) (29)	口縁部は横ナデ。底部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面はミガキ。内外面とも黒色処理。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂っぽいが緻密である。素地は灰黄褐色。焼成はあまり。	括
3	須恵器	甕	口径器高	(116) (35)	口ロコ筋形。天井部は一段のヘラケズリ。口縁部は外反する。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡灰色。焼成はやや不良でもらい。	括 湖西産
4	土師器	甕	口径器高底径	160 (66)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後横ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で端部は幾分折れる。	砂を多く含む。赤褐色及び暗褐色。二次焼成を受けて脆い。	No. 27, 31+1' 2, 括
5	土師器	甕	口径器高底径	(184) (35)	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラケズリ後ナデ。胴部内面頸部下横ケズリ後ナデ。口縁部素縁で緩やかに外反し、端部は面取り状になる。	外面は褐色及び暗茶褐色。内面は黒褐色。焼成はやや不良でもらい。	No. 18, 28, P8, 括
6	土師器	甕	口径器高底径	198 (112)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後ヘラミガキ。内面は頸部下横ケズリ。胴部はヘラケズリ後ナデ。口端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2, 4~6, 8, 括, 31+1' 3
7	土師器	甕	口径器高底径	(326) (100)	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。全面粗いミガキ。胴部内面斜位ヘラケズリ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。黄色褐色及び赤褐色。焼成は良好で硬質。	No. 20, 括 同一個体 No. 1, 7, 14
8	複製品	甕	口径器高底径	長さ46mm, 厚さ5mm, 厚さ4mm, 厚さ4mm,			No. 14
9	複製品	甕	口径器高底径	長さ75mm, 厚さ11mm, 厚さ5mm, 厚さ2mm,			No. 29
10	複製品	不明	口径器高底径	長さ32mm, 厚さ4mm, 厚さ3mm, 厚さ3mm, 厚さ3mm,			No. 19
11	土製品	丸玉	口径器高底径	径11×12mm, 厚さ1mm, 重さ1.24g,			No. 22

S1-5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	広口甕	口径器高底径 (220) (131)	外面は口縁部が縄文、頸部がナデ、胴部が縄文。内面はナデ。	白色粒子、黒色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 括33, 35	
2	弥生土器	甕	口径器高底径 — — —	外面は頸部がナデ、一部格子目、胴部は縄文。内面はケズリ後ナデ。	白色粒子、黒色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 3, 13, 32, 33, 34, 36, 40, 41, 括	
3	弥生土器	甕	口径器高底径 — — —	外面は縄文、内面はケズリ後ヘラナデ。	白色粒子、黒色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7, 8, 括	
4	弥生土器	甕	胴部片			No. 24, 括	
5	弥生土器	甕	頸部片			No. 14, 括	
6	弥生土器	甕	胴部片				
7	弥生土器	甕	胴部片				
8	弥生土器	甕	口縁部片				
9	弥生土器	甕	口縁部片				
10	弥生土器	甕	口縁部片				
11	弥生土器	甕	破片				
12	弥生土器	甕	胴部片				
13	弥生土器	甕	口縁部片				
14	弥生土器	甕	底部片				
15	弥生土器	甕	口径器高底径 — (35) 71	胴部外面は縄文。底部外面に木葉痕。	白色・黒色・透明粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 42	
16	弥生土器	甕	口径器高底径 — (32) 74	胴部外面はヘラケズリ後ナデ、一部ハケ目、内面はケズリ後ナデ。底部外面に木葉痕。	白色粒子、透明粒子を含む。赤茶褐色。焼成は良好。	No. 11, 21, 括	
17	弥生土器	甕	口径器高底径 — (61) 56	胴部外面はヘラケズリ後ナデ。下端に指押痕。内面はヘラナデ。底部外面に木葉痕。	白色粒子、雲母を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 25	
18	弥生土器	甕	口径器高底径 — (22) 51	胴部外面はヘラケズリ、内面はケズリ後ナデ。底部外面はケズリ。	白色・黒色・透明粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 23	
19	弥生土器	甕	口径器高底径 — (30) 80	胴部外面は多方向のヘラケズリ後ナデ、内面はヘラケズリ後ナデ。底部外面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒子を含む。明茶褐色。焼成は良好。	No. 17	
20	土師器	手裡土器	口径器高丸底	54 28		白色・赤色粒子を含む。黒茶褐色。焼成は良好。	No. 26
21	土師器	手裡土器	口径器高丸底	40 29	外面は指押痕。	白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12
22	土師器	手裡土器	口径器高丸底	54 41	外面は指押痕。	白色・黒色・透明粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 22
23	土師器	手裡土器	口径器高底径	54 (32)	内面は木口刷毛。	白色・赤色粒子を含む。黒茶褐色。焼成は良好。	
24	土師器	手裡土器	口径器高丸底	54 41	外面は指押痕。	白色・黒色・赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 10

25	土師器	手摺土器	口径 器高 丸底	— (31)	外面は指押痕、内面は木口刷毛。		No. 20
26	石器	砥石	長さ	<103>mm, 幅98mm, 厚さ28mm, 重さ318.6g.			No. 1

S I - 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) (35) —	非ロクロ形。口縁部は横ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は口縁部直下を除きミガキ。	白色粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 13
2	須恵器	坏	口径 器高 底径	146 39 90	ロクロ形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	長石、石英、雲母を多く含む。淡茶灰色。焼成は不良で軟らかい。	No. 17, 括弧付産
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) (30) —	非ロクロ形。口縁部横ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。体部から底部ヘラケズリ後ミガキ。内面身込み部分のみ巾の狭いミガキ。	白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括1
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(158) 55 114	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも赤彩される。体部及び底部とも非常に薄く仕上げられている。	白色微粒子を含む。黄地は淡黄褐色。焼成は良好。	括2
5	金銅製品	耳環	直径	17mm, 厚さ3mm, 重さ3.14g.			伊ノ北

S I - 7 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(125) 41 66	ロクロ形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、白色粒子を含む。黒褐色及び淡褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(122) (52) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	甕	器高 底径	<223> 96	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ、剥離が著しい。	砂を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1~5, 括
4	鉄製品	鋸	長さ	258mm, 幅197mm, 厚さ12.5mm.			
5	鉄製品	鎌	長さ	<25.5>mm, 幅10mm, 背幅2.5mm.			一括

S I - 7 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(162) (93) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は胴部から斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は剥離での字状に外反する。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(66) (66) 67	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。底部は括れ内盤状になる。	白色粒子を多く含む。内面は淡褐色。外面は明褐色及び黒色。焼成は良好。	No. 3

S I - 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <113> 84	胴部外面はケズリ後ミガキ。下端は横ケズリ。内面は剥離が著しく調整不明。外面にスチ付着。	赤色粒子、透明・白色粒子を含む。暗褐色。焼成は不良で軟らかい。	No. 9, 10
2	弥生土器	甕	口径 器高 底径	(144) (38) —	口縁部は内外面ともナデ。胴部外面はミガキ。内面はケズリ。口縁部はくの字状に外反する。	赤色粒子、透明・白色粒子を含む。内面は暗褐色。外面は濃茶褐色。焼成は良好。	一括
3	弥生土器	甕	口径 器高 底径	<21> 70	外面下端部は木口ナデ。底部は木葉痕。内面はナデ。	赤色粒子、透明・白色粒子を含む。内面は暗褐色。外面は濃茶褐色。焼成は良好。	No. 13

S I - 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <112> 120	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキされるが調整は不明。内面は剥離が著しい。	砂を多く含む。暗褐色。焼成は二次焼成を受けているが良好。	No. 8~10, 15~17
2	石器	砥石	長さ	154mm, 幅99mm, 厚さ67mm, 重さ763.72g.			No. 7

S I - 10 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	142 33 —	口唇部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面はミガキ。	粗密で白色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) (38) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後鈍なミガキ(ヘラナデ)。内面は巾広の鈍なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	粗密で細かな砂多く含む。白色微粒子を僅かに含む。焼成は良好。	No. 2

3	土師器	鉢	口径器高底径	— (25) 70	胴部外面はヘラケズリ後粗いミガキ、内面はミガキ。底部外面は一方からヘラケズリ後周縁部ケズリ。	緑密で白色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	拵3
4	土師器	坏	口径器高丸底	94 32	口縁部は横ナゲ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後上半部を丁寧なミガキ。内面はミガキ。	白色微粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	拵2
5	土師器	高坏	口径器高底径	98 (40) —	胴部は横ナゲ後丁寧なミガキ。坏部下位は縦位ヘラケズリ後ミガキで全面に赤彩。坏部内面はミガキ後カーボン吸着による黒色処理。胴部はケズリ後ナゲ。	白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	No.1-1
6	土師器	鉢	口径器高底径	82 63 62	口縁部は横ナゲ後ミガキ。体部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面は蓮蕉状の丁寧なミガキ。底部外面は直交する二方向からのヘラケズリ後ミガキ。内外面とも薄仕上げによる黒色処理。	緑密で白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No.4,5 SI-11,拵
7	土師器	鉢	口径器高底径	85 67 68	口縁部は横ミガキ。胴部外面はヘラケズリ後粗いミガキ。胴部内面は粗いミガキ。底部外面直交する二方向からヘラケズリ後ミガキ。内面薄仕上げによる黒色処理。	緑密で白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No.2,3,5,拵
8	須恵器	蓋	口径器高天井径	98 38 51	天井部は二段の回転ヘラケズリ。口縁部は内湾する。口縁部内側は沈線状の凹面が1条走る。	緑密で白色微粒子を多く含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No.6
9	土師器	瓶	口径器高底径	(313) (120) —	口縁部は横ナゲ。胴部は縦位ヘラケズリ後斜位のヘラケズリ。内面は横位ヘラナゲ後ナゲ。	褐色。焼成は良好。	No.3,4
10	石器	砥石	長さ	37mm,幅21mm,厚さ21mm,重さ27.7g。			No.1-2

SI-11A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高丸底	144 33	非ロクロ整形。口縁部横ナゲ。口縁部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナゲ。底面は平底を意識して単一方向のヘラケズリ。内面はミガキ。	赤色粒、白色粒及び黒色粒子を含む。淡黄褐色及び一部黒褐色。焼成は良好。	No.5
2	土師器	坏	口径器高丸底	138 (40)	非ロクロ整形。口縁部は横ナゲ。口縁部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナゲ(ミガキ)。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒、砂粒子を含む。淡橙褐色。焼成は良好。	拵1
3	土師器	坏	口径器高丸底	148 38	非ロクロ整形。口縁部は横ナゲ。口縁部はから底部にかけてヘラケズリ後ヘラナゲ(ミガキ)。内面は丁寧なミガキだが新離が著しい。	黄色粒子、赤色粒子及び黒色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No.1
4	土師器	坏	口径器高丸底	142 (32)	非ロクロ整形。口縁部横ナゲ。口縁部下からヘラケズリ後ヘラナゲ。内面ミガキ後カーボン吸着による黒色処理される。	赤色粒子、砂粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	No.3
5	土師器	坏	口径器高丸平底	(146) (30)	非ロクロ整形。口縁部横ナゲ。口縁部から底部にかけてヘラケズリ後横なミガキ。内面はミガキ後カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子、赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No.2
6	土師器	甕	口径器高底径	186 (66) —	口縁部は横ナゲ。胴部外面は縦位ケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナゲ。口縁部は高縁で外反する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	No.13,15,16, 拵7*No.11, 拵
7	軽石		長さ	61mm,幅60mm,厚さ33mm,重さ24.4g。		No.4	
8	石器	砥石	長さ	68mm,幅42mm,厚さ75mm,重さ70.0g。		床面	
9	鉄製品	鎌	長さ	<117>mm,厚さ5×4mm,厚さ3×3mm。		No.6	

SI-11B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高丸底	144 38	非ロクロ整形。口縁部横ナゲ。口縁部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナゲ。内面丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	赤色粒子、白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No.12
2	須恵器	甕	口径器高底径	—	胴部外面は引き整形後ヘラケズリされ、ナゲられる。内面は当て具成がヘラケズリにより滑され、更にナゲ仕上げされている。	白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	No.7,8 瀬西産
3	軽石		長さ	92mm,幅71mm,厚さ67mm,重さ66.12g。		No.11	
4	軽石		長さ	87mm,幅62mm,厚さ45mm,重さ22.2g。		No.9	
5	鉄製品	鎌	長さ	<50>mm,幅29mm,厚さ1.5mm。		No.10	

SI-12B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	甕	口径器高底径	144 (68) —	口唇部は縄文。内面はナゲ。外面はヘラケズリ後ナゲ。	赤色大粒。黒色・透明・白色粒子を含む。褐色。焼成は不良。	No.1
2	弥生土器	甕	口径器高底径	—	口唇部は縄文。	白色・黒色粒子を含む。赤褐色。茶褐色。焼成は良好。	No.6,7
3	弥生土器	甕	口径器高底径	—	外面は縄文。内面は赤彩される。	白色・黒色・透明粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No.5

4	弥生土器	甕	口径 器高 底径	— (28) 60	外面はヘラケズリ後ナデ、内面はナデ。底部はヘラケズリ。	S1-12括 S1-28括
5	石製品	磨製石斧	長さ	31mm, 幅17mm, 厚さ9mm, 重さ8.47g, 全面とも研磨される。		
6	土製品	支脚	玉串状に3個一組で使用。			No. 2

S I - 1 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	118 33 61	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。外面はロクロ痕が目立たない。	緻密で細かな砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 11
2	土師器	坏	口径 器高 底径	122 39 60	ロクロ整形。底部回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で細かな砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 4, 体部外面に墨書「甲」、 底部内面「乙」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	126 39 65	ロクロ整形。底部は回転糸切り後周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。茶黄褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 12
4	土師器	坏	口径 器高 底径	124 37 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で細かな砂を多く含む。白色微粒子は僅かに含まれる。淡灰黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1, 体部外面に墨書「金」
5	土師器	坏	口径 器高 底径	122 42 50	ロクロ整形。底部は回転糸切り後周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子と赤色粒子を僅かに含む。外面は暗褐色、内面は赤褐色。焼成は良好で硬質。	No. 5, 7, 9
6	土師器	坏	口径 器高 底径	— (32) 56	ロクロ整形。底部は単一方向の全面手持ちヘラケズリ。体部下端は短く連続した手持ちヘラケズリ。内面に輪積痕が見られる。	細かな砂を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 3, べつ括
7	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) 39 69	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。ゆがみが大きい。	緻密で白色微粒子を含む。暗褐色及び茶褐色。	括1
8	土師器	坏	口径 器高 底径	152 51 61	ロクロ整形。底部回転糸切り後、全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。体部内面は遠達状のミガキ。内面は黒色処理。	緻密だが大粒の赤色粒子。粟母、白色斜状物を僅かに含む。褐色及び黒褐色。	No. 2, 底部外面に墨書「甲」
9	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	138 (73) 137	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は斜くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色及び茶褐色。焼成は良好。二次焼成を受ける。	No. 10, 14 べつ括
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— (92) 70	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。茶褐色及び黄褐色。二次焼成を受け強い。	No. 13
11	青銅製品	耳環	直径	17mm, 厚さ4mm, 重さ3.46g.		No. 15	
12	石器	砥石	長さ	40mm, 幅38mm, 厚さ13mm, 重さ30.0g.		括	

S I - 1 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	138 35 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色粒、赤色粒子を含む。暗褐色及び一部茶褐色。焼成は良好。	No. 1, 2, 5
2	土師器	甕	口径 器高 底径	190 (88) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は細長くつまみ出される。	白色粒を含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 3, 4, 7, 9, 12 括
3	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(278) (200) (270)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を含む。暗灰褐色。焼成は良好。	No. 6, 8, 10, 11

S I - 1 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	128 40 72	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面はミガキ。底部は薄く仕上げられる。	赤色粒子、白色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(131) 40 70	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面は丁寧なミガキ。	白色粒子を含む。暗黄褐色。焼成は良好。	No. 6
3	土師器	坏	口径 器高 底径	125 42 82	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面はミガキ。	白色粒子と細かな砂を含む。内面は赤褐色、外面は暗赤褐色。焼成は良好。	No. 1, 底部外面に刻書「X」
4	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	122 152 82 152	口縁部は横ナデ。胴部外面は胴部から縦位ヘラケズリ。胴下半部は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は丸くつまみ出される。	砂粒、黄色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 9
5	土師器	甕	口径 器高 底径	174 (76) —	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は僅かにつまみ出される。	砂を多く含む。褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 7
6	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	120 (56) 66 (130)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はナデ。口縁端部は僅かにつまみ出される。	赤色粒子、白色粒子を含む。焼成は良好。	No. 5, 括

S I - 1 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 110 器高 <30 丸底	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。口縁部内側が磨滅している。	白色微粒を僅かに含む。蒔地は淡黄褐色。明褐色。焼成は良好だが軟質。	No.3
2	土師器	坏	口径 118 器高 38 丸底	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ後カーボン吸着による黒色処理。	胎土で白色微粒子を僅かに含む。白色針状物を含む。淡褐色。焼成は良好。	No.6, 括弧内
3	土師器	坏	口径 134 器高 35 丸平底	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底部は平底を作り出す。	胎土で白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括弧内 底部に木葉痕
4	土師器	坏	口径 145 器高 36 丸平底	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は比較的丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括弧内 No.2
5	土製品	支脚	直径(103)×(107)mm, 高さ(96)mm.			No.2
6	土製品	支脚	径84×80.5mm, 高さ(172)mm.			No.1
7	鉄製品	刀子	長さ(60)mm, 刃部 幅3mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅1mm, 背幅3mm.			No.5
8	鉄製品	刀子	長さ(117)mm, 刃部 幅10mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅6.5mm, 背幅3mm.			No.9

S I - 1 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 145 器高 40 丸平底 113	非ロクロ製。口縁部は横ナデ。口端部から底部はヘラケズリ後ミガキ。体部下位で底部を削り出す。口唇部の巻き込みはない。	白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No.7~10
2	土師器	坏	口径 (140) 器高 41 底径 90	非ロクロ製。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	S1-17 No.4, S1-22, 括弧内 No.12
3	土師器	坏	口径 90 器高 <9 底径 89	非ロクロ製。体部はヘラケズリ後ミガキ。内面は鈍なミガキ。	細かな砂を多く含む。白色微粒子を多く含む。暗褐色。	括弧内 底部外面に墨書
4	土師器	壺	口径 器高 <29 底径 (130)	胴部外面は斜位ケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。底部は突出する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は黄褐色。内面は灰色。焼成はあまりない。	No.13
5	土師器	壺	口径 器高 <266 底径 90	口縁部は横ナデ。胴部上位は横位ヘラケズリ。胴部から下位にかけて縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。	赤色粒子、黒色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。二次焼成を受けている。	No.1, 2, 3, 4, 5, 6, 8 武蔵型壺
6	石製品	紡錘車	径34×36mm, 厚さ16mm, 重さ31.96g.			No.17
7	石器	砥石	長さ204mm, 幅83mm, 厚さ35mm, 重さ691.75g.			No.12

S I - 1 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	底部片	非ロクロ製。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	胎土で白色微粒子を僅かに含む。淡茶褐色。焼成は良好。	括弧内 底部外面に墨書「X」

S I - 1 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 123 器高 42 底径 67	ロクロ製。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No.2. 体部外面に墨書「岳」
2	土師器	坏	口径 (120) 器高 42 底径 66	ロクロ製。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	胎土で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括弧内 No.2, 3, 6. 底部外面に墨書か
3	土師器	坏	口径 134 器高 39 底径 61	ロクロ製。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。非常に薄手の作り。	胎土で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。一部暗褐色。焼成は良好。	括弧内 No.20, 26. 一括
4	土師器	坏	口径 器高 <18 底径 73	ロクロ製。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	胎土で細かな砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括弧内 No.7
5	土師器	坏	口径 148 器高 49 底径 69	ロクロ製。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はミガキ。	赤色粒子、砂粒を含む。外面は暗黄褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	括弧内 No.18
6	土師器	高台付皿	口径 器高 137 底径 31 底径 69	ロクロ製。内面は単一方向のミガキ後、連珠状のミガキ。	石英、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No.8
7	土師器	皿	口径 器高 <24 底径 90	ロクロ製。内面はミガキ。体部から口縁部は横やかに外反する。口縁端部は薄く仕上げられる。外面は剥離が著しい。	砂粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括弧内 No.26
8	土師器	高台付皿	口径 器高 <63 底径 115	ロクロ製。内面はミガキ。	白色粒子を含む。外面は褐色。内面は黄褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	括弧内 No.8
9	土師器	坏	口径 器高 <18 底径 70	ロクロ製。内面はミガキ後黒色処理。底部は全面手持ちヘラケズリ。	石英、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.5

10	土師器	高台付皿	口径 器高 底径	— (19) (75)	ロクロ整形。内面は丁寧なミガキ。カーボン液着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好。	3v1' No. 11
11	土師器	皿	口径 器高 底径	130 (23) —	ロクロ整形。内面は丁寧なミガキ。カーボン液着による黒色処理。	白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	3v1' No. 22
12	土師器	皿	口径 器高 底径	142 (17) —	ロクロ整形。内面は丁寧なミガキ。カーボン液着による黒色処理。	白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 30
13	土師器	坏	口径部片 器高	<20	ロクロ整形。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。焼成は良好子硬質。	括1, 体部外面墨書「加?」
14	土師器	坏	口径部片 器高	<27	ロクロ整形。他の坏類に比べて厚く、大振りの特徴になる。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成はあまり。	括2, 体部外面に墨書「田?」
15	土師器	甕	口径 器高 底径	155 (40) —	口径部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整は不明。口径部は上方につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	3v1' No. 25
16	土師器	甕	口径 器高 底径	175 (95) —	口径部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口径部は長くつまみ出される。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	3v1' No. 12~14
17	土製品	支脚	高さ	227mm	上部径30mm, 下部径52mm。		3v1' No. 16, 17
18	鉄製品	刀子	長さ	218mm	刃部 幅2mm, 背幅2.5mm, 柄3mm, 背幅4mm, 柄部 幅9.5mm, 背幅3mm。		No. 3, 9

SI-20 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 48 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 2, 3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	123 40 72	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 7
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— (17) (74)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	細かい砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— — (86)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 6, 底部外面に墨書「百」
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(158) (65) —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口径部は上方に長くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗褐色。二次焼成を受ける。	No. 20

SI-21 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	(166) (34) —	口径部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも赤影。	キメの細かい粘土。白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。	No. 6
2	土師器	坏	口径部片 器高	<30	ロクロ整形。	小砂利を含む。茶褐色。焼成は良好。	括1, 体部外面に墨書「井」
3	土師器	鉢	口径 器高 底径	(122) (77) —	口径部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。更にミガキ。口径部はほぼ直立し、短くつまみ出される。	白色粒を含む。外面黒色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(133) (75) —	口径部は横ナデ。胴部外面は口径部近くから、横位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口径部は素縁で短く外反する。	白色粒、透明粒及び黒色粒を含む。橙褐色。焼成はやや不良。	No. 8
5	鉄製品	鏝	長さ	277mm	幅15mm, 背幅1mm。		
6	磁石	塊	長さ	65mm, 幅50mm, 厚さ	38mm, 重さ	23.2g。	No. 4

SI-22A・B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	113 37 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色粒子が目立ち、白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で軟質。	SI-22A, B 括1 体部外面に墨書
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 40 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立ち器面がざらつく。赤褐色。焼成は良好で硬質。	SI-22A, No. 4 底部外面に墨書「白?」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	122 37 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも剥離が著しい。	緻密で白色微粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	SI-22A, B 括1, 3v1' No. 5, 11
4	土師器	坏	口径 器高 底径	138 38 88	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤影。	緻密だが細かい砂を多く含む。小砂利が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 15, 16, 51-17 括1, X 底部外面に墨書
5	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	165 (82) 180	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口径部は長くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色及び赤褐色。焼成は良好。	SI-22B No. 22 3v1' No. 4, 6, 7, 9

S I - 2 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 118 器高 38 底径 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ(非折方向)。底部下端は未調整。	赤色粒子を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 10
2	土師器	坏	口径 (120) 器高 41 底径 68	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 17, 括弧
3	土師器	坏	口径 — 器高 <23> 底径 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	坏	口径 — 器高 <10> 底径 (68)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は未調整。	砂を多く含む。小砂利が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。	括弧3、 底部内面に墨書
5	土師器	皿	口径 (140) 器高 <14> 底径 —	ロクロ整形。内面はミガキ。内面黒色処理。	緻密だが細かな砂を多く含む。褐色は淡黄褐色。焼成は良好。	括弧2
6	土師器	甕	口径 120 器高 <71> 胴最大径 122	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括弧1、No. 26, 括弧
7	須恵器	長頸壺	口径 80 器高 (52) 底径 <95>	胴部下半は回転ヘラケズリ。上部は平らで外に開く。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄灰色。焼成は良好で硬質。	No. 12, 13 猿投強直管14号式試
8	土師器	甕	口径 (238) 器高 <47> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は長くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	括弧1
9	土師器	甕	口径 (190) 器高 <167> 胴最大径 199	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は長くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 6
10	鉄製品	鎌	長さ35mm, 幅31mm, 背幅3.5mm.			No. 16
11	鉄製品	不明	中重長さ44mm, 厚さ4×4mm.			No. 16
12	石器	砥石	長さ53mm, 幅24mm, 厚さ13mm, 重さ25.7g.			No. 19

S I - 2 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 130 器高 30 底径 64	ロクロ整形。底部回転糸切り未調整。底部下端は未調整。	キメの細かい粘土。外面赤褐色、内面黄褐色。焼成は良好。	括弧1、 内面に刻印「×」
2	土師器	坏	口径 (164) 器高 40 丸底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。	キメの細かい粘土。褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 5
3	土師器	甕	口径 146 器高 <90> 胴最大径 162	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、ナデ(ミガキ)。胴部内面は斜位ヘラケズリ後、粗いミガキ。	粘土粒子。朱褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	No. 2, 13
4	土師器	甕	口径 146 器高 <144> 胴最大径 186	口縁部は横ナデ。胴部外面はタカキ整形後、縦位のミガキ。胴部内面は横位ヘラナデ(ヘラケズリ)後ナデ。	長石、石英、雲母を含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 11, 括弧 常総型甕
5	土師器	甕	口径 (202) 器高 <86> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ナデ。胴部内面は剥離が著しく不明。	大粒の白色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 8
6	土師器	甕	胴最大径 150 器高 <123> 底径 68	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。底部は塊状突出する。	大粒の白色粒を含む。暗褐色、外面下ろス付着。焼成は良好。	No. 11, 12
7	土師器	甕	口径 — 器高 <136> 胴最大径 184	胴部外面は斜位ヘラケズリ。剥離が著しい。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	大粒の白色粒子と赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 9, 10, 括弧

S I - 2 5 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (118) 器高 41 底径 (63)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。底部下端は未調整。	砂粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	坏	口径 — 器高 <24> 底径 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2
3	土師器	手捏土器丸底	口径 (50) 器高 41	外面はヘラケズリ。内面は指ナデ。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	括弧2

S I - 2 5 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (128) 器高 44 底径 (62)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	S1-25B No. 2

2	土師器	甕	口径 200 器高 <108 胴最大径(192)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は長くつまみ出される。	赤色粒及び砂粒を含む。外面褐色、口縁部は黄褐色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	甕	口径 (212) 器高 <217 胴最大径(262)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位から下位は多方向のヘラケズリ。胴部内面はフラナデ。	白色粒子及び赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1, 括
4	土師器	甕	口径 (168) 器高 <166 胴最大径(165)	口縁部は横ナデ。胴部外面上位は縦位ヘラケズリ下位は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	SI-25 伊1 括1
5	土製品	支脚	高さ140mm			No. 7
6	礎		長さ112mm, 幅122mm, 厚さ31mm, 重さ545.2g。			No. 4
7	土製品	勾玉	長さ27mm, 幅16mm, 厚さ9mm, 重さ3.39g。			No. 5

SI-26 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 136 器高 39 底径 (70)	ロクロ整形。底部は回転糸切り未調整。体部下端は未調整。	白色微粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 7, 括
2	土師器	碗	口径 192 器高 62 底径 78	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子及び砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
3	土師器	坏	体部片	ロクロ整形。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。灰褐色。焼成は良好。	括2, 胴部外面に墨書「〇」
4	土師器	坏	底部片	非ロクロ整形。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書「大」
5	土師器	甕	口径 118 器高 138 底径 70 胴最大径 125	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。底部外面は直交する二方向の手持ちヘラケズリ。口縁部は垂直につまみ出され、やや内湾する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。橙褐色。焼成は不良。二次焼成を受ける。	伊1 No. 13
6	土師器	甕	口径 (136) 器高 (71) 胴最大径(134)	口縁部はナデ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 15, 16
7	土師器	甕	口径 (170) 器高 (100) 胴最大径 166	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は横位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。	白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
8	土師器	甕	口径 (170) 器高 (96) 胴最大径(170)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜横位ヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 14, 伊1 No. 1
9	土師器	甕	口径 (314) 器高 <139 胴最大径(275)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。	白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
10	須恵器	甕	口径 270 器高 <214 底径 —	胴部外面は縦位方向のタタキ整形後、下半は斜横位ヘラケズリ。内面はナデにより当具痕は消えている。	白色微粒子を多量に含む。暗灰色及び黄灰色。焼成はやや不良。器面に無数のひび割れ。	No. 7, 8 在地産
11	鉄製品	刀子	長さ<119mm, 刀部 幅8mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅4mm, 背幅4mm。			No. 3
12	鉄製品	鉄錐	長さ61mm, 幅61mm。			No. 10

SI-27A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 130 器高 37 底径 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	緻密で赤色微粒子、白色微粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	括3
2	土師器	坏	口径 (126) 器高 35 底径 (70)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色・赤色微粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	SI-27A-B-C括4
3	土師器	坏	口径 (116) 器高 34 底径 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	小砂利を含む。紫褐色。焼成は良好。	SI-27A-B括5
4	土師器	坏	口径 — 器高 <13 底径 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	細かな砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。灰褐色。焼成は良好で硬質。	括11 外面に墨書「田」
5	土師器	碗	口径 — 器高 (38) 底径 74	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で金雲母と赤色微粒子を含む。褐色。焼成は良好。	SI-27 No. 8
6	土師器	坏	口縁部片 器高 <35 底径 —	ロクロ整形。体部下端未調整。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括17 外面に墨書
7	土師器	坏	底部片 器高 <8 底径 —	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	括18 底部外面に墨書「上」
8	土師器	坏	底部片 器高 — 底径 —	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。内面黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括20 外面に墨書

9	土師器	甕	口径 器高 底径	190 (60) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナゲ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27 No. 1, 7-2
10	土師器	甕	口径 器高 底径	(208) (75) —	口縁部はナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナゲ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27 No. 7, 括
11	甕			長さ85mm, 幅67mm, 厚さ31mm, 重さ21.36g。			No. 5
12	鉄製品	不明		長さ<61>mm, 厚さ5×4mm, 厚さ6×5mm。			No. 4
13	鉄製品	不明		長さ<28>mm, 厚さ4×4mm。			括22
14	鉄製品	鎌		長さ<28>mm, 幅19mm, 背幅2mm。			括21

SI-27 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	— <24> —	クロコ型。口縁部は縁分外反する。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	括16 口縁部外面墨書
2	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <140> (180)	胴部外面は斜位方向のタタキ整形後、下端は斜位ヘラケズリ。胴部内面は真横位を指ナゲ調整により削している。	白色粒子、赤色粒子を多量に含む。赤褐色及び黒褐色。焼成は不良。	Jv' No. 6 在産地
3	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <198> —	胴部外面は斜位方向のタタキ整形後、下端は斜位ヘラケズリ。胴部内面は指ナゲ。	白色粒子、赤色粒子を多量に含む。濃灰色。焼成は良好。	Jv' No. 5 SI-27, 27B, 27D 在産地

SI-27 C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 32 58	クロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	胎面で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27 No. 9 SI-27C No. 8
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) 35 66	クロコ型。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	石英を含む。赤褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 一括
3	土師器	坏	口径 器高 底径	127 43 70	クロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒を多く含む須恵器的。外面は灰褐色及び黒褐色。内面は黄褐色及び暗褐色。焼成は良好。	SI-27C No. 1, SI-27A 一括
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(114) 39 67	クロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	胎面で赤色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C No. 6-1 SI-27A 一括
5	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 31 (76)	クロコ型。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面は黒色処理。	砂を多く含む。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C No. 6-2 SI-27A 括 SI-27B 括
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(150) 49 68	クロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。体部内面は丁寧なミガキ。内面は黒色処理。	胎面で白色微粒子と金雲母を含む。外面暗褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C No. 2 SI-27B 一括
7	土師器	坏	口径 器高 底径	— < 8> (72)	クロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	胎面で白色微粒子を含む。黄褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C 括13 底部外面に墨書「面」
8	土師器	坏	口径 器高 底径	— <14> (58)	クロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部は多方向から手持ちヘラケズリ。体部外面は連続手持ちヘラケズリ。	胎面で赤色粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好。	SI-27D 括10 底部外面に墨書「樽？」
9	土製品	支脚		高さ<138>mm。			

SI-28 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(111) <38> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は身辺みから底面はミガキ。体部上半から口唇部にかけてはまばらなミガキ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括5
2	土師器	坏	口径 器高 底径	121 30 (80)	口縁部は横ナデ。体部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は全面ミガキ。底部は多方向のヘラケズリ後ミガキ。	石英粒、白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色、一部褐色。焼成は良好。	No. 7, 8
3	土師器	坏	口径 器高 底径	126 39 (76)	口縁部は横ナデ。体部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は全面ミガキ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	赤色微粒子、白色粒子を含む。淡黄褐色及び暗黄褐色。焼成は良好。	No. 9, 13
4	土師器	坏	口径 器高 底径	120 40	口縁部は横ナデ。体部は斜位ヘラケズリ。内面は底面のみまばらなミガキで体部はナゲ仕上げ。削り出しによって底面を作り出している。	赤色微粒子、石英粒子、白色微粒子を含む。黄褐色。焼成は良好で軽質。	No. 10, 11, 21 底部外面に刻書「X」
5	土師器	坏	口径 器高 底径	(143) <33> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は底面が連続ミガキ。体部上半から口唇部にかけてはまばら。	赤色粒子、砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括5 No. 16 と同一個体
6	土師器	坏	口径 器高 底径	(155) <36> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面は底面が連続ミガキ。体部上半から口唇部にかけてはまばら。	赤色粒子、砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 16, 括3 と同一個体

7	土師器	坏	口径 器高 底径	(158) <38> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子、白色粒子を含む。外面は黒褐色、内面は淡黄褐色。焼成は良好。	括2
8	土師器	坏	口径 器高 底径	(175) <33> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒子、砂粒を含む。外面は淡褐色、内面は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
9	土師器	坏	口径 器高 丸底	(170) 39 —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は全面丁寧なミガキ。平底気味に削り出されている。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 18
10	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	— <15> 35	非口ロ整形。外面はヘラケズリ、内面はナデ。底部外面を除き内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括4
11	須恵器	高台付盤	口径 器高 底径	(183) 40 (135)	口ロコ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。口縁部は幾分外反する。台部は角高台で底部の外側についている。	黒色粒子を僅かに含む。乳黄灰色。焼成は良好。	No. 19 関西産
12	灰輪陶器	長頸壺	口径 器高 底径	— 90 81	口ロコ整形。胴部下半は回転ヘラケズリ。底部は回転ヘラケズリ。内面はナデ。外面に濃緑色の灰輪が流れる。	非常に緻密で、僅かに小石と白色微粒子を含む。内面は茶灰色、外面は緑灰色。焼成は良好で硬質。	括1 續投資黒底14号窯式か
13	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	176 <108> 188	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に外反する。	赤色粒、白色粒、石英、長石を含む。褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 5
14	土師器	甕	口径 器高 底径	(184) <61> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しく、調整は不明。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	白色微粒子を含む。淡黄褐色、暗黄褐色。焼成は良好。	No. 20
15	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) 100 <73>	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は緩やかに外反し、口縁端部は強くつまみ出される。	赤色粒子、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 14
16	土師器	甕	口径 器高 底径	<98> 103 —	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は指によるナデ仕上げ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1, 3, 括
17	土師器	甕	口径 器高 底径	(258) <34> —	口縁部は横ナデ。口縁端部は垂直気味に長くつまみ出される。	赤色粒子、砂粒子を含む。外面は淡褐色、内面は黄褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 15
18	土製品	支脚	高さ	35mm			

S I - 2 9 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(148) <32> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 9
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	(144) <42> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1, 括
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	140 42 —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ヘラケズリ。内面は垂直気味の丁寧なミガキでカーボン吸着による黒色処理。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。内面は黒色。外面は淡褐色。焼成は良好。	No. 4 底部に木葉痕
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— <14> (64)	口ロコ整形。底部回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含む。小砂粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1 体部外面に墨書
5	鉄製品	鐵	長さ	43mm, 厚さ5×4mm, 厚さ3×3mm			No. 7
6	鉄製品	鐵	長さ	26mm, 厚さ4×4mm			一括

S I - 2 9 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	113 34 61	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ(粗いミガキ)。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒を含む。内面は明褐色口縁部一部黒色。外面は淡褐色一部黒色。焼成は良好。	No. 40
2	須恵器	長頸壺	口径 器高 台部径	— <70> 93	口ロコ整形。底部内面に濃緑色の輪が掛かる。右の圧痕が残る。	緻密だが黒色粒を含む。灰色。焼成は良好で硬質。	SI-29 括 東海産
3	土製品	支脚	高さ	28mm			No. 2
4	鉄製品	刀子	長さ	28mm, 刃部 幅6mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅4mm, 背幅2mm			No. 2

S I - 3 0 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	高台付皿	口径 器高 底径	134 (24) —	口ロコ整形。口縁部は直取り状で平坦。内面は黒色処理。底部は全面手持ちヘラケズリ。	白色粘土。外面は淡褐色。焼成は良好でやや軟質。	No. 1 底部外面に墨書「面?」
2	土師器	高台付坏	口径 器高 台部径	144 50 72	口ロコ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。内面は黒色処理。外面の口ロコ痕跡は在地的な手法ではない。	白色粘土で白色粒子を含む。外面は淡褐色。一部暗褐色。焼成は良好でやや軟質。	SI-31A2 No. 1

3	土師器	坏	口径器高底径	(120) 42 60	ロクロ彫形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面は黒色処理。	やや緻密。外面は暗褐色。焼成は良好でやや硬質。	括2
4	土師器	甕	口径器高底径	— <38> 78	胴部下端は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナゲられるが剥離が著しく不明瞭。	内面は暗褐色。外面は暗褐色。焼成はやや不良。	No. 11
5	土師器	甕	口径器高底径	— <44> 78	口縁部は横ナゲ。胴部外面は斜位ヘラケズリ、内面はヘラナゲ後ナゲ。口縁部はくの字状になり、口縁端部は外反気味につまみ出される。	白色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好でやや硬質。	No. 3
6	土師器	甕	口径器高底径	(250) <55> —	口縁部は横ナゲ。胴部外面はナゲ、内面はヘラナゲ後ナゲ。須恵器的な口縁部であるが、胴部の形態と調整は土師器である。	白色粒子及び雲母を含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 15
7	須恵器	長頸甕	口径器高底径	— <116> —	ロクロ彫形。胴部外面は回転ヘラケズリ。胴部に濃緑色の自然釉。	白色粒子を含む。外面は暗緑灰色。内面は緑灰色。焼成は良好で硬質。	No. 9 後設黒墨票14号室式か
8	須恵器	甕	口径器高底径	— <71> (162)	胴部外面はタタキ彫形。下端部はナゲ。内面は下盤から底部にかけて指頭によるナゲ。底部外面はシツタ痕跡が残る。	灰色で緻密な粘土。白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	SI-31A2 No. 2 東海産
9	石器	砥石	長さ	81mm, 幅50mm, 厚さ204.3g.			No. 4
10	鉄製品	刀子	長さ	<83>mm, 幅5mm, 背幅3mm, 幅11mm, 背幅4mm.			No. 13
11	須恵器	甕	口径器高底径	— — —	胴部は格子状のタタキ彫形。内面の当て具痕跡はナゲられて消されている。	濃赤で白色塵を含む。外面には赤色の鉄粒が全面にみられる。焼成は良好で硬質。	No. 3, 4, 10, 12 東海産

SI-30B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径器高底径	226 177 87	口縁部横ナゲ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半部ヘラケズリ。内面ヘラナゲ後ナゲ。底面はナゲ。口縁部は濃緑で短く外反する。	白色粒子、砂粒を含む。茶褐色。底部外面は一部黒色。焼成は良好。	No. 1~9, 11
2	土師器	甕	口径器高底径 胴部大径	(380) (151) (342)	口縁部は横ナゲ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後、頸部から中位までミガキ。口縁部は外につまみ出される。	白色粒子、雲母を含む。茶褐色。一部黒褐色。焼成は良好。	No. 10

SI-30C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(124) 49 (68)	ロクロ彫形。底部は回転糸切り後、黒線部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を含む。暗褐色。焼成は良好でやや硬質。	SI-30 No. 1 体部外面に墨書「ノ」
2	土師器	坏	口径器高底径	<23> —	ロクロ彫形。内面はミガキ。カーボン痕跡による黒色処理。非常に薄手の作り。	緻密で白色微粒子と雲母を含む。内面黒色。外面暗褐色。焼成は良好。	括2 体部外面に墨書「ノ」

SI-30D 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	116 34	口縁部は横ナゲ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は細かく丁寧なミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含みざらつく。暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 5, 6
2	土師器	坏	口径器高底径	154 38 65	口縁部は横ナゲ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面の体部は斜位ミガキ。	砂を多く含む。練りも甘い。暗褐色。焼成は不良。	No. 7~9
3	石器	砥石	長さ	45mm, 幅24mm, 厚さ19mm, 重さ21.9g.			一括

SI-31 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(160) <31>	口縁部は横ナゲ。体部から底部はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面は丁寧なミガキ。体部は薄手の作りである。	赤色粒、白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	一括

SI-32 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(125) 43 53	ロクロ彫形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	白色粒子を含む。内面は茶褐色。外面は明褐色。焼成は良好。	No. 10 体部外面に墨書「本」
2	土師器	坏	口径器高底径	(130) 42 66	ロクロ彫形。底部は二方向からの全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色砂粒を含む。淡褐色一部黒褐色。焼成は良好。	No. 42 体部外面に墨書「十」
3	土師器	坏	口径器高底径	<12> (65)	ロクロ彫形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部は下端未調整。	細かな砂を含む。赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括1 底部外面に墨書「得？」
4	土師器	坏	口径器高底径	— <22> 64	ロクロ彫形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 24

5	土師器	高台付坏	口径 器高 底径	(150) (35)	—	ロクロ整形。再調整不明。体部は大きく反外する。	砂粒を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 25, 39
6	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	164 (95) 170	—	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。口縁増部は小さくつまみ出される。	赤色粒、雲母を含む。内外面褐色。内面の一部にスス付着。焼成は良好。	No. 22
7	土師器	甕	口径 器高 胴部径	222 (230) 212	—	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。口縁増部は長くつまみ出される。	赤色砂粒、白色粒子を多く含む。内外面とも淡褐色。胴部外面一部黒色。	No. 6~8
8	土師器	甕	口径 器高 胴部径	(208) (213) (302)	—	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。下半部は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。摩滅が激しい。	赤色粒を含む。褐色。焼成は良好で硬だが内面は二次焼成のため剥離が激しい。	No. 4, 6, 20 No. 1同一個体
9	須恵器	転用甕	口径 器高 底径	— — —	—	ロクロ整形。胴部外面はタタキ整形。内面の当て具痕跡は類られている。転用甕。	灰白色。焼成は良好で硬質。	No. 3 瀬西産
10	石器	砥石	長さ	67mm, 幅54mm, 厚さ18mm, 重さ80.9g。	—	—	—	No. 32

S I - 3 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	148 51 58	口縁部横ナデ。体部から底部ヘラケズリ後ミガキ。一部黒色の所にミガキ痕。体部は口縁部に向かい、薄く鋭くつまみ出される。	砂ぼく白色粒を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	SF75-25 P3 No. 3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(148) 58 59	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。口縁部は短く反外する。	砂ぼく白色粒を多く含む。赤褐色。口縁部は不良。	No. 5
3	土師器	高坏	口径 器高 底径	179 143 130	体部外面はヘラケズリ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ。坏部内外面と胴部外面は赤彩される。	白色粒子を多く含む。胴部内面は黒褐色。焼成は良好。	SF75-25 P3 No. 4
4	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	103 149 62 156	口縁部は増部からヘラケズリ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子と赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	SF75-25 P3 No. 1
5	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	198 141 67 187	口縁部は増部からヘラケズリ。胴部は縦位外面はヘラケズリ後、斜横位ヘラケズリ。内面はケズリ後ナデ。胴部は斜横位ヘラケズリ後全面ミガキ。口縁部はくの字状に折れる。	白色粒を含む。外面は黒褐色。内面は淡褐色。焼成は良好だが二次焼成を受ける。	SF75-25 P3 No. 2
6	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	138 (94) — (222)	口縁部は内外面ともヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部外面は全体にミガキ。	白色粒を多く含む。濃褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6
7	鉄製品	鐵	全長	130mm, 厚さ3mm, 幅5mm。	—	—	No. 3

S I - 3 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考		
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) (36)	—	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂粒を含む。内面は黒褐色、茶褐色。外面は褐色、茶褐色。焼成は良好。	No. 17, 21
2	土師器	坏	口径 器高 底径	125 38 58	—	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	白色粒子を含む。内面は黒褐色。外面は淡褐色。焼成は良好。	3v1 No. 20
3	土師器	鉢	口径 器高 底径	135 107 76	—	ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部外面は斜横位ヘラケズリ。内面は横ナデ。胴部下位に焼成前に長方形の切り取り孔あり。	砂粒を含む。内面は橙褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	No. 1
4	土師器	高台付甕	口径 器高 底径	— (42) 88	—	ロクロ整形。底部は回転糸切り未調整。内面は巾の狭いミガキで黒色処理される。高台は角高台で長い。	白色砂粒を含む。黒褐色及び淡褐色。焼成は良好。	3v1 No. 19
5	總	—	長さ	90mm, 幅60mm, 厚さ75mm, 重さ648.9g。	—	—	No. 11	
6	總	—	長さ	71mm, 幅70mm, 厚さ50mm, 重さ280.6g。	—	—	No. 10	

S I - 3 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	總	—	長さ	44mm, 幅44mm, 厚さ22mm, 重さ53.6g。	—	—	No. 42
2	總	—	長さ	50mm, 幅42mm, 厚さ15mm, 重さ44.5g。	—	—	一括

S I - 4 0 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考		
1	土師器	坏	口径 器高 底径	133 39 100	—	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は底面から体部中位まで密なミガキ。	白色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 7
2	土師器	甕	口径 器高 底径	— (21) 79	—	外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。二次焼成のため外面は剥離している。	白色粒子、赤色粒子を含む。内面は黒褐色。外面は濃褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	No. 32
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(306) (89) —	—	口縁部から頸部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。取手は粘土塊を押しつけ整形。	白色微粒子、赤色粒子及び雲母を僅かに含む。褐色及び黒色。焼成は良好。	No. 24

4	土師器	甗	口径 器高 底径	(335) <204 (150)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜横位ヘラケズリ。内面はナデ後ミガキ。取手は縁部できない。	白色粒子、赤色粒子を含む。褐色及び黒色。焼成は良好だが二次焼成のため内面が剥離している。	No.39,18~20 22,23,25
---	-----	---	----------------	------------------------	--	--	-------------------------

S I - 4 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(121) <44 (75)	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は底面から体部中位までミガキ。	白色微粒子、赤色粒子、黒色粒子を含む。明褐色。底部外面は櫻褐色。焼成は良好。	No.10
2	土師器	坏	口径 器高 底径	121 41 75	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面は底面から体部中位までのミガキは密で、口縁部近くは粗い。	白色粒子、赤色粒子を含む。内外面と白褐色。焼成は良好。外面にスエナグ。	No.39,40,42
3	土師器	坏	口径 器高 底径	128 40 78	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	赤色粒子、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No.11

S I - 4 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	底部片 器高 底径	— — —	非ロクロ整形。底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括弧 底部外面に墨書
2	鉄製品	鎌	長さ	59mm, 幅9mm, 背幅2mm,	—	—	一括
3	鉄製品	馬具	長さ	143mm, 幅50mm, 厚さ4×4mm, 4.5×6mm, 4×6mm, 8×7mm,	—	—	No.1

S I - 4 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	132 40 82	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ後ミガキ。	白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好で硬質。	No.5
2	土師器	坏	口径 器高 底径	129 37 67	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ仕上げ後体部下位から底面ミガキ。身辺み部分は巾の狭いミガキ。	赤色粒子、黒色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No.12,13,15 体部外面に墨書「神」
3	土師器	甗	口径 器高 底径	200 <100 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ヘラナデ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。剥離が著しい。	白色粒を含む。赤褐色、一部黒褐色。焼成は不良。	No.17,18,20
4	土師器	甗	口径 器高 底径	(210) <103 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は不良。	No.6
5	土師器	甗	口径 器高 底径	(220) (96) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位及び斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.19b1'
6	土師器	甗	口径 器高 底径	240 (53) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は剥離が著しく調整は不明。口縁端部は凸状につまみ出される。	黒色粒子、赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は不良。	No.15
7	土師器	甗	口径 器高 底径	(220) (75) —	口縁部は横ナデ。胴部外面から胴部は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は不良。	括弧
8	土師器	甗	口径 器高 底径	(262) (50) —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ。胴部内面はナデ。取手は粘土塊を貼り付けナデ。	白色粒を含む。内面は褐色、外面は黒褐色。焼成は良好。	No.4,16
9	須恵器	甗	口径 器高 底径	(370) (41) —	ロクロ整形。体部外面は回転ヘラケズリ。口縁端部は凹面の受け部状になる。	大粒の長石、石英を多く含むが雲母は含まれない。灰白色。焼成は良好。	No.4,5FT5-8 常陸産
10	土製品	土玉	径	22×23mm, 厚さ21mm, 重さ9.15g,	—	—	No.18
11	土製品	土玉	径	24×23mm, 厚さ24mm, 重さ11.92g, 全面丁寧なミガキ。	—	—	No.1
12	鉄製品	鎌	長さ	96mm, 幅24mm, 背幅3mm, 幅27mm, 背幅2mm,	—	—	No.3
13	陶	—	長さ	73mm, 幅30mm, 厚さ32mm, 重さ114.9g,	—	—	No.2
14	陶	—	長さ	35mm, 幅26mm, 厚さ16mm, 重さ19.4g,	—	—	括弧
15	陶	—	長さ	55mm, 幅34mm, 厚さ22mm, 重さ35.2g,	—	—	括弧
16	陶	—	長さ	54mm, 幅43mm, 厚さ32mm, 重さ81.3g,	—	—	No.9
17	土製品	支脚	高さ	<95mm,	—	—	No.10

S I - 4 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土師	甗	口径 器高	101 <101	口縁部から胴部は刷毛調整。胴部に単面Lが施文される。	白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.1

S I - 4 6 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(136) 33 —	口縁部横ナデ。体部から底部にかけヘラケズリ後ミガキ。内面は体部中位から底部にかけて丁寧なミガキ。	小砂粒を含む。内外面暗褐色、一部黒褐色。焼成は良好で硬質。	No.50

2	土師器	坏	口径器高底径	133 33 88	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆による黒色処理か。	赤色粒を含む。裏地は淡褐色。焼成は良好。	No. 32
3	土師器	坏	口径器高底径	142 37 98	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	赤色粒を含む。裏地は淡褐色。焼成は良好。二次焼成を受けている。	No. 13
4	土師器	坏	口径器高底径	137 37 86	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、弁折状の全面手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	小砂利を含む。裏地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 50
5	土師器	甕	口径器高底径	— <161 64	外周は胴部から底部にかけヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整不明。	赤色粒と白色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 31
6	土師器	甕	口径器高底径	— <33 (74)	外周は胴部から底部にかけヘラケズリ。胴部内面は縦位ナデ。	小砂利を多く含む。褐色。焼成は良好で硬質。	No. 53
7	土師器	甕	口径器高底径	— <66 (92)	外周は不定方向のヘラケズリ。内面は縦位ヘラナデ。	赤色粒子、小砂利を含む。濃茶褐色。焼成は良好。	No. 18
8	土師器	用	口径器高底径	(112) <49	口縁部ナデ後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、赤色粒を僅かに含む。裏地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 41 古墳時代前期
9	土師器	甕	口径器高底径	— <20 66	胴部外面はハケ調整。胴部内面はヘラナデ。底部周縁は凸状になる。底部に木腐蝕。	白色粒子を多く含む。内面は濃褐色。外面は淡褐色。焼成は良好。	No. 39 古墳時代前期
10	土師器	甕	口径器高底径	186 <78	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	小砂利を含む。暗褐色。一部黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 19, 29, 30
11	土師器	甕	口径器高底径	194 <84	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は突起状につまみ出される。	小砂利、赤色粒を含む。濃褐色。焼成は良好。	No. 3, 8, 12, 16, 22-24 27, 28, 38
12	土師器	甕	口径器高底径	— <56 (108)	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	小砂利、赤色粒を多く含む。内面は濃褐色。外面は淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 49
13	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	162 165 (87) 170	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ナデ後ミガキ。胴部内面はナデ。口縁部は直線的に外反し、口縁端部は短くつまみ出される。	赤色粒、石英を含む。淡褐色。胴部外面は一部黒色。	No. 2, 9, 10, 11, 14, 17, 18, 20, 2 1, 25
14	石器	石皿	長さ38mm, 幅25mm, 厚さ20mm, 重さ10.1g.				No. 1

S I - 4 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(125) 42 74	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 5, 79, 80 体部内外面に 墨書「田」
2	土師器	坏	口径器高底径	— <14 84	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 64 - 一括
3	土師器	坏	口径器高底径	(118) 38 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン炭着による黒色処理。	白色粒を含む。外面は淡褐色内面は黒色。焼成は良好。	No. 76
4	土師器	坏	口径器高底径	(159) 36 56	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン炭着による黒色処理。	赤色粒を含む。外面は赤褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 70
5	土師器	坏	口径器高底径	— <19 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン炭着による黒色処理。	白色粒を含む。外面は赤褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 72
6	土師器	坏	口径器高底径	— <8 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン炭着による黒色処理。	細かな砂と白色粒を含む。内外面とも黒色。焼成は良好。	No. 77
7	土師器	坏	口径器高底径	— <12 69	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン炭着による黒色処理。	白色粒を含む。外面は暗褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 63
8	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	(134) <88 144	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 97
9	土師器	甕	口径器高底径	(190) <62	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は赤褐色。焼成は良好。	No. 81
10	土師器	甕	口径器高底径	(190) <63	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	赤色粒、白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	3+7 No. 103
11	土師器	甕	口径器高底径	(180) <75	外面は口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	白色粒を含む。外面は茶褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	3+7 No. 108

12	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) (88) —	外面は口縁部横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は鋭く長くつまみ出される。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	377' No. 104
13	土師器	甕	口径 器高 底径	(219) (64) —	外面は口縁部横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	赤色粒。白色粒を含む。褐色。焼成は良好。	377' No. 105
14	土師器	甕	口径 器高 底径	213 (89) —	外面は口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	赤色粒。白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 109, 110
15	土師器	甕	口径 器高 底径	— (99) 84	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は割離が著しく調整不明。	赤色粒。白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 106, 111
16	土師器	甕	口径 器高 底径	— (48) 70	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は指によるナデ。	白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 96
17	石器	砥石	長さ	57mm, 幅31mm, 厚さ19mm, 重さ47.3g。			No. 92

S I - 4 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法	量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 丸底 底径	130 32	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナゲ後ミガキ。薄手で軽い。	白色粒。赤色粒。黒色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 9
2	土師器	坏	口径 器高 底径	146 39 60	体部から底部はヘラケズリ後、ナゲ風ミガキ。内面は市広のナゲ後ミガキ。底部は削り出される。	白色粒。赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12
3	土師器	坏	口径 器高 底径	152 36 91	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面が割離している。	黒色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 10
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	139 32	体部から底部はヘラケズリ後ナゲ風ミガキ。内面はミガキ。内外面とも割離が著しい。	白色粒。黒色粒。赤色粒を含む。外面は褐色。内面は暗褐色。焼成は不良。	No. 2
5	土師器	坏	口径 器高 丸底	(154) 37	体部から底部は市広のヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも割離が著しい。	砂を多く含む。外面は褐色。内面は灰沢褐色。焼成は良好。	No. 13
6	土師器	坏	口径 器高 底径	154 35 —	体部から底部は市広のヘラケズリ後ミガキ。内面はナゲ後ミガキ。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 11
7	土師器	坏	口径 器高 丸底	— (20)	体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ。内面は赤彩される。	白色粒。黒色粒を含む。内面は赤褐色。外面は褐色。焼成は良好。	No. 18
8	土師器	甕	口径 器高 底径	93 45 65	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナゲ後ミガキ。口縁部はつまみ出され内湾する。	白色粒。赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 8
9	土師器	甕	口径 器高 胴部径	200 (105) (242)	口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面は割離が著しく調整不明。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	白色粒を含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 6, 7, 377'
10	土師器	甕	口径 器高 胴部径	(179) (108) (280)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 5, 6
11	石器	砥石	長さ	110mm, 幅91mm, 厚さ23mm, 重さ178.7g。			No. 17
12	石器	砥石	長さ	66mm, 幅50mm, 厚さ23mm, 重さ91.4g。			No. 14
13	石器	砥石	長さ	69mm, 幅41mm, 厚さ19mm, 重さ66.9g。			No. 15
14	青銅製品	帯金具?	長さ	24mm, 幅6mm, 厚さ5mm, 重さ6.18g。			No. 16

S I - 4 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法	量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 底径	130 38 83	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底部内面は単一方向のミガキ。	黒色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12, 17
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	136 34	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも割離する。	白色粒子。赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 16, 18
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	133 36	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は粗く雑なミガキ。	黒色粒。赤色粒。白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	坏	口径 器高 底径	133 38 73	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。割離が著しい。内面はナデ。	赤色粒子と白色粒子を含む。外面は乳褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 19
5	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(140) 35	体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面の身広み部分はループ状。口縁部は斜位のミガキ。	砂を多量に含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 24
6	土師器	坏	口径 器高 底径	138 41 80	ロコロ型。底部は全面多方向の手持ちヘラケズリ。体部下部は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子。黒色粒子を含む。外面は暗褐色。内面は乳褐色。焼成は良好。	No. 20

7	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 40 80	口ロ口整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。質地は淡黄褐色。焼成は良好。	括4
8	土師器	甗	口径 器高 底径	(152) (58) 93	体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面ともカーボン液着による黒色処理。	縦帯で白色微粒子を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 9
9	須恵器	坏	口径 器高 底径	(130) 39 (76)	口ロ口整形。底部はヘラ切り後、全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒を含む。灰色。焼成は良好で軟質。	括1 常陸産
10	須恵器	蓋	口径 器高 底径	200 41 —	口ロ口整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁端部は短くつまみ出される。	縦帯だが白色粒を多く含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 8, 11, 15 外面に刻書「大」 箱敷産?
11	土師器	甗	口径 器高 底径	137 (83) (144)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は刺彫が著しく調整は不明。	白色粒子、赤色粒を含む。外面は黒褐色。内面は黄褐色。口縁部は黒褐色。焼成は良好。	No. 22
12	土師器	甗	口径 器高 底径	220 (55) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は刺彫が著しい。口縁部はく字状に外反する。	白色粒子、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 21, 23, 28
13	土師器	甗	口径 器高 底径	— (90) 85	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は刺彫が著しく調整は不明。	白色粒子、透明粒子を含む。外面は褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	括9
14	鉄製品	鎌	長さ	<129>mm, 幅26.5mm, 背幅2.5mm.			No. 13, 14
15	鉄製品	刀子	長さ	<79mm>, 幅8mm, 背幅6mm, 幅7mm, 背幅5mm.			No. 6

SI-50 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	122 41 62	口ロ口整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 7 体部外面に墨書「新」
2	土師器	甗	口径 器高 底径	221 (224) —	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半部を斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 4, 6, 20, 21
3	土師器	甗	口径 器高 底径	298 251 104	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半部を斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出され外反する。	砂を多く含む。白色粒が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 4, 6, 12~15, 17, 18, 24, 28, 33, 一括, 伊豆一括
4	鉄製品	鎌	長さ	<101>mm, 幅19mm, 背幅2mm, 幅14mm, 背幅2mm.			No. 5

SI-51 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	112 (33) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1

SI-52 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	150 <43> —	体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面はミガキ。	黒色粒、白色粒を含む。外面は褐色。内面は灰色。焼成は良好。	南西一括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(160) <35> —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。全体に薄手の仕上げで、内面は漆仕上げか。	白色微粒子を含む。外面は黒褐色。内面は赤褐色。焼成は良好。	括1

SI-53A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	112 38 68	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	括
2	土師器	甗	口径 器高 底径	(150) <20> —	口縁部は横ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	
3	土師器	甗	口径 器高 底径	(220) <101> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦部中心から縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、黒色粒、赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 1, 3, 4, 5
4	鉄製品	鎌	長さ	<60>mm, 厚さ4×4mm.			No. 6

SI-53B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	炭化種子		長さ	23mm, 幅20mm, 厚さ13mm, 重さ1.80g		

SI-55 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	137 35 91	口ロ口整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はミガキ。	白色粒子、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 5 底部外面に墨書

2	土師器	小型甕	口径 器高 底径	97 71 60	口縁部は横ナデ。胴部は横位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。	白色粒子を含む。外面は褐色、内面は櫻褐色。焼成は良好。	No. 6
3	土師器	甕	口径 (37) 底径	— 86	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。剥離が著しい。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	伊 ¹⁾ No. 7-1
4	土師器	甕	口径 器高 底径	— (63) 88	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。底部外面は多方向のヘラケズリで、やや突出する。	白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	伊 ¹⁾ No. 7-2
5	石製品	碧玉	彈石製、径7×6mm、長さ15mm、重さ1.09g。未製品。				

S I - 5 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— (38) 90	胴部から底部はヘラケズリされるが、ナデによって調整痕は消えている。内面は剥離が著しく調整不明。	赤色粒を含む。外面は濃茶褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 4, 5
2	磚		長さ46mm、幅50mm、厚さ22mm、重さ48.5g。				No. 14
3	石器	磁石	長さ156mm、幅90mm、厚さ51mm、重さ1193.4g。				No. 11

S I - 5 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	148 30	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキだが、剥離が著しい。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	No. 26, 28, 32
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	148 34	体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。外面はヘラミガキ。内面は丁寧なミガキ。	糠着だが赤色粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 55
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(152) (35) —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 20, 22
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) (52) —	体部外面はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面は丁寧なミガキ。	白色微粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 29, 伊 ¹⁾ 栢
5	須恵器	甕	口径 器高 底径	(158) — —	天井部は回転ヘラケズリ。口縁端部は反り気味になり、内面の返りは丸く短い。	長石、石英、燧岩等を多量に含む。焼成は良好だが軟質。	伊 ¹⁾ 栢 常陸新治産
6	土師器	甕	口径 器高 底径	— (32) 92	胴部外面から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。底部は丸みをもち突出する。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 36, 37
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(202) (56) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は胴部下方から斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。褐色。焼成は不良。	No. 46
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(210) (50) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は胴部下方から斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出され、側面が凹面状になる。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 35, 一栢
9	土師器	坏	底部片 器高 底径	— — —	非口口成形。底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	糠着で白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。灰黄褐色。焼成は良好で硬質。	栢1 底部外面に線刻
10	石器	石斧	長さ107mm、幅66mm、厚さ31mm、重さ355.4g。				No. 54
11	土製品	支脚	径53×61mm、高さ<119mm。				No. 29
12	鉄製品	鎌	長さ148mm、幅18mm、背幅3mm、幅30mm、背幅3mm。				No. 50
13	埴	埴	長さ13mm、幅11mm、重さ0.59g。				No. 8
14	炭化種子		長さ19mm、幅18mm、厚さ16mm、重さ1.52g。				No. 1
15	炭化種子		長さ22mm、幅16mm、厚さ13mm、重さ1.62g。				No. 28
16	炭化種子		長さ11mm、幅6mm、重さ0.10g。				No. 5
17	炭化種子		長さ8mm、幅7mm、厚さ6mm、重さ0.10g。				No. 6
18	炭化種子		長さ10mm、幅8mm、厚さ7mm、重さ0.11g。				No. 9

S I - 5 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	114 41 66	ロタロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 21
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(138) (39) 69	体部から底部外面はヘラケズリ後、巾が狭くまばらなミガキ。内面はナデ後ミガキ。底面と身込み部分で密になる。	白色粒、赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 51
3	土師器	坏	底部片 器高 底径	<10> (76)	ロタロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。灰褐色。焼成は良好。	栢2 底部外面に線刻「×」
4	土師器	高台付坏	底部片 器高 底径	— — —	ロタロ成形。底部は静止糸切り後、全面回転ヘラケズリ。高台は割離している。内面は二次焼成を受けか剥離している。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	栢4 底部外面に線刻「×」
5	土師器	坏	底部片 器高 底径	— — —	ロタロ成形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	赤色微粒子を僅かに含む。黒褐色。焼成は良好。	栢3 底部外面に線刻「×」

6	土師器	坏	口径器高底径	— — —	非ロクロ成形。底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。	括3 底部外面に墨書「西？」
7	須恵器	高坏	口径器高底径	160 (80)	ロクロ整形。体部下端は回転ヘラケズリ。体部は直線的に延び、口縁部は短くつまみ出される。内面に辻縁状の凹部が1条出る。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。酸化焼成。	A, B No. 6
8	土師器	甕	口径器高底径	194 (66)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は外反気味につまみ出される。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	甕	口径器高底径	(204) (84)	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。内面は指頭整形後ナデ。口縁部は僅かにつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括2, 3, 4 - 一括
10	土師器	甕	口径器高底径	(220) (72)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は僅かにつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。外面は褐色、内面は明褐色。焼成は良好。	No. 12, 24, 34
11	土師器	甕	口径器高底径	(220) (158)	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7, 13, 25, 27, 30
12	土師器	甕	口径器高底径	— (203) 110	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、一部斜位ヘラケズリ。胴部内面はナデ後、縦位のミガキ。孔部はヘラケズリ。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 46-3, 50
13	土師器	甕	口径器高底径	228 (220)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。胴部内面はナデ。口縁部は短くつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 46-2, 53 同一個体 No. 43, 46, 49
14	土師器	甕	口径器高底径	308 (192)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短いが強くつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 46-1
15	石製品	紡錘車	径46×49mm, 厚さ18mm, 重さ61.42g。側面に刻書「大」。	—	—	—	No. 48

S I - 5 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 114 40 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	細かな砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 16, 26 - 一括
2	土師器	坏	口径器高底径 (136) (37) 86	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 35
3	土師器	坏	口径器高底径 (120) (35) 66	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 7, 22
4	土師器	坏	口径器高底径 — (33) 57	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 37 底部外面に墨書「口家？」
5	土師器	坏	口径器高底径 — (12) 78	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	小砂粒を多く含む。大粒の赤色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括1 底部外面に線刻「X」
6	土師器	坏	口径器高底径 — — —	ロクロ成形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括3 底部外面に墨書
7	土師器	甕	口径器高底径 (173) (114)	口縁部横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部を斜位ヘラケズリ。内面ヘラナデ後ナデ。	砂を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 43, 44, 3, 4 No. 51, 52
8	土師器	甕	口径器高底径 (220) (64)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は長く外反してつまみ出される。	砂を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 36
9	土師器	甕	口径器高底径 (197) (74)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。頸部内面は横位ヘラケズリ。	砂を含む。褐色。焼成は良好。	No. 15, 23, 29, 3, 1, 33, 42 - 一括
10	土師器	甕	口径器高底径 (260) (170)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部斜位ヘラケズリ。口縁部は長く外反気味につまみ出される。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 28, 41, 3, 4 No. 54, 55
11	禮	—	長さ70mm, 幅60mm, 厚さ28mm, 重さ138.8g。	—	—	No. 14
12	石器	砥石	長さ51mm, 幅49mm, 厚さ27mm, 重さ95.2g。	—	—	No. 17
13	石器	砥石	長さ36mm, 幅30mm, 厚さ38mm, 重さ60.0g。	—	—	No. 17
14	石器	砥石	長さ49mm, 幅41mm, 厚さ20mm, 重さ30.6g。	—	—	No. 4
15	鉄製品	刀子	長さ<76>mm, 幅9mm, 背幅3mm, 幅11mm, 背幅4mm。	—	—	No. 45

S I - 6 0 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 142 32 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	白色粒子、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	S I - 60B
2	土師器	坏	口径器高底径 141 38 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面のミガキは雑である。	白色粒子、黒色粒を含む。外面は明褐色、内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 8, 9

3	土師器	坏	口径 器高 底径	134 36 95	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、透明粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 19, 20
4	土師器	坏	口径 器高 底径	150 33 61	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒子、赤色粒、黒色粒を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 17 底部外面に墨書「十」
5	須恵器	坏	口径 器高 底径	128 40 92	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、全面単一方向の手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色粒子を多く含む。青灰色。焼成は良好。	No. 22 新治産
6	須恵器	坏	口径 器高 底径	144 48 95	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリの2度切り。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒、雲母を含む。明灰色。焼成は良好。	No. 16, 18 底部外面に墨書「X」新治産
7	土師器	甕	口径 器高 底径	164 (76)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。	白色粒子を含む。褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 21
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(52) 97 —	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	白・黒・赤色粒子を含む。外面は橙褐色及び黒褐色。内面は褐色。	No. 4, 51-60B
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(354) (52) 97	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	白色粒子、黒色粒を含む。外面は黄褐色及び褐色。内面は褐色。	No. 14, P1, P7 ¹⁾
10	石器	砥石	長さ90mm, 幅55mm, 厚さ36mm, 重さ188.3g。				No. 7

S I - 6 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九平底	(130) (33) (77)	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は巾広のミガキ。軽い。	砂を含む。褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(148) 30 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ仕上げ。口縁部内面に枕状の凹面。	白色粒、赤色粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	51-61B括1
3	土師器	坏	口径 器高 九底	(148) 33 —	体部から底部はヘラケズリ後、上半部は巾の狭いミガキ。体部内面は全面丁寧なミガキだが、剥離が著しい。口縁部に幾分枕状の凹面。	白色粒、石英粒を含む。外面は濃茶褐色。内面は褐色。焼成は良好。	No. 5, 括
4	土師器	盤状坏	口径 器高 底径	(144) 34 102	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色粒を含む。内面は全体的にスス付着。焼成は良好。	No. 2, 括
5	須恵器	高台付坏	口径 器高 底径	(144) 44 (90)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ後、体部下端を回転ヘラケズリ。	白色粒を含む。外面は灰色。内面は灰褐色。	No. 12 常陸産か?
6	須恵器	高台付坏	口径 器高 底径	(136) 32 101	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	在地的な筋土で白色粒子を多量に含みずらつく。外面は黒色。内面は淡黄灰色。焼成は良好。	No. 4, 体部外面に朱書「十」 稲敷産
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(129) (71) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。口縁部端は鋭いがつまみ出されてはいない。	赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 14
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(310) (240) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	褐色。焼成は良好。	No. 7~10, 15, 17, 19, 括
9	鉄製品	刀子	長さ<133>mm, 刃部幅<11>mm, 背幅<2.5>mm, 柄部幅<14>mm, 厚さ<8.5>mm, 柄<6>mm, 背幅<2>mm,				No. 13

S I - 6 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土製品	支脚	径<54>×51.5mm, 高さ<79>mm,			
2	鉄製品	鏃	長さ<72>mm, 厚さ<4>×4.5mm,			

S I - 6 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土製品	支脚	幅<66>×<40>mm, 高さ<60>mm,			No. 2

S I - 6 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	盤状坏	口径 器高 九底	134 40 40	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色粒、赤色粒、灰色粒を含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 13, 14 底部外面に墨書「X」
2	土師器	盤状坏	口径 器高 底径	(140) 42 (98)	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含む。赤色粒、白色微粒子が目立つ。焼成は良好。	No. 15
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	非ロクロ整形。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒、赤色粒、透明粒を含む。明褐色。焼成は良好。	51-64c, 底部外面に墨書
4	須恵器	坏	口径 器高 底径	(134) 43 (67)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色微粒子をわずかに含みしっとりして軽い。灰色。焼成は良好。	No. 12 常陸産?

5	須恵器	高台付坏	口径 器高 底径	146 47 94	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒を多量に含み器面がざらつく。暗灰色。焼成は良好。	No. 20, 29 宮津産
6	土師器	甕	口径 器高 最大径	138 (85) 150	口縁部は横ナデ。胴部中位から胴部は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 21
7	土師器	甕	口径 器高 最大径	140 (124) 159	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 22, 26, 38
8	土師器	甕	口径 器高 最大径	136 (173) 159	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、黒色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 32, 33, 47
9	土師器	甕	口径 器高 最大径	200 (172) 201	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	白色粒、黒色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 16, 39, 44
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— (91) 110	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ミガキ。下端は横位ヘラケズリ。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 19, 23
11	鉄製品	鉄鏝	長さ	113mm, 厚さ3.5mm, 厚さ3×3.5mm,			No. 8, 10
12	鉄製品	鉤	長さ	71mm, 幅5mm, 厚さ2.5mm,			No. 3
13	鉄製品	不明	長さ	58mm, 厚さ4×5mm,			
14	鉄製品	刀子	長さ	31mm, 幅2.5mm, 背幅6mm,			No. 4
15	石器	砥石	長さ	126mm, 幅62mm, 厚さ32mm, 重さ226.1g,			No. 1

S I - 6 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	164 (107) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子、赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
2	土製品	土玉	径	22×22mm, 厚さ18mm, 重さ8.65g, 全面丁寧なミガキ。			

S I - 6 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	122 45 89	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周辺部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	細かな砂と小砂利を含む。外面は灰黄褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 1, 底部外面に墨書「白」

S I - 6 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 九底	122 34 34	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面はミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗黄褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	甕	口径 器高 底径	— (75) 92	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ。内面は斜位ケズリ後ミガキ、下部内面は横ケズリ。	白色微粒子、金雲母を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 2, 3
3	土製品	土玉	径	26×24mm, 厚さ10mm, 重さ10.12g, 表面は殆ど摩滅。			No. 1

S I - 7 0 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	150 36 113	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は市の狭い丁寧なミガキ。内外面とも赤影される。	粗い砂を含む。質地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 3, 括、底部外面に焼成前の刷目「一」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(160) (49) (100)	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	顔面で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 9
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(214) (35) —	口縁部は横ナデ。	砂を含む。淡赤褐色。焼成は良好。	No. 15
4	土師器	坏	底部片	—	非ロクロ整形。外面はケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密だが砂を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書「〇」
5	磚		長さ	43mm, 幅38mm, 厚さ22mm, 重さ43.3g,			括2

S I - 7 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	126 63 61	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。淡灰黄褐色。焼成は良好。	No. 2 底部外面に刷書「#」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	130 41 70	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英を含む。淡灰黄褐色。焼成は良好。	No. 3, 14 底部外面に刷書「X」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(126) (36) —	ロクロ整形。体部下端の調整は不明。	白色微粒子を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 11 体部外面に墨書「神国大」

4	土師器	壺	口径 器高 底径	138 <110> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	白色粒子、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.1
5	土師器	壺	口径 器高 底径	186 <92> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	No.16
6	土師器	壺	口径 器高 底径	(203) <67> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部はくの字状に曲折する。	砂を多くと赤色粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No.19
7	鉄製品	鍔	長さ	<95>mm,厚さ4.5×3mm.			No.12

S I - 7 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	108 42	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面ともカーボン塗布による黒色処理。	緻密で白色微粒子、透明微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No.1
2	須恵器	蓋	口径 器高 天井径	(72) (34) <62>	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。蓋としたが坏Aとしても考えられる。	白色角礫粒子を含む。灰黒色。焼成は良好。	No.9 常陸産
3	土師器	壺	口径 器高 底径	— <44> 68	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。黒褐色。焼成は不良。二次焼成を受け剥離が著しい。	No.3
4	土師器	壺	口径 器高 胴長大径	(160) <78> (168)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	緻密で砂を多く含む。褐色、橙褐色。焼成は良好で硬質。	No.6,7
5	土師器	壺	口径 器高 底径	(166) <74> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。	砂を多く含む。茶褐色、暗褐色。焼成は不良。二次焼成により内面は剥離。	No.11
6	土師器	壺	口径 器高 底径	(166) <56> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。	白色粒を多く含む。橙褐色、明褐色。焼成は良好で硬質。	No.8

S I - 7 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(106) <35>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好で硬質。	括2
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	(144) <45>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも剥離が著しい。	緻密で白色粒子を微量含む。内外面とも淡黄褐色。焼成は良好。	No.11
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	(144) 37	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底部はケズリ方向を変え、底面を作り出す。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No.17
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(148) 39 96	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は弧状の丁寧なミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No.6 底部内面に線刻「X」
5	土師器	高坏	口径 器高 底径	(136) <32>	口縁部は横ナデ。体部外面は剥離が著しく調整不明。内面は黒色処理。	砂を多く含む。外面は橙褐色、一部黒色。内面は黒色。焼成は良好。	5F65-13括5
6	土師器	坏	底部片	—	ロクロ整形。底部は静止手切りか。周縁部を手押しヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括11 底部外面に線書「□片枚」
7	土師器	壺	口径 器高 底径	(144) <68> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナゲ風ミガキ。内面は斜横位ヘラナゲ後ナデ。	小砂利を含む。暗褐色。焼成は良好。	括8
8	土師器	壺	口径 器高 胴長大径	(164) <80> (170)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ。内面は斜位ヘラケズリ。口縁部は強くつまみだされ、先端部が細くなる。	小砂利を含む。外面は淡褐色。内面は明褐色。焼成は良好。	No.1
9	土師器	壺	口径 器高 底径	167 <61> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頭部から縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。	緻密だが砂を多く含む。黒褐色。焼成は良好。	No.8,9,10
10	土師器	瓶	口径 器高 底径	(302) <70>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ、更にミガキ。	砂を多く含む透明粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No.18,5F65-13
11	土師器	瓶	口径 器高 底径	(298) <92> —	口縁部は横ナデ。胴上部に取手痕あり。調整は剥離が著しく不明。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No.22
12	土師器	壺	口径 器高 底径	— <37> 44	胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。底部は木葉痕が残るが、ケズリ後ミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No.15
13	土師器	壺	口径 器高 底径	— <33> (80)	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は淡褐色。内面は淡黒色。焼成は良好。	括10

S I - 7 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	手裡土器	口径 (60) 器高 41 底径 47	内外面とも指頭及び指痕による成形。	白色粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 2

S I - 7 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (124) 器高 (30) 底径 —	体部から底部がケズリ後練なミガキ。内面はナデ仕上げ。	密着で白色微粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1, 括
2	土師器	坏	口径 144 器高 33 丸平底	体部から底部がケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	密着で白色微粒子を僅かに含む。茶褐色及び赤褐色。焼成は良好で硬質。	括1
3	鉄製品	鏢	長さ(24)mm, 幅24.5mm, 背幅1mm。			No. 8
4	土製品	土玉	径24×23mm, 厚さ22mm, 重さ13.72g。			No. 2

S I - 7 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 122 器高 41 底径 60	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好で軟質。二次焼成を受けて割れている。	No. 1, 8+1'
2	土師器	坏	口径 (123) 器高 36 底径 (53)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好で軟質。二次焼成を受けて割れている。	No. 8, 8+1'
3	土師器	皿	口径 (147) 器高 25 底径 70	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。口縁部は幾分内湾気味に立ち上がる。	砂を多く含む小砂利が目立つ。暗褐色及び黄褐色。焼成は良好で軟質。二次焼成を受けて割れている。	No. 3, 8+1'
4	土師器	高台付坏	口径 (33) 器高 80 底径 80	— ロクロ製。底部は回転糸切り。高台は長く幾分外反する。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 7, 8+1'
5	土師器	甕	口径 172 器高 (77) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はナデ。口縁部はほぼ水平に屈曲し、口縁部は垂直に長くつまみ出される。	砂を多く含む。明褐色。焼成は不良。二次焼成を受けて割れている。	No. 4, 8+1'

S I - 7 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (116) 器高 36 底径 70	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	密着で細かな砂を含む。黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 25, 51-79B 括
2	土師器	坏	口径 (122) 器高 35 底径 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	密着で細かな砂を含む。褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 11, 8+1' 括
3	土師器	坏	口径 (116) 器高 36 底径 60	ロクロ製形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。黄褐色。焼成は不良で割れている。	No. 9, 5F85-7
4	土師器	坏	口径 (120) 器高 40 底径 65	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	密着で細かな砂を含む。灰褐色及び褐色。焼成は良好で硬質。	No. 35
5	土師器	坏	口径 (122) 器高 37 底径 62	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	密着で細かな砂を含む。灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 54, 5F85-7
6	土師器	坏	口径 (118) 器高 38 底径 61	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	金雲母、大粒の赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1
7	土師器	坏	口径 118 器高 36 底径 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、白色粒子を含む。灰褐色。焼成は不良。	No. 32, 8+1' 括
8	土師器	坏	口径 (120) 器高 44 底径 63	ロクロ製形。内面は平滑。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	密着で細かな砂を含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 14
9	土師器	坏	口径 — 器高 (14) 底径 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	密着で細かな砂を含む。白色針状物を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 97 底部外面に線刻「×」
10	土師器	坏	口径 — 器高 (21) 底径 (74)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面はカーボン吸着による黒色処理。	金雲母を含む。外面は明褐色。内面は黒色。焼成は良好で硬質。	No. 98 体部外面に墨書
11	土師器	坏	口径 (142) 器高 48 底径 69	ロクロ製形。底部回転糸切り後周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面カーボン吸着による黒色処理。	密着で小砂利を含む。淡褐色。内面は黒色。焼成は良好で硬質。	No. 50, 55 体部外面に墨書「秀」
12	土師器	坏	口径 123 器高 44 底径 60	非ロクロ製形。口縁部は横ナデ。体部は斜位ヘラケズリ。底部は単一方向のヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色、赤褐色。焼成は不良。	No. 12, 13, 8+1' 括

13	須恵師	坏	口径器高底径	— (30) 65	ロク口壺形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	緻密だが大粒の白色薄粒を含む。増灰色。焼成は良好で硬質。	No. 28, 44 SF85-7 東海産?
14	土師師	甕	口径器高底径	(120) <(41)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 67
15	土師師	甕	口径器高底径	125 (50) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。赤褐色。茶褐色。焼成は良好。	No. 27, 34, 76, 床上げ
16	土師師	甕	口径器高底径	(134) <(68)	口縁部は横ナデ。胴部外面は連続する縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	砂を多く含む白色粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 62, 83, 86
17	土師師	甕	口径器高底径	166 <(62)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナゲ風ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部はつまみ出されるが丸みをもつ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。黒褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 64, 90
18	土師師	甕	口径器高底径	(188) <(61)	口縁部は横ナデ。胴部は頸部下より縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナゲ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。増灰色。焼成は良好。	伊予 器No. 1
19	土師師	甕	口径器高底径	(212) <(55)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は斜めにつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。櫻褐色。暗褐色。焼成は良好。	No. 5
20	土師師	甕	口径器高底径	(220) <(81)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 22, 70, 89, 9 1, 92
21	土師師	甕	口径器高 胴最大径	(222) <(112) 236	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ。下位横位ヘラケズリ。胴部内面は木口状工具によりヘラナゲか。	砂を多く含む。赤色粒子と白色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 4, 11, 21, 66 SF85-7
22	土師師	甕	口径器高底径	(208) <(65)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部つまみ出されないが靱い。	砂を多く含む。赤褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 10, 20, 48
23	土師師	甕	口径器高底径	(208) <(100)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は剥離が著しく不明。口縁端部つまみ出される。	砂を多く含む。茶褐色及び黒褐色。	No. 23, 88, 94
24	須恵師	甕	口径器高 胴最大径	<(180) (270)	胴部外面は縦位のタタキ壺形。下平は斜位ヘラケズリ。胴部内面の当具痕は横ナゲにより消されている。器面特徴的な小さなひび割れ。	緻密で白色微粒子を微量と小砂利を含む。白灰色。焼成は良好。在地産か。	No. 6, 15, 17, 26 6, 825, 981, SF8 5-7, S1-95柄
25	鉄製品	鎌	長さ	85mm	鎌身 幅14.5mm, 厚さ2.5mm, 頸部 幅4mm, 厚さ3.5mm,	No. 53	
26	鉄製品	刀子	長さ	81mm	刃部 幅10mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅6.5mm, 背幅2.5mm,	No. 8	
27	鉄製品	穂巻具	長さ	81mm	幅17mm, 厚さ7mm,	No. 24	
28	土製品	支脚	径	123×115mm	高さ202mm,	伊予 No. 19	

S I - 7 9 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師師	坏	口径器高底径	(118) 38 (66)	ロク口壺形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子を含む。外面は黒褐色。内面は櫻褐色。焼成は良好。	No. 10, 括
2	土師師	坏	口径器高底径	(122) 37 (61)	ロク口壺形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
3	石器	磨石	長さ	93mm	幅97mm, 厚さ46mm, 重さ560.0g,	No. 1-2	
4	石器	砥石	長さ	114mm	幅50mm, 厚さ42mm, 重さ357.3g,	No. 6	
5	石器	砥石	長さ	83mm	幅51mm, 厚さ26mm, 重さ260.0g,	No. 4	
6	土製品	土玉	径	24×24mm	厚さ23mm, 重さ12.12g,	No. 7	
7	土製品	土玉	径	27×27mm	厚さ23mm, 重さ14.86g,	No. 13	
8	鉄製品	鎌	長さ	407mm	厚さ2×2mm,	No. 9	

S I - 7 9 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師師	坏	口径器高底径	(112) 36 70	ロク口壺形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 25, 括
2	土師師	坏	口径器高底径	(126) 35 62	ロク口壺形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面は平滑。	貫母。白色微粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7
3	土師師	坏	口径器高底径	(22) 66 —	ロク口壺形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括2 体部外面に墨書逆位「大」
4	土師師	坏	口径器高底径	(32) 64 —	ロク口壺形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1-2
5	土師師	坏	口径器高底径	(24) (77)	ロク口壺形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	SI-79A-8括2 底部外面に刻書「+」
6	土師師	甕	口径器高底径	194 (72)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は当具痕をナゲにより消す。	砂を多く含む。櫻褐色。焼成は良好。	No. 1-1

7	土師器	鉢	口径 器高 底径	(198) (85) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁頂部は角楕状になる。	黒帯を含む。灰褐色。焼成は不良。	No. 2-2
8	土師器	甌	口径 器高 底径	(264) (65) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 3
9	土師器	甕	口径 器高 底径	— (99) —	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色微粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 2-1, 3 B, A-1 栴, B-栴
10	石製品	砂押車	径	38×23mm, 厚さ11mm, 重さ23.61g。	側面は丁寧な研磨。		No. 4

S I - 8 0 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	96 67 34	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆による黒色処理。底部は削り出しにより平底を作る。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	栴6
2	土師器	坏	口径 器高 底径	121 (34) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆による黒色処理。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	栴7
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) (30) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。割傷が著しい。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	赤色粒、石英粒子を含む。暗黄褐色。焼成は良好。	栴8
4	土師器	手捏土師	口径 器高 底径	59 58 28	粘土塊をそのまゝ作り出す。器面の調整はケズリと指頭による作りナデ。	白色粒子を含む。灰黄褐色。焼成は良好。	栴10
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(141) (84) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。外面は淡黄褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	栴4
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(140) (63) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂粒を含む。外面は暗黄褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	栴3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(146) (93) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒を含む。外面は淡褐色。内面は暗黄褐色。	栴1
8	土師器	甌	口径 器高 底径	(281) (177) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位では斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	栴5
9	土師器	甌	口径 器高 底径	(299) (67) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	栴2
10	磚			長さ115mm, 幅74mm, 厚さ74mm, 重さ805.49g。			栴12
11	土製品	支脚		高さ<59>mm。			栴13
12	土製品	支脚		高さ<37>mm。			栴14
13	鉄製品	刀子		長さ<112>mm, 刃部 幅9mm, 背幅4mm, 柄部 幅7mm, 背幅3mm。			栴11
14	石製品	勾玉		長さ27mm, 幅15mm, 厚さ7mm, 重さ4.62g。			栴15

S I - 8 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) (35) —	口縁部横ナデ後、体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも黒色処理。全体に薄手で丁寧な仕上げ。	縦帯で僅かに斜状物を含む。内外面とも黒色。焼成は良好。	栴7
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) (40) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面も丁寧なミガキ。漆仕上げと考えられるが、漆は消えている。	縦帯で僅かに斜状物を含む。内外面とも黒色。焼成は良好。	栴9
3	須恵器	甕	口径 器高 底径	(53) (35) —	ロク口筒形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は幾分内湾する。	縦帯で白色微粒子を僅かに含む。濃灰色。焼成は良好で硬質。	栴4, 5, 6, 23 須西産
4	土師器	高坏	口径 器高 底径	(88) — —	胴部外面は縦位ケズリ後ミガキ。胴部内面下端は指で巻き込み指ナデ。坏部内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子・透明微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	栴1
5	土師器	高坏	口径 器高 底径	(100) (31) —	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜位ヘラケズリ。外面は赤彩される。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	栴6
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(154) (113) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後下位の横ナデ。	金雲母を含む。赤褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 1, 3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(192) (79) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	栴2
8	土師器	甕	口径 器高 底径	— (123) 78	胴部外面は斜位ヘラケズリ。中位を横位ヘラケズリ。ヘラケズリ後はミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2
9	石製品	勾玉		長さ<19>mm, 幅14mm, 厚さ7mm。			栴12
10	炭化種子	稗		長さ23mm, 幅17mm, 厚さ14mm, 重さ1.45g。			栴10
11	炭化種子	稗		長さ17mm, 幅15mm, 厚さ1.13g。			栴11

S I - 8 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 110 器高 35 底径 54	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	砂粒を多量に含む。暗褐色。焼成は良好。	No.5
2	土師器	坏	口径 (114) 器高 38 底径 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	緻密で金雲母、白色針状物、赤色粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	No.9
3	土師器	坏	口径 (124) 器高 43 底径 74	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラズリ。体部下端は手持ちヘラズリ。	小砂利を含む。茶褐色。焼成は良好。	No.2
4	土師器	高台付坏	口径 (118) 器高 58 底径 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り。内面はミガキ。内面はカーボン炭着による黒色処理。	赤色粒を含む。外面は黒褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No.3
5	土師器	甕	口径 140 器高 (127) 胴最大径 172	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラズリ。胴部内面ヘラナデ後ナデ。ロクロ整形のように仕上げられている。	砂を多量に含む。外面は黒褐色、内面は橙褐色。焼成は良好。	No.8, 10, 11
6	土師器	甕	口径 (93) 器高 (150)	胴部外面は縦位ヘラズリ。胴部内面はヘラナデ後、下位は横位ヘラズリ。	白色微粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No.7
7	土製品	支脚	厚さ91×69mm、高さ136mm。			No.4
8	甕		長さ90mm、幅31mm、厚さ29mm、重さ99.3g。			No.1

S I - 8 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	口径 <184 <58 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が自立つ。灰褐色。焼成は良好。	一括

S I - 8 4 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	高台付坏	口径 — 器高 — 底径 —	底部は回転糸切り。高台は長くほぼ垂直に貼り付けられている。内面はミガキ。黒色処理される。	緻密母、長石を含む。外面は灰褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No.24
2	土師器	甕	口径 (140) 器高 (57) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラズリ。胴部内面はヘラズリ。	金雲母、長石、針状物を含む緻密である。明褐色。焼成は良好。	上層
3	土師器	甕	口径 (142) 器高 (54) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	長石、石英、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.22, 一括
4	土師器	甕	口径 — 器高 (51) 底径 76	内外面ともヘラズリ後ミガキ。割離が著しく、調整方向は不明。	緻密母、針状物を含む。明褐色。焼成は良好。	No.30
5	土師器	甕	口径 — 器高 (20) 底径 (58)	胴部外面は斜位ヘラズリ後ミガキ。内面はヘラズリ後ミガキ。	緻密で白色針状物を多くと金雲母を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	括4
6	土師器	甕	口径 (197) 器高 (82) 底径 (82)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出され外反する。	金雲母、長石、石英を含む。灰褐色。焼成は良好。	No.25
7	土師器	甕	口径 (196) 器高 (51) 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部は丸くおさまる。	石英、長石を含む。明褐色。焼成は良好。	No.1, 10
8	土師器	甕	口径 (184) 器高 (43) 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部はつまみ出され、外に開く。	長石、石英、金雲母を含む。明褐色。焼成は良好。	括3
9	土師器	甕	口径 (216) 器高 (54) 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部は丸くおさまる。	石英、長石、金雲母を微量含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No.6, 7, 13, 24
10	土師器	甕	口径 (317) 器高 (69) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面はケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。更にミガキか?	石英、長石、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.2, 8
11	土師器	甕	口径 (30) 器高 (196) 底径 —	胴部外面は斜横位ヘラズリ。内面はナデ。	長石、石英、半透明粒、赤色粒を含む。外面は暗褐色、内面は淡明褐色。焼成は良好。	No.20
12	土師器	甕	口径 — 器高 (32) 底径 (126)	胴部外面は斜横位ヘラズリ。胴部内面はナデ。	長石、石英、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No.16
13	須恵器	甕	口径 (144) 器高 <119 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ型形成。下位は一部刷毛ナデ。胴部内面の当て具痕跡はナデにより消されている。	白色角礫を多量に含む。濃灰褐色。焼成は良好。	括1 在地産
14	須恵器	甕	口径 (146) 器高 <131 胴口径 (297)	胴部はナデ。胴部外面はタタキ。内面はケズリに近いヘラナデ。	白色微粒子を多く含む。針状物を含まない。暗灰色、茶灰色。焼成は良好。	上層、SF64-10 No.10 稲敷産

15	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	非ロクロ製形。底部片。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。	括弧 体部外面に墨書
16	土製品	支脚	底径(64)×63mm, 高さ(82.5)mm,				No. 32
17	土器	罐	長さ66mm, 幅39mm, 厚さ16mm, 重さ57.7g.				No. 4
18	鉄製品	刀子	長さ<90>mm, 刃部 幅0mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅0mm, 背幅3mm,				No. 15
19	鉄製品	門金具	長さ<110>mm, 幅7mm, 厚さ5mm, 幅7mm, 厚さ4mm,				No. 14
20	鉄製品	鏝	長さ<55>mm, 厚さ5×5mm,				No. 34

SI-84B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (116) 器高 36 底径 62	体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。器面は割離が著しい。底部は削り出されて丸みをもつ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡黒褐色。焼成は良好。	No. 12
2	土師器	坏	口径 器高 (34) 底径 64	体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	長石、石英を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 20
3	土師器	甕	口径 器高 (60) 底径 (84)	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ。	長石を含む。明淡褐色。焼成は良好。	No. 11
4	土師器	甕	口径 (226) 器高 (74) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出されるが粗い。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡増褐色。焼成は良好で軟質。	No. 21
5	土師器	甕	口径 (184) 器高 (126) 胴量径 173	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多くと少量鉛、赤色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 13
6	須恵器	長頸壺	口径 器高 (<157> 胴部径 174	ロクロ製形。胴部外面は回転ヘラケズリ。底部内面と外面の肩部周りに自然釉が見られる。	緻密で白色微粒子を多くと黒色微粒子を含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 7~9, 12 湖西産
7	土器	罐	長さ77mm, 幅58mm, 厚さ61mm, 重さ320.7g.			No. 10

SI-84C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	口径 (183) 器高 271 底径 (102) 胴部径 (212)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒、赤色粒(2mm)が目立つ。外面は明褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	No. 4
2	土師器	甕	口径 (190) 器高 (<189> 胴部径 (<194>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	長石、赤色粒、半透明粒を含む。淡増褐色。焼成は良好。	No. 8
3	土師器	甕	口径 (208) 器高 (<103> 胴部径 (216)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は僅かにつまみ出される。	砂を多くと小砂利、白色微粒子、鉛量母を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 6
4	土師器	甕	口径 (210) 器高 (164) 胴部径 (194)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長く外反する。	砂を多く含む。白色粒、赤色粒(2mm)が目立つ。外面は明褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	No. 3, 5
5	土師器	甕	口径 (316) 器高 (<158> 胴部径 (275)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 2

SI-84D 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 138 器高 39 底径 40	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。割離と磨減が著しい。	緻密で少量鉛、赤色粒、砂を含む。淡増褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	高台付坏	口径 器高 底径 87	ロクロ製形。底部は静止系切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下面は不明。	砂を多く含む白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 8
3	土師器	坏	口径 器高 (<27> 底径 77	ロクロ製形。底部は静止系切り後、全面手持ちヘラケズリだが、未切り底が残る。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む白色微粒子、赤色粒が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 9
4	土師器	甕	口径 (155) 器高 (<66> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む白色微粒子赤色微粒子が目立つ。外面は淡黄褐色。内面は濃黄褐色。焼成は良好。	No. 3
5	石器	砥石	長さ150mm, 幅91mm, 厚さ47mm, 重さ839.1g.			No. 1

SI-85A・C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 130 器高 34 丸底	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面ともカーボン灰着による黒色処理。	白色微粒子を含む。外面は増褐色、内面は黒色。焼成は良好で硬質。	A 種? No. 1
2	土師器	坏	口径 (155) 器高 33 底径 63	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底部はケズリ出される。	緻密で細かい砂を含む。赤褐色及び明褐色。焼成は良好。	A No. 3, 11

3	土師器	坏	口径 器高 底径	— (13) 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は未調整。	赤色粒、白色粒を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	A No. 1 底部外面に墨書「急」
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(190) (64) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。外面は増沢褐色。内面は増沢褐色。焼成は良好。	B No. 5
5	土師器	手捏土師	口径 器高 丸底	41 36 —	指頭により成形。ナデ仕上げ。	白色微粒子を多く含む。黒褐色。焼成は良好。	B No. 4
6	土製品	土玉	径	27×27mm	厚さ28mm、重さ17.53g。		No. 9
7	土製品	勾玉	長さ	32mm、幅17mm、厚さ9mm、重さ5.00g。			一括

S I - 8 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(112) 38 —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。焼成は良好。	括3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(114) (33) —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は暗褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(114) (35) —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	括5
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(170) 30 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1
5	土師器	甕?	口径 器高 底径	(31) (66) —	体部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。坏型と同じミガキ技法。	白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 7
6	土師器	鉢	口径 器高 底径	(294) (57) —	口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。淡橙黄褐色。焼成は良好。	括2
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(141) (39) —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	括7
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(190) (62) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。外面は褐色。内面は橙黄褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) (70) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 6
10	土師器	甕	口径 器高 底径	(196) (119) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
11	土師器	甕	口径 器高 底径	(54) (109) —	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ。底部はミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 8
12	軽石		長さ	72mm、幅43mm、厚さ33mm、重さ19.09g。			

S I - 8 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(130) (57) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は刺離が著しく不明。	緻密で砂を多く含む。白色針状物を含む。橙褐色。焼成は不良。	一括
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(162) (29) —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	一括

S I - 8 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— (55) 106	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。外面は淡褐色。内面は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1

S I - 9 0 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	須恵器	坏	口径 器高 底径	128 81 35	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、手持ちヘラケズリ。底部下端は未調整。	砂、白色粒を含む。灰オリーブ色。焼成は不良。	S1-90B 1st) No.1常磐産

S I - 9 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	121 39 61	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキだが、刺離が著しく不明瞭。	砂を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 7

2	土師器	坏	口径器高底径	(136) (28)	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	砂を含み、小砂利が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	図2
3	土師器	坏	口径器高底径	(120) 40 83	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	金雲母を多く、針状物を僅かに含む。5mm程度の赤色粒が混じる。焼成は良好。	No.2 底部外面に線刻「X」(焼成前)
4	土師器	坏	底部片口径器高底径	—	ロクロ成形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。形態は盤状坏。	白色粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	図3 底部外面に線刻「X」
5	土師器	甕	口径器高底径	(140) (37)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。淡茶褐色。焼成はやや不良。	図1
6	土師器	蓋	口径器高底径	180 34 —	ロクロ整形。天井部は3段の回転ヘラケズリ。口縁端部は長くつまみ出される。つまみは欠落。	砂を多く含むがザラつく。明褐色。焼成は良好。在地産の酸化塩焼成の須恵器とも考えられる。	No.8, 9, 11, 12
7	土師器	高坏	口径器高底径	— (30) (110)	ロクロ成形。頸端部は長くつまみ出される。	砂を多く含むが粒子は緻密。明褐色。焼成は良好。在地産の酸化塩焼成の須恵器とも考えられる。	図4
8	石器	砥石	長さ37mm, 幅30mm, 厚さ24mm, 重さ52.3g。				図5
9	漆		長さ48mm, 幅31mm, 厚さ7mm, 重さ16.7g。				図6
10	鉄製品	鏃	長さ42mm, 厚さ4×3mm。				No.4

S1-92A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(100) 31	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。口縁部外面と内面は漆による黒色処理。	緻密な粘土で砂の微粒子を含む。褐色。焼成は良好。	図2
2	土師器	坏	口径器高底径	(113) (33)	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面はミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	針状物を含む。灰褐色、黄褐色。焼成は良好。	図5F65-3, 図4
3	土師器	坏	口径器高底径	(104) (35)	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	緻密で金雲母を含む。茶褐色。焼成は良好。	No.6
4	土師器	坏	口径器高底径	(110) (39)	口縁部は体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は巾の狭いミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色。内面は黒色。焼成は良好。	図3
5	土師器	坏	口径器高底径	(110) (40)	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は巾広の雑なミガキ。	緻密で白色微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	図1
6	土師器	甕	口径器高底径	(180) (63)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後、雑なミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No.3
7	土師器	甕	口径器高底径	(142) (100) (137)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後、雑なミガキ。下半部は斜位ケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。淡赤褐色、褐色。焼成はやや不良。	図5
8	土製品	支脚	底径78.5×66mm, 高さ100mm。				
9	土師器	手捏土器	口径器高底径	(48) (36) (40)	外面は指頭による整形後ナデ。底部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	図6
10	土師器	手捏土器	口径器高底径	(60) 42 80	外面はヘラケズリによる調整。内面は指ナデ。底部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No.4
11	土師器	手捏土器	口径器高底径	(70) 40 60	外面はヘラケズリ後ナデ。内面は指ナデ。底部はヘラケズリ。	砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No.5
12	土製品	土玉	径22×22mm, 厚さ19mm, 重さ8.63g。				図8

S1-94A・B・C 覆土遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(114) (36)	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒を含み、ザラつく。淡褐色。焼成は不良。	5F64-10 No.49
2	土師器	坏	口径器高底径	120 35	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	赤色粒を含む。外面は淡赤褐色。内面は淡黄褐色。焼成はやや不良。	5F64-10 No.8, 288
3	土師器	盤	口径器高底径	146 (22)	口唇部から底部までヘラケズリ後ミガキ。内面はループ状のミガキ。	赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	5F64-10 図1
4	土師器	坏	口径器高底径	(118) 43 71	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F64-10 No.56
5	土師器	坏	口径器高底径	(114) 43 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色微粒子、赤褐色微粒子を含む。褐色。焼成は良好。	5F64-10 No.57 底部外面に墨書「日」

6	土師器	坏	口径器高底径	(125) 36 (38) 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 52, 括
7	土師器	坏	口径器高底径	(128) 39 (38) 71	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。薄手である。	赤色粒を含みザラつく。淡褐色。焼成は良好。	SP64-10 括2
8	土師器	坏	口径器高底径	(135) 39 (38) 75	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリされるが輪で周回しない。	白色粒を含む。外面は淡黒褐色、内面は淡茶褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 62
9	土師器	高台付柄	口径器高底径	— (37) 73	ロクロ整形。底部は回転糸切り。内面はミガキ。カーボン炭着による黒色処理。高台は細く外に開く。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。褐色及び黒褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 9
10	土師器	高台付柄	口径器高底径	— (23) 67	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。内面はミガキ。カーボン炭着による黒色処理。外面に墨付着。高台は短く外に開く。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。淡褐色及び黒褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 84
11	土師器	高台付柄	口径器高底径	— (24) 70	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面はミガキ。カーボン炭着による黒色処理。やや厚手で外面に墨が付着している。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 5
12	土師器	高台付柄	口径器高底径	— (17) 70	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面はミガキ。カーボン炭着による黒色処理。薄手の作り。外面に墨付着。高台は細く延びる。	砂を多く含む。赤色微粒子が目立つ。外面は褐色。内面は淡褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 14
13	土師器	坏	口径部片器高底径	— (27) —	ロクロ整形。口縁部は横分反気味。	砂を多く含む。赤色微粒子が目立つ。明茶褐色。焼成は良好。	SP64-10。 体部外面に墨書「内」
14	土師器	坏	口径部片器高底径	— (32) —	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後ミガキ風ナデか。内面はナデ仕上げ。。	砂を多く含む白色微粒子、赤色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	SP64-10。 体部外面に墨書「白」
15	土師器	坏	口径部片器高底径	— (19) —	ロクロ成形。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	SP64-10。 体部外面に墨書「子部」
16	土師器	坏	口径器高丸平底	— (20) —	非ロクロ成形。体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ風ナデか。内面はナデ仕上げ。	砂と小砂利を多く含む。茶褐色及び赤褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 4。 体部外面に墨書「白」
17	土師器	甕	口径器高底径	(126) 44 (44) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。幾分反する。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。黒褐色。茶褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 38
18	土師器	甕	口径器高底径	128 49 49 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	赤色粒子、白色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 22
19	土師器	甕	口径器高底径	(148) 43 (43) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は細く垂直につまみ出される。	緻密だが白色微粒子、小砂利を多く含む。淡茶褐色。焼成は良好。	SP64-10 一括
20	土師器	甕	口径器高底径	(188) 50 (50) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出され細くなる。	白色粒を多く含む。褐色及び褐色。焼成はやや不貞。	SP64-10 No. 4, 345
21	土師器	甕	口径器高底径	216 103 (103) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	SP64-10 No. 8
22	須恵器	長頸甕	口径器高底径	— (124) —	ロクロ整形。口縁部は意図的に割られた状況。発泡した淡黄緑色の釉が全体に付着。	緻密で白色粒、小砂利を僅かに含む。白灰色。焼成は良好で硬質。	SP64-10 No. 13 P9 瀬西産
23	土製品	羽口	長さ	122mm	径66mm		SP64-10 No. 44

S I - 9 4 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (114) 39 (72) —	ロクロ整形。底部は単一方向の全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を含む。暗褐色。焼成は良好。	括2
2	土師器	坏	口径器高底径 (11) 72	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	小砂利と砂を多く含む。大粒の赤色粒子、白色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	括2 底部外面に墨書「七」
3	土師器	高台付皿	口径器高底径 (17) 70	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面は単一方向の丁寧なミガキ。黒色処理。高台の端部はつまみ出される。	砂粒、白色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	括4
4	土師器	坏	口径器高底径 (81) —	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括1 底部外面に墨書
5	土師器	坏	口径部片器高底径	ロクロ整形。	砂を多く含む。赤色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括1 体部外面に墨書
6	土師器	坏	口径部片器高底径	ロクロ整形。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	括3 体部外面に墨書
7	土師器	甕	口径器高底径 (160) 147 胴最大径(160)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を含む。外面は黒褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	括1 No. 4

8	土師器	甕	口径器高底径	(184) (10)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	小砂利と砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 1-2	
9	土師器	甕	口径器高胴最大径	(218) (115) (215)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 1-1	
10	土師器	甕	口径器高底径	(83)	胴部外面は縦位ケズリ。胴部内面はヘラナデ(ナズリ)後ナデ。	砂を含む。明褐色。焼成は良好。	伊1 No. 1	
11	土師器	甕	口径器高底径	(83)	口径器高底径	口径器高底径	口径器高底径	口径器高底径

S I - 9 4 B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	120 41 67	ロクロ製形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子。赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 4 底部外面に墨書「七」
2	土師器	坏	口径器高底径	(120) 38 (70)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子。赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 7 底部外面に墨書「七」
3	土師器	坏	口径器高底径	(120) 38 (76)	ロクロ製形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	赤色微粒子。白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	甕	口径器高底径	(208) (71)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。	赤色粒。白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 5
5	土師器	甕	口径器高底径	(113)	頸部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はナデ後更に斜めのナデ。薄手である。	赤色粒。砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 3

S I - 9 4 C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	高台付坏	口径器高台部径	— (27) 75	ロクロ製形。底部は回転ヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整は不明。	砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	甕	口径器高底径	(180) (55)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂粒。赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	伊1

S I - 9 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	124 47 60	非ロクロ成形。口縁部は横ナデ。胴部外面は蓮葉状のヘラケズリ後ナデ。底部は手持ちヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 2, 括
2	土師器	坏	口径器高底径	134 43 72	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	赤色粒。白色粒。透明粒を含む。外面は黒色。褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	坏	口径器高底径	(17) 68	非ロクロ成形。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ後ミガキ。	砂を多く含む。白色粒子と小砂利が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	伊10 底部外面に墨書「田」
4	土師器	坏	口径器高底径	(124) 37 68	ロクロ製形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子。赤色微粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	伊7
5	土師器	坏	口径器高底径	(120) 36	ロクロ製形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。焼成は良好。	伊9
6	土師器	坏	口径器高底径	(120) 38 68	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	伊6
7	土師器	坏	口径器高底径	(34) (78)	ロクロ製形。底部全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	砂粒を含む。外面は黄褐色。内面は黒色。焼成は良好。	伊3
8	土師器	坏	口径器高底径	122 42 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色粒。白色粒が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 9 底部外面に墨書「竹？」
9	土師器	坏	口径器高底径	(157) (37)	ロクロ製形。口縁部は輪分反する。内面はミガキ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子。赤色微粒子が目立つ。黄褐色。焼成は良好。	伊6 底部外面に墨書「作口」
10	土師器	坏	口径器高底径	120 37 60	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 8, 括
11	土師器	坏	口径器高底径	(120) 35 62	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	緻密で僅かに白色針状物。金雲母を含む。橙褐色。焼成は良好。	伊8

12	土師器	高台付坏	口径器高底径	— (26) 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。内面剥離が著しい。高台は長く伸び、端部は丸みをもつ。	密着で白色微粒子、赤色微粒子を含む。外面は褐色、内面は黒色。焼成は良好。	括2
13	土師器	高台付坏	口径器高底径	— (21) 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。高台の端部は角高台になる。	砂粒を含みザラつく。褐色。焼成は良好。	括4
14	土師器	坏	底部片器高底径	— —	非ロクロ成形。底部外面はヘラケズリ。内面の調整は不明。	砂を多く含む白色微粒子が目立つ。大粒の赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括7 底部外面に墨書「田」
15	土師器	坏	底部片器高底径	— —	ロクロ成形。調整は不明。	密着で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡灰褐色。焼成は良好。	括8 底部外面に墨書「木」
16	土師器	甕	口径器高底径	210 (97) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	イ1' No. 1, 2
17	土師器	甕	口径器高底径	(226) (78) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤茶褐色。焼成は良好。	括1
18	土師器	甕	口径器高底径	(224) (56) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 5
19	土師器	甕	口径器高底径	— (47) 90	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面は指ナ仕上げ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤茶褐色。焼成はやや不良。	No. 11
20	土師器	甕	口径器高底径	— (22) 82	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ。底部内面は指ナゲつけ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。外面は褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No. 13
21	鉄製品	鎌	長さ	(128)mm	鎌身 幅9mm, 厚さ3mm, 頸部 幅7mm, 厚さ5mm, 基部 幅4mm, 厚さ3mm。		No. 6
22	鉄製品	刀子	長さ	(31)mm	幅8mm, 背幅3mm。		
23	鉄製品	鎌	長さ	(78)mm	鎌身 幅15mm, 厚さ6mm, 頸部 幅9mm, 厚さ4.5mm, 基部 幅5mm, 厚さ4mm。		No. 7
24	鉄製品	鎌	長さ	(60)mm	幅33mm, 背幅4mm。		
25	土製品	支脚	高さ	(190)mm	厚さ139×110mm。		イ1' No. 13
26	土製品	丸玉	径	9mm	重さ0.53g。穿孔部上部に粘土層。外面はミガキで焼成は良好。淡褐色。		一括

S I - 9 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	116 37 64	ロクロ整形。底部は二方向からの全面手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、白色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1, 2
2	土師器	坏	口径器高底径	122 39 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 10
3	土師器	坏	口径器高底径	(119) 39 66	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。底部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
4	土師器	高台付陶	口径器高底径	(105) (37) —	非ロクロ成形。口縁部は横ナデ。底部外面は口唇部から縦位ヘラケズリ。底部内面はナゲ仕上げ。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	括7
5	須恵器	坏	口径器高底径	— (25) 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。底部下端は未調整。	針状物、白色粒子、白色角礫を多く含む。灰オリーブ色。焼成は良好。	No. 9 北武蔵崎山窯カ
6	土師器	甕	口径器高底径	(156) (66) —	非ロクロ成形。底部外面は斜横位ヘラケズリ後、本来はミガキ調整だが剥離が著しく消えている。内面は巾巾の丁寧なミガキ。	密着で赤色粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	括6
7	土師器	甕	口径器高底径	(173) (58) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は鋭く短く、垂直につまみ出される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	No. 7, 8
8	土師器	甕	口径器高底径	(214) (83) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は粘土粒を張り付けられたように丸みをもつ。	白色粒子を多く含む。褐色。焼成は良好。	括11
9	土師器	甕	口径器高底径	(232) (63) —	口縁部は横ナデ。外面頸部から胴部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面頸部はヘラケズリ後ミガキ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括2, 6F14-25
10	土師器	甕	口径器高底径	(336) (29) —	口縁部は横ナデ。頸部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は蓋受けのように折り曲げられる。	白色粒子を含む。外面は褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	括4, P3
11	土師器	甕	口径器高底径	(334) (120) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後、斜横位ヘラナゲ後ナデ。	白色粒、赤色粒を含む。褐色、淡黄褐色。焼成は良好。	No. 5
12	土師器	甕	口径器高底径	— (40) 98	内外面とも剥離が著しく、調整不明。底部は突出している。	砂を多く含む。暗褐色。焼成は不良。	括1
13	須恵器	甕	口径器高底径	— (55) (140)	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は胴部、底部ともナゲ。	白色粒子を多く含む。外面は褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 3

14	鉄製品	鏝	長さ<86>mm,幅20mm,背幅2mm,	No.2
15	鉄製品	鏝柄具	長さ<21>mm,幅21mm,厚さ2mm,	No.3

SK-2 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法 量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備 考
1	土師器	坏	口径器高丸底 (146<32>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No.49
2	土師器	坏	口径器高丸平底 (142<31>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	柄3
3	土師器	坏	口径器高丸平底 (147<35>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面は巾の狭い丁寧なミガキ。割離が著しい。	赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No.50
4	土師器	坏	口径器高底径 (150<31>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。身込み部分に巾広のループ状ミガキ。	細かな砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No.45
5	土師器	坏	口径器高丸平底 (142<32>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。口唇部の割離が著しい。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No.46
6	土師器	坏	口径器高底径 (150<34>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面は削り方向の変換により、蓋部を作り出す。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	5F65-21 No.21
7	土師器	坏	口径器高丸平底 (150<37>)	体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は巾の広いミガキ。底面は放射状のミガキ。内外面とも黒色処理。	赤色粒を含む。黒地は淡黄褐色。焼成は良好。	No.48
8	土師器	坏	口径器高丸平底 (142<35>)	体部から底部はヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F65-21 No.29
9	土師器	坏	口径器高底径 (156<33>)	体部から底部は巾広のヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面は連強状ミガキ。	赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好で硬質。	5F65-21 No.26
10	土師器	坏	口径器高底径 (168<33>)	体部から底部はヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面は連強状ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含む。橙褐色。一部黒色。焼成は良好。	5F65-21 No.25
11	土師器	碗	口径器高底径 (180<54>)	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	柄2
12	土師器	坏	底器高底径	ロクロ成形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗淡褐色。焼成は良好。	5F65-16 底部外面に墨書「白」
13	土師器	高台付坏	口径器高底径 (112<48>)	ロクロ製形。底部の切り離しは不明。内面は丁寧なミガキ。黒色処理される。	砂を多く含む白色粒子赤色粒子が目立つ。内面は黒色。外面は橙褐色。焼成は良好。	5F65-16柄6
14	須恵器	坏	口径器高底径 (150<46>)	ロクロ製形。底部はヘラ切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色大粒、石英、雲母を含む。灰色。焼成は良好。	5F65-21 No.23, 新倉産
15	須恵器	高台付坏	口径器高底径 (148<44>)	ロクロ製形。底部は回転ヘラケズリ。口縁部はつまみ出され反りする。	白色微粒子を含み緻密。灰色。焼成は良好で硬質。	5F65-21 No.19 SI-57No.16 東海産?
16	須恵器	高台付坏	口径器高底径 (186<36>)	ロクロ製形。底部は回転ヘラケズリ。内面は硬に転用され墨が付着し、平滑になっている。口縁部は磨られ体部が凹字状になっている。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	5F65-21 No.12 SI-91 湖西産
17	土師器	甕	口径器高底径 (140<52>)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	5F65-21 No.1
18	土師器	甕	口径器高底径 (147<53>)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。褐色。焼成は良好。	5F65-16 No.3
19	土師器	甕	口径器高底径 (160<40>)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はナデ。	砂を多く含む。黒褐色。焼成は良好。	5F65-21 No.11
20	土師器	甕	口径器高底径 (160<58>)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。褐色。焼成はやや不良。	5F65-16 No.5
21	土師器	甕	口径器高底径 (161<58>)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。赤褐色。焼成は良好。	No.35
22	土師器	甕	口径器高底径 (190<63>)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、横位ヘラケズリ。内面は横位ケズリ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No.43
23	土師器	甕	口径器高底径 (240)	口縁部は横ナデ。胴部外面は割離が著しい。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は外反気味につまみ出される。	長石、雲母、石英を含む。茶褐色及び黄褐色。焼成は不良。	No.47, 5F65-21 No.2, 3, 18, 括弧型製葉

24	土師器	壺	口径器高底径 — (125) 116	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。底部はケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。淡褐色。焼成はやや不良。	5F65-21 No. 15 ~17
25	土師器	瓶	口径器高底径 — (220) (72)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。	砂を含む。褐色。焼成は良好。	No. 52
26	土師器	瓶	口径器高底径 — (260) (50)	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。頸部内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。	砂を含む。茶褐色。焼成はやや不良。	No. 42
27	土師器	瓶	口径器高底径 — (252) (62)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はナデ後、粗いミガキ。	白色粒子、赤色粒塵粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 34 5F65-21
28	土師器	瓶	口径器高底径 — (241) (48)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F65-16
29	土師器	瓶	口径器高底径 — (55) (130)	胴部外面は縦位ヘラケズリ。下端は斜位ヘラケズリ後ミガキ。孔部はヘラケズリ。	砂を多く含む赤色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 18
30	土師器	瓶	口径器高底径 — (50) (120)	胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ、さらに縦位ミガキ。	砂を多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 40 5F65-16 No. 18
31	土師器	瓶	口径器高底径 — (140) 100	胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ、さらに縦位ミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 14, 17
32	鉄製品	鏝?	長さ36mm, 幅6.5mm, 厚さ5mm×3mm, 4mm×2.5mm。			5F65-21 No. 28

SX-90 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (116) 34	口縁部は内外面とも横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。黒色。焼成は不良。	No. 464
2	土師器	坏	口径器高底径 (160) (33)	口唇部から底部はヘラケズリ後、全面市広の丁寧なミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。外面は淡黒褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 175, 276
3	土師器	坏	口径器高底径 154 33	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面の下半は巾の狭い丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	赤色粒、白色粒を含む。暗褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 134, 301, X-4
4	土師器	坏	口径器高底径 150 36	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	砂を多く含む。赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1105, 括7c
5	土師器	坏	口径器高底径 (154) 44	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。底面は削り方向を変え底部を作り出す。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 1108 底部外面に刻書「X」
6	土師器	坏	口径器高底径 154 42	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は遠弧状の丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	緻密で白色微粒子を含む。濃褐色及び暗褐色。焼成は良好。	4 瓶 5 員中, ㊦ AS3 層
7	土師器	坏	口径器高底径 (162) 36 82	口唇部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。口縁部は幾分反する。	砂を多く含む。外面は明褐色。内面は茶褐色。焼成は良好。	括7c
8	土師器	坏	口径器高底径 146 40	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内面は漆仕上げによる黒色処理か。	砂と小砂利を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 405
9	土師器	坏	口径器高底径 157 41	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキでカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は淡褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No. 957
10	土師器	坏	口径器高底径 164 38	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面上半部は遠弧状のミガキ。下半部は横ミガキでカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は淡褐色。内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 1104
11	土師器	坏	口径器高底径 (136) 44 66	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ仕上げで、カーボン吸着による黒色処理。	赤色粒を多く含む。外面は明褐色。内面は黒色。焼成は不良。	No. 1033
12	土師器	坏	口径器高底径 144 36	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。底面は削り方向を変え底部を作り出す。内面はミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。外面は褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 272, 676, 677
13	土師器	坏	口径器高底径 (156) —	口唇部から底部は遠弧状に近いヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。外面は淡褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 456
14	土師器	坏	口径器高底径 133 33	口唇部から底部はヘラケズリ後雑なミガキ。内面はミガキ。	大粒の白色粒子と赤色粒子を含む。外面は赤褐色。内面は淡褐色。一部黒色化。焼成は不良。	No. 581
15	土師器	坏	口径器高底径 (150) 42	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は刺刺が著しく調整不明。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 61

16	土師器	坏	口径器高底径 —	(148) (34)	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒と白色粒子を含む。外面は淡褐色及び灰褐色。内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 336, 343
17	土師器	坏	口径器高丸底 34	(156) 34	口唇部から底部はヘラケズリ後ヘラミガキ。内面は丁寧なミガキで、底面は単一方向のミガキ。非常に薄手の作り。	白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 316
18	土師器	坏	口径器高底径 —	(138) —	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面はミガキ。内外面とも剥離が著しい。口縁部は幾分内湾する。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括1
19	土師器	坏	口径器高丸底 34	(142) 34	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキされるが、内外面とも剥離が著しく調整不明。	赤色粒を多く含む。淡茶褐色。焼成はやや不良。	No. 522, 括
20	土師器	坏	口径器高底径 —	(152) —	口唇部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は丁寧なミガキ。口縁部は幾分内湾する。	砂を多く含む。赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2
21	土師器	坏	口径器高底径 140 39	140 39	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキだが剥離が著しい。内面はミガキ。	緻密で赤色粒子、白色粒子を含む。	No. 8, 898, 923, 括
22	土師器	坏	口径器高底径 —	(150) (34)	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 893, 896
23	土師器	坏	口径器高丸底 148 36	148 36	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、巾の狭い丁寧なミガキ。内面はミガキ。底面は正方斜のミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色。内面は淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 958
24	土師器	坏	口径器高丸底 147 37	147 37	口唇部から底部は巾の狭いヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 268, 269, 69 2, 745
25	土師器	坏	口径器高丸底 140	(140) 35	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。底面では削り方向が変わっている。内面はミガキ。	赤色粒子、白色粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	括7
26	土師器	坏	口径器高丸底 148 40	148 40	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。剥離が著しい。内面は丁寧なミガキ。	白色粒、赤色微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 7, 955-2
27	土師器	坏	口径器高丸底 158 35	158 35	口唇部から底部は巾広のヘラケズリ後ミガキ。内面は巾広の丁寧なミガキ。	砂を多く含む。外面は明褐色。内面は褐色。焼成は良好。	No. 962, 括
28	土師器	坏	口径器高丸底 (158) 39	(158) 39	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は巾広の丁寧なミガキ。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 580, 904
29	土師器	坏	口径器高丸底 154 40	154 40	口唇部から底部は巾広のヘラケズリ後、丁寧で密なミガキ。内面は巾の狭いミガキ。口縁部は僅かに外反する。	緻密で砂と赤色粒を多く含む。褐色、暗褐色。焼成は良好。	No. 658, 956, 96 3
30	土師器	坏	口径器高丸底 164 41	164 41	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面を削り方向を変え作り出す。	細かな砂を多く含む。淡褐色及び橙褐色。焼成は良好。	No. 147, 639, 92 1, 922, 1067
31	土師器	坏	口径器高丸平底 (176) 35	(176) 35	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。	緻密な細い胎土。白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 68, 括
32	土師器	坏(盤)	口径器高底径 (166) 126	(166) 126	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキで身込み部分は鋭利なミガキ。底面は平底気味となるが突出している。	細かな砂を含む。外面は褐色。内面は淡黒褐色。焼成は良好。	No. 171, 243, 25 2
33	土師器	坏	口径器高底径 162 37	162 37	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。剥離が著しい。内面はミガキ。底面は平底気味となるが突出している。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 不明, 括 体部外面に剥 離剤
34	土師器	坏	口径器高丸底 (146) 34	(146) 34	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は斜位ミガキ後、底面単一方向ミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。	緻密な細かい胎土。白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 419
35	土師器	坏	口径器高丸底 150 37	150 37	口唇部から底部はヘラケズリ後、雑なミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。口縁部は幾分内湾する。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 901
36	土師器	坏	口径器高底径 (150) (37)	(150) (37)	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。	白色粒を含む。褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 201
37	土師器	坏	口径器高底径 141 38 56	141 38 56	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色。内面は淡褐色。焼成はやや不良。	No. 977, 一括
38	土師器	坏	口径器高底径 168 40 65	168 40 65	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は二段のミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	砂を多く含む。外面は黄褐色及び橙褐色。内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 247, 253
39	土師器	坏	口径器高底径 (150) 36 70	(150) 36 70	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	緻密で細かい胎土。白色粒子、赤色粒子を含む。明茶褐色。焼成は良好。	No. 455, 1023, 1 028
40	土師器	坏	口径器高底径 (150) 37 56	(150) 37 56	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1107
41	土師器	坏	口径器高底径 (148) (34)	(148) (34)	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しいので調整不明。内面は赤影される。底面は平底気味となる。	白色粒子を多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 23, 139

42	土師器	盤状杯	口径器高底径	(130) 31 96	口コロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 254, 括 No. 404, 807
43	土師器	盤	口径器高底径	180 30 166	非口コロ成形。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも赤彩される。	緻密で赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 299, 297, 253, 728, 978 括, SF74-20
44	土師器	蓋	口径器高底径	(114) 35 ー	天井部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキだが割離が著しい。つまみ頂部は平らになる。口縁端つまみ出され返りはない。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 116
45	土師器	碗	口径器高底径	(154) 51 83	口唇部から底部はヘラケズリ後、ヘラナグミミガキ。内面はミガキ。底面の周縁部は再調整される。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は淡褐色。内面は橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 804
46	土師器	碗	口径器高底径	(172) (57) ー	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出すが、平底にはなっていない。	白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 388, 392
47	土師器	鉢	口径器高底径	159 67 67	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナグミミガキ。内面はナデ仕上げ。カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。外面は明褐色。内面は黒色。明茶褐色。	No. 52, 1056
48	土師器	小形蓋	口径器高底径	94 83 70	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナグ後、口縁部と下半部が細い丁寧なミガキ。	粗い白色微粒子、赤色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 348 複数産か
49	須恵器	杯	口径器高底径	— (111) (92)	口コロ整形。底部の切り廻しと調整は割離が著しく不明視。体部下端は未調整。	緻密で小砂利を僅かに含む。白色微粒子はほとんど含まない。淡灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 111, 1074 新治産
50	須恵器	杯	口径器高底径	— (113) (96)	口コロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英、金雲母を多量と赤色微粒子を含む。淡灰褐色。焼成はあく軟質。	No. 1055 新治産
51	須恵器	杯	口径器高底径	129 40 60	口コロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	長石、石英、金雲母を多量に含む。灰黄褐色で黄色味が強い。焼成は良好。	No. 1102, 括 新治産
52	須恵器	杯	口径器高底径	149 38 90	口コロ整形。底部はヘラ切り後、手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英、雲母を多量に含む。灰色及び灰褐色。焼成は良好。	No. 955 新治産
53	須恵器	杯	口径器高底径	146 43 (80)	口コロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英、絹雲母を多量含む。灰色及び濃灰色。焼成は良好。	No. 379 複数産か
54	須恵器	高台付杯	口径器高台部径	(140) 124	口コロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は幾分丸みをもつ角高台。	白色微粒子を多量と赤色微粒子を少量含む。外面は淡褐色。内面は淡茶褐色。焼成はあまりない。	No. 314 複数産
55	須恵器	高台付杯	口径器高台部径	— (112)	口コロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は削り出し。形態は外開きの角高台。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 195, 200, 203 瀬西産
56	須恵器	高台付杯	口径器高台部径	147 40 102	口コロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は角高台が貼り付け。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 1103, 1106, 底部外面に刻書「一」瀬西産
57	須恵器	高台付杯	口径器高台部径	(147) 39 105	口コロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は角高台。	緻密で僅かに白色微粒子を含む。淡灰色。焼成は良好で硬質。	No. 428 複数産
58	須恵器	蓋	口径器高底径	147 26 ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは弱く丸みをもつ。	緻密で白色微粒子と小砂利を僅かに含む。黄灰白色。焼成は良好。	No. 291, 688, 694, 730, 732括 新治産
59	須恵器	蓋	口径器高底径	153 27 ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細いひも状になっている。	長石、石英、雲母を含む。淡灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 1085 新治産
60	須恵器	蓋	口径器高底径	160 (22) ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは丸みをもつ。	長石、石英、雲母を含む。淡灰色。焼成は良好。	No. 703 新治産
61	須恵器	蓋	口径器高底径	(154) 25 ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細く粗い紐状である。つまみは頂部が平らで端部は鋭い。	長石、石英、雲母を含む。灰黄褐色。焼成は良好で軟質。	No. 197, 207, 208 複数産
62	須恵器	蓋	口径器高底径	155 29 ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細い紐状になっている。	緻密で砂を多く、白色微粒子と小砂利を含む。淡灰色。焼成は良好。	No. 133, 652, 653 複数産
63	須恵器	蓋	口径器高底径	160 36 ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細い紐状になっている。	長石、石英、雲母を含む。外面は黄褐色。内面は茶黄褐色。焼成はあく軟質。	No. 104, 151, 括, SF75-15 新治産
64	須恵器	蓋	口径器高底径	160 27 ー	口コロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは丸みをもつ。	長石、石英、雲母を多量に含む。淡灰褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 15, 17, 519 常盤型産
65	土師器	雙	口径器高脚高底径	(242) (286) (282)	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ調整後ナグミ。肩部より縦方向のミガキ。胴部外面はヘラケズリ後ナグミ。口縁部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む。赤色粒が目立つ。淡褐色。一部黒色。焼成は良好。	No. 6
66	土師器	雙	口径器高底径	(197) (85) ー	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナグ。	砂を多く含む。赤色粒が目立つ。淡褐色。一部黒色。焼成は良好。	No. 6

67	土師器	甕	口径 器高 底径	— (89) 108	胴部外面はヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラクスリ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。外面は暗赤褐色。内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 13, 18, 19
68	土師器	甕	口径 器高 底径	200 (153) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 20, 89, 1054, 1072, 栞
69	土師器	甕	口径 器高 底径	— (45) 125	胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。底部は突出する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 27, 256, 258, 259, 261, 673
70	土師器	甕	口径 器高 底径	208 (120) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部側面は面取り状になる。	砂を多く含む。赤褐色。一部黒色。焼成は良好。	No. 35, 505, 517
71	土師器	甕	口径 器高 底径	(201) (86) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤茶褐色。焼成は不良。	No. 43
72	土師器	甕	口径 器高 底径	(176) (63) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。赤褐色及び茶褐色。焼成は良好でやや軟質。	No. 53, 570
73	土師器	甕	口径 器高 底径	190 (156) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は二方向からの斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は側面が凹面状になる。	白色粒を含む。褐色及び黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 54, 100, 105, 553, 574-15
74	土師器	甕	口径 器高 底径	(170) (55) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後ミガキ。内面は距離が著しく調整不明。口縁部は素練で大きく外反する。	白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 78, 74
75	土師器	甕	口径 器高 底径	170 183 86	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後。下半部横位ヘラクスリ。内面は巾広のヘラナデ後ナデ。口縁部は素練で大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を多く含む粗い。茶褐色。下部黒褐色。焼成は良好。	No. 81
76	土師器	甕	口径 器高 底径	(264) (71) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ミガキ。口縁部は大きく外反する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 91
77	土師器	甕	口径 器高 底径	(226) (53) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ。内面はヘラクスリ後ナデ。	白色微粒子を多く含む。暗茶褐色。焼成は良好。	No. 95
78	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	258 442 (116) 386	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。胴部内面はへら調整後ナデ。口縁端部は短く垂直につまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。内面淡褐色。外面赤褐色。焼成は良好。	No. 114, 116, 122, 130, 136, 141, 144, 150, 165, 184, 214, 572, 577, 578, 641, 648, 649, 651, 917, 918, 925, 945, 1059, 1060
79	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(246) (236) 245	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ整形後ナデ。胴部内面は縦方向のミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	長石、石英、雲母を少量含む。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 129, 172, 47, 476, 555, 559, 599 常輪型甕
80	土師器	甕	口径 器高 底径	206 (132) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラクスリ後ミガキ。内面は頸部下からヘラクスリ後ナデ。口縁部は素練で大きく外反する。	白色粒を含む。暗褐色。一部黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 145, 562, 59, 8, 921
81	土師器	甕	口径 器高 底径	(200) (80) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は二方向からの斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラクスリ後ナデ。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 124~126
82	土師器	甕	口径 器高 底径	160 (57) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラクスリ後ナデ。	細かな砂と赤色粒を含む。赤茶褐色。焼成は良好。	No. 146, 632
83	土師器	甕	口径 器高 底径	(210) (59) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後、ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出され、側面に凹面が作られる。	白色粒を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 153, 155
84	土師器	甕	口径 器高 底径	223 (62) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素練で大きく外反する。	白色粒子を含む。赤茶褐色。焼成は良好。	No. 156
85	土師器	甕	口径 器高 底径	150 (147) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ。胴部内面は上位横位ヘラクスリ後ナデ。下位は斜位ヘラクスリ。口縁部は素練で大きく外反する。	暗褐色。茶褐色。黒色。焼成は良好。	No. 158, 597, 940
86	土師器	甕	口径 器高 底径	(174) (63) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラクスリ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	白色粒、黒色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 160, 584
87	土師器	甕	口径 器高 底径	(224) (34) —	口縁部は横ナデ。口縁端部は内側に折るようにつまみ出される。	白色粒を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 179, 590, 942
88	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	228 (215) 292	口縁部横ナデ。胴部外面はタタキ整形後ナデ。胴部中位から縦方向のミガキ。内面はヘラクスリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	長石、石英、雲母を多く含む。黄褐色及び外面一部淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 186, 357, 359, 360, 629, 636, 646, 699, 常輪型甕
89	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) (79) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 187, 218, 219

90	土師器	甕	口径器高底径	(207) (56)	口縁部は横ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	赤色粒、白色粒を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 188, 231, 233, 237, SP74-15 栴
91	土師器	甕	口径器高底径	184 (81)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は上方に鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 215, 623, 959, 606
92	土師器	甕	口径器高底径	(194) (60)	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は下方に凸部がみられる。	白色・茶色・灰色粒を含みやや粗い。茶褐色。焼成は良好。	No. 224, 235, 240, 241, 245
93	土師器	甕	口径器高底径	(210) (59)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキか、内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は短く外側につまみ出される。	砂と白色粒子、赤色粒子を多く含む。外面赤褐色、内面暗褐色。焼成は良好。	No. 276, SP74-20
94	土師器	甕	口径器高底径	(200) (75)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。割離が著しい。口縁部は大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 282
95	土師器	甕	口径器高底径	(216) (46)	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。口縁部は大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 304, 451
96	土師器	甕	口径器高底径	(180) (57)	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が目立つ。暗茶褐色。焼成は良好。	No. 324
97	土師器	甕	口径器高底径	(220) (72)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は外側に強くつまみ出される。	継ぎで白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 327, 329
98	土師器	甕	口径器高底径	(166) (52)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	白色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 364
99	土師器	甕	口径器高底径	(150) (47)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	白色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 370, 387
100	土師器	甕	口径器高底径	(160) (65)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ(ナデ)後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が目立つ。外面暗褐色、内面黒褐色。焼成は良好。	No. 383, 384, 794
101	土師器	甕	口径器高底径	156 (74)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	砂を多く含む。外面茶褐色、内面暗褐色。焼成は良好で軽量。	No. 399, 1052, 5F74-15
102	土師器	甕	口径器高底径	207 (40)	口縁部横ナデ。口縁端部は両端がつまみ出され、外面は面取状になる。	白色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No. 398, 400
103	土師器	甕	口径器高底径	(180) (88)	口縁部横ナデ。頸部に輪状痕。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 403, 406
104	土師器	甕	口径器高底径	(164) (54)	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒を含む。暗褐色。焼成はやや不良。	No. 421, 1010
105	土師器	甕	口径器高底径	(200) (47)	口縁部は横ナデ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 433
106	土師器	甕	口径器高底径	160 (50)	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は玉縁状につまみ出される。	継ぎだが砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 440, 518
107	土師器	甕	口径器高底径	(156) (51)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。黒赤褐色及び黒褐色。焼成はやや不良。	No. 445, 853, 栴
108	土師器	甕	器高底径 胴最大径	<127 71 180	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はナデ上げ。	白色粒を含む。褐色、茶褐色。焼成はやや不良。	No. 449, 450, 867, 1048, 1049
109	土師器	甕	口径器高底径	(168) (70)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。内面は頸部から横位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は両端が弱くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。褐色、茶褐色。焼成は良好。	No. 452, SP74-15
110	土師器	甕	口径器高底径	122 (120)	口縁部横ナデ。頸部は斜位ヘラケズリ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半横位ヘラケズリ。内面は斜位ヘラケズリ後、下半は横位ヘラケズリ。	白色粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 473, 478
111	土師器	甕	口径器高底径	(177) (71)	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ。内面はナデ。	白色粒子を多く含む。外面赤褐色、内面淡赤褐色。焼成は良好。	No. 480
112	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	184 (131) 218	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後雑なミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は垂直に鋭くつまみ出される。	継ぎで白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 482
113	土師器	甕	口径器高底径	(170) (65)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は頸部から横位ケズリ後ナデ。口縁部側面に凹凸部がみられる。	砂を多量に含む。褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 520

114	土師器	甕	口径 器高 底径	(196) (80) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は両端が鋭くなる。	砂を多く含む。赤茶褐色及び淡褐色。焼成は良好。	No. 545, 548
115	土師器	甕	口径 器高 底径	(184) (89) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は二方向からの斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラナゲ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤黒褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 576, 582, 92 0, 5F74-15
116	土師器	甕	口径 器高 底径	(90) 107	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナゲ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。暗褐色及び明褐色。焼成は良好。	No. 593
117	土師器	甕	口径 器高 底径	222 (159) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。茶褐色、一部黒色。焼成は良好。	No. 594, 909, 910, 9 11, 1060, 1068, 10 70, 1073, 1078, 11 8
118	土師器	甕	口径 器高 底径	— (75) 124	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。底部は丸みをもち突出する。	白色粒子、赤色粒子を含む。外面は赤褐色、一部黒色。内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 663, 667, 66 8, 976, 978, 108 7, 117
119	土師器	甕	口径 器高 底径	(217) (55) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。口縁端部は両端が鋭くつまみ出される。	白色粒を含む。暗褐色。焼成はやや不良。	No. 608, 616
120	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(150) (119) 174	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下部は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 612, 614, 61 6, 617, 622, 969 121と同一個体
121	土師器	甕	口径 器高 底径	— (93) 94	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。底部は丸みをもち突出する。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 614, 914, 1071, 1073 120と同一個体
122	土師器	甕	口径 器高 底径	(200) (93) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で縁やかに大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 624
123	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(172) (137) 192	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ヘラナゲ風ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	白色粒子を含む。淡赤褐色。焼成は良好。	No. 625
124	土師器	甕	口径 器高 底径	161 (65) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 639, 941
125	土師器	甕	口径 器高 底径	— (56) 92	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナゲ後ナデ。底部外面は単一方向のケズリ。底部は丸みをもち突出する。	白色粒子、赤色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 650
126	土師器	甕	口径 器高 底径	(164) (79) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 744
127	土師器	甕	口径 器高 底径	170 (102) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は胴部がヘラケズリ後ナデ。胴部はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	白色粒子を含む。黒茶褐色。焼成は良好。	No. 784, 986, 5F 74-15
128	土師器	甕	口径 器高 底径	(150) (50) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で短く外反する。	白色粒を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 873, 1049
129	土師器	甕	口径 器高 底径	169 (48) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	白色粒子を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 924
130	土師器	甕	口径 器高 底径	(174) (69) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は縁やかに外反する。	白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 927
131	土師器	甕	口径 器高 底径	145 (85) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は縁やかに外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。外面明褐色。内面黒褐色及び明褐色。焼成は良好。	No. 929, 930
132	土師器	甕	口径 器高 底径	196 (113) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は縁がつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1001, 1003, 1080
133	土師器	甕	口径 器高 底径	(222) (80) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	白色粒、黒色塵粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1004
134	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	198 (215) 212	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。内面は胴部から横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に曲折する。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。内面暗褐色及び暗褐色。外面黒褐色。焼成は良好。	No. 1012, 1021, 1082, 1083, 108 4
135	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	164 (113) 211	口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下部を逆方向のヘラケズリ。更にミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。	白色粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1053
136	土師器	甕	口径 器高 底径	204 (84) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部はつまみ出され、両端が鋭くなる。	赤色粒、白色粒を含む。明茶褐色。焼成は不良。	No. 1066, 1091
137	土師器	甕	口径 器高 底径	144 (82) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で縁やかに外反する。	塵妾が砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 1069

138	土師器	甕	口径 器高 底径	— (65) 78	胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ、内面は剥離が著しい。底部は丸みをもち突出する。	白色微粒子を多く含む。外面淡褐色、内面黒褐色。焼成は良好。	No. 1077
139	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(161) (136) 174	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素線で直線的に立ち上がる。	白色粒を含む。外面黒褐色、内面暗褐色。焼成は良好。	No. 1081
140	土師器	甕	口径 器高 底径	— (152) 122	胴部外面は斜位ケズリ後ナデ(ミガキ)、内面はヘラナデ後ナデ。底部は丸みをもち突出する。	砂を多く含む。白色粒と赤色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 1091, 括
141	土師器	甕	口径 器高 底径	212 (80) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面は横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部は縦やかに外反する。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。赤褐色。一部黒色。焼成は良好で硬質。	No. 1094, 4C, 括
142	土師器	甕	口径 器高 底径	(136) (63) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素線で縦やかに外反する。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1096, 1099
143	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(164) (132) 162	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素線で縦やかに外反する。	白色微粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 1097, 1098
144	土師器	甕	口径 器高 底径	(164) (72) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は縦やかに外反する。	白色粒、石英を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	括3
145	土師器	甕	口径 器高 底径	170 (75) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は縦やかに外反し、肩部はつまみ出される。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	括4
146	土師器	甕	口径 器高 底径	178 (36) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素線で大きく縦やかに外反する。	白色微粒子を多量と赤色粒を含む。暗赤褐色。焼成は良好。	4A-5
147	土師器	甕	口径 器高 底径	208 (59) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は強く外につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括5
148	土師器	甕	口径 器高 底径	(204) (65) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部より斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素線で縦やかに外反する。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好。	5F74-15
149	土師器	甕	口径 器高 底径	— (17) 80	胴部外面は縦方向のミガキ。内面は横位ヘラナデ。底部外面に木葉痕。	長石、石英、雲母を多量に含む。外面赤褐色。内面淡黒褐色。焼成はあまい。	5B-2貝内常総型壺
150	土師器	甕	口径 器高 底径	320 (90) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。更にミガキ。内面は横位方向のミガキ後、縦位ミガキ。	白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。赤褐色。一部黒色。焼成は良好でやや硬質。	No. 94, 96
151	土師器	甕	口径 器高 底径	240 (156) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、縦方向のミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。更にミガキ。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。赤褐色。一部黒褐色。焼成は良好。	No. 128
152	土師器	甕	口径 器高 底径	(280) (52) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ、内面はナデ後、雑なミガキ。口縁部は短く両肩部はつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。黒褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 162, 163, 587
153	土師器	甕	口径 器高 底径	(300) (72) —	口縁部横ナデ。胴部外面斜位ヘラケズリ後ミガキ。口縁部の内面横方向のミガキ。胴部ヘラケズリ後ナデ、更に縦方向の雑なミガキ。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 306, 743
154	土師器	甕	口径 器高 底径	(306) (78) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部から縦方向のミガキ。口縁部は短く外反する。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 335, 981
155	土師器	甕	口径 器高 底径	340 (145) —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。更にミガキ。口縁部内面は横ミガキ。胴部内面ヘラケズリ後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。茶褐色及び黒色。焼成は良好。	No. 1020, 1050, 1051
156	土師器	甕	口径 器高 底径	(300) (65) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ後雑なミガキ。口縁部は短く外反する。	白色粒子、赤色微粒子を含む。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	括5
157	土師器	甕	口径 器高 底径	300 (100) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部が横方向のミガキ。胴部はヘラケズリ後、縦方向のミガキ。	白色微粒子、赤色粒を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	7貝, 5Y-3
158	土製品	支脚	底径92×82mm, 高さ<177>mm,				No. 158
159	土製品	支脚	径86×85mm, 高さ<145>mm,				No. 159, 328
160	土製品	支脚	厚さ75×(51)mm, 高さ<146>mm,				No. 47, 60, 160
161	土製品	丸玉	径10×9mm, 厚さ7mm, 重さ0.68g,				貝4層
162	石製品	丸玉	径9×9mm, 厚さ8mm, 重さ0.92g,				一括
163	鉄製品	刀子	長さ<99>mm, 刃部 幅7mm, 背幅4mm, 柄部 幅6mm, 背幅3mm,				No. 333
164	鉄製品	刀子	長さ<89>mm, 刃部 幅11mm, 背幅3mm, 柄部 幅7mm, 背幅3mm,				No. 711
165	鉄製品	刀子	長さ<34>mm, 幅7mm, 背幅2mm,				No. 731
166	鉄製品	鎌	長さ<153>mm, 幅13mm, 背幅2mm, 幅33mm, 背幅4mm,				No. 1005
167	鉄製品	鎌	長さ<85>mm, 幅17mm, 背幅3mm,				No. 1045

C区遺物観察表

S I - 1 0 1 遺物観察表

()は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(156) 器高<33> 丸平底	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子を含む。灰褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 4
2	土師器	坏	口径(144) 器高<33> 丸平底	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ風ナデ。	赤色粒子を含む。灰黄色。焼成は良好。	No. 13
3	土師器	坏	口径(146) 器高<37> 丸平底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 33
4	土師器	坏	口径(148) 器高<40> 丸平底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子を含む。ザラつく。灰褐色。焼成は良好。	No. 25
5	土師器	坏	口径(117) 器高<36> 底径<57>	ロクロ整形。底部は回転後未調整。体部下部は未調整。	赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1
6	須恵器	高台付坏	口径(158) 器高<36> 台部径(108)	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。高台は角高台で内傾して貼り付けられる。	胎土で白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	No. 15, 括弧内産
7	土師器	甕	口径<184> 器高<90> 底径<50>	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒子を含む。褐色。底部にスス付着。焼成はやや不良。	No. 27
8	土師器	甕	口径(226)<41> 底径—	口縁部は横ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。濃褐色。焼成は良好。	括2
9	土師器	甕	口径(208)<65> 底径—	口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は横位ヘラケズリ。胴部は斜位ヘラケズリ。	砂を含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	括1
10	土師器	甕	口径(168)<59> 底径—	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、頸部は横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	赤色粒子を含む。濃茶褐色。焼成は良好。	No. 39
11	土師器	甕	口径(136)<54> 底径—	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は縁やかに外反し、口縁端部は強くつまみ出される。	赤色粒子を含む。灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 11
12	土師器	甕	口径(162)<52> 底径—	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は横位ケズリ後ナデ。口縁部は直線的に外反する。	赤色粒子を含む。濃褐色。焼成は良好。	括3
13	須恵器	長頸甕	口径(122)<56> 底径—	ロクロ整形。口縁部は素縁で縁やかに外反する。	白色粒を含む。灰白色。焼成は良好。	No. 38
14	土師器	高坏	口径(500) 器高<101>	— 坏部外面から胴部は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は横位ヘラケズリ後ナデ。坏部はミガキ。	赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 5
15	土師器	甕	口径— 器高— 底径—	— ロクロ整形。甕か甕の口縁部片と考えられるが、事例が見あたらず。口縁端部の折り返し(巻き込み)は特徴的である。	胎土で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	括4
16	軽石		長さ89mm, 幅54mm, 厚さ53mm, 重さ30.9g.			No. 16
17	石器	碇石	長さ51mm, 幅56mm, 厚さ30mm, 重さ148.69g.			括5
18	石器	碇石	長さ48mm, 幅49mm, 厚さ23mm, 重さ52.13g.			括6
19	鏃		長さ63mm, 幅21mm, 厚さ11mm, 重さ16.14g.			No. 6
20	鏃		長さ49mm, 幅35mm, 厚さ15mm, 重さ27.51g.			括7
21	石器	碇石	長さ54mm, 幅46mm, 厚さ31mm, 重さ93.99g.			No. 10
22	土製品	支脚	高さ<60>mm, 厚さ<31>mm.			No. 18
23	土製品	土玉	径23mm, 厚さ22mm, 重さ10.00g.			括8
24	鉄製品	鏃	長さ<56>mm, 幅29mm, 厚さ2.5mm.			No. 3
25	鉄製品	刀子	長さ<79>mm, 幅6mm, 厚さ2.5mm.			No. 42
26	鉄製品	不明	長さ<35>mm, 幅11mm, 厚さ7mm.			括9
27	鉄製品	刀子	長さ<41>mm, 幅11mm, 厚さ3.5mm.			No. 14

S I - 1 0 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(142) 器高<40> 底径—	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒子、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	括3
2	土師器	甕	口径<56> 器高<76> 底径—	口縁部は横ナデ。胴部外面はミガキ。下部は斜位ケズリ。内面は斜位ケズリ。口縁部は素縁で縁やかに外反する。	白色粒子を含む。黄褐色、黒褐色、橙褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	甕	口径(150)<50> 器高<—> 底径—	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子、透明粒子、赤色粒を含む。濃褐色。焼成は良好。	括2
4	石製品	鋸型	長さ80mm, 幅15mm, 厚さ4.5mm, 重さ9.24g.			No. 2

5	鉄製品	刀子	長さ<95>mm, 刀部 幅6.5mm, 背幅2mm, 柄部 幅6mm, 背幅 3mm,	括4
6	鉄製品	刀子	長さ<81>mm, 刀部 幅11mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅3mm, 背幅2.5mm,	No. 1
7	鉄製品	鎌	長さ146mm, 幅19mm, 背幅2.5mm, 幅32mm, 背幅2.5mm,	No. 3
8	土製品	支脚	高さ<81>mm,	括5
9	土器		長さ59mm, 幅64mm, 厚さ40mm,	5F95-13 No. 1
10	土器		長さ60mm, 幅48mm, 厚さ23mm, 重さ82.0g,	括6

S I - 1 0 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土器	壺	長さ44mm, 幅21mm, 厚さ19mm, 重さ29.49g,			括1

S I - 1 0 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	石器	砥石	長さ163mm, 幅60mm, 厚さ33mm, 重さ521.88g,			No.6

S I - 1 0 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 底径 — — — (21) 61	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラクスリ。体部下端は手持ちヘラクスリ。カーボン接着による黒色処理。	砂を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 19
2	土師器	手捏土師	口径 器高 底径 — — — (33) 40	外面は指捏によりナデ仕上げ。口縁部は細くつまみ出される。	砂を含む。茶褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	坏	口径 器高 底径 — — —	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラクスリ。	繊維で白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括1, 底部外面に墨書「白」?
4	石器	砥石	長さ80mm, 幅75mm, 厚さ55mm, 重さ464.04g,			No. 1
5	石器	砥石	長さ75mm, 幅50mm, 厚さ41mm, 重さ191.84g,			No. 21
6	土製品	支脚	高さ<38>mm, 厚さ<48>mm,			No. 25
7	石器	砥石	長さ60mm, 幅47mm, 厚さ39mm, 重さ89.83g,			No. 17

S I - 1 0 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 底径 — — — (123) (36) 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	赤色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	坏	口径 器高 底径 — — — (114) 40 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	繊維で金属屑、白色針状物を含む。焼成は良好。	No. 2
3	土師器	坏	口径 器高 丸平底 — — — (140) 38	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラクスリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。焼成は良好。	No. 7
4	土師器	坏(盤)	口径 器高 丸平底 — — — (200) (33)	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラクスリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色粒子と赤色粒子が目立つ。焼成は良好。	No. 8

S I - 1 0 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 丸底 — — — (126) 31	口縁部は横ナデ後、丁寧なミガキ。体部から底部はヘラクスリミガキ。内面は丁寧なミガキ。内面は漆による黒色処理。	白色粒子。赤色粒を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 36, 171'
2	土師器	坏	口径 器高 丸底 — — — 123 46	口縁部横ナデ後、丁寧なミガキ。体部から底部はヘラクスリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆による黒色処理。	白色粒子。赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 11
3	土師器	甕	口径 器高 胴最大径 — — — (104) 112 (155)	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後ミガキ。胴部内面は横位ヘラクスリ後ミガキ。口縁部は素練で内磨する。	白色粒子。赤色粒を含む。外面は濃褐色。内面は褐色。焼成は良好。	No. 25, 26
4	土師器	鉢(碗)	口径 器高 底径 — — — (152) (110) —	口縁部は横ナデ後、雑なミガキ。体部から底部は横位ヘラクスリ後ミガキ。内面はヘラナデ後、雑なミガキ。	白色粒子。黒色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 31
5	土師器	甕	口径 器高 胴最大径 — — — 121 (57) 126	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ。口縁部内面はミガキ。胴部はヘラナデ後ナデ。口縁部は素練で直線的に開く。	白色粒子を含む。黒褐色。濃褐色。褐色。焼成は良好。	No. 5, 22, 23
6	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径 — — — (138) (132) — (150)	口縁部横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後、上半を横位ヘラクスリ。下位は斜位ヘラクスリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部斜位で外反する。口縁部は素練で大きく緩やかに外反する。	白色粒子。透明粒子。黒色粒を含む。白。褐色。焼成は良好。	No. 18
7	土師器	甕	口径 器高 底径 — — — (165) (90) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後、斜位ヘラクスリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素練で、大きく緩やかに外反する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は濃褐色。褐色。内面は明褐色。焼成は良好。	No. 28
8	土師器	甕	口径 器高 底径 — — — (172) (69) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラクスリ後、斜位ヘラクスリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素練で、大きく緩やかに外反する。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面は黒褐色。内面は明褐色。焼成は良好。	No. 2

9	土師器	甕	口径 器高 底径	— (38) (62)	胴部外面はヘラケズリ後、雑なミガキ。胴部内面はヘラナゲ後ナゲ。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 13
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— (38) 63	口縁部は横ナゲ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後、雑なミガキ。口縁部は黒線で、雑やかに反りする。	縦密だが砂を含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は不良。	No. 29
11	礎				長さ97mm, 幅63mm, 厚さ45mm, 重さ380.92g。		No. 10
12	土製品	紡錘車			径56×54mm, 高さ25mm, 重さ85.13g。		No. 34

S I - 1 1 0 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(120) (32)	外面横ナゲ後、丁寧なミガキ。底部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。底面は放射線状に近いミガキ。内外面とも漆による黒色処理。	縦密で白色微粒子を僅かに含む。濃褐色。焼成は良好。	括10
2	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	77 (32) 44	外面はヘラ調整後指ナゲ。内面は指ナゲ。口縁部は直線的で、鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。濃褐色。焼成は良好。	括4
3	土師器	高杯	口径 器高 底径	(183) (55) —	体外外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含む。赤色粒子と白色微粒子が目立つ。着地は淡黄褐色。焼成は良好。	括7
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(166) (76) —	胴部外面は口縁部から頸部にかけて縦位ヘラケズリ。胴部ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナゲ。	砂を多く含む。赤色粒子と白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括6
5	土師器	甕	口径 器高 脚最大径	(110) (188)	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜位ヘラケズリ後ナゲ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括5
6	石製品	紡錘車			径42×44mm, 厚さ8mm, 重さ21.14g。両面に線刻による文様。上面は渦巻き文、下面は直線文が施される。	括1	
7	石製品	垂物石			長さ24mm, 幅20mm, 厚さ2.5mm, 重さ1.49g。	括5	
8	礎				長さ32mm, 幅36mm, 厚さ7mm, 重さ8.28g。	括2	
9	礎				長さ38mm, 幅41mm, 厚さ13mm, 重さ17.81g。	括3	
10	礎				長さ60mm, 幅65mm, 厚さ16mm, 重さ71.92g。	外周括4	

S I - 1 1 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏(碗)	口径 器高 底径	(156) 68 44	口縁部から底部は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラ調整後ナゲ。内外面とも赤彩される。口縁部は内湾し、底部は薄手に仕上げられる。	赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。着地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 27
2	土師器	高杯	口径 器高 底径	(187) (66) —	体外外面は横位ヘラケズリ。基部は縦位ヘラケズリ後横位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ミガキ。内外面赤彩される。	赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。着地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1
3	土師器	高杯脚部	口径 器高 底径	(61) — —	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。外面は赤彩される。	赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。着地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 23
4	土師器	甕	口径 器高 底径	133 (31) —	口縁部は横ナゲ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜位ヘラケズリ後ナゲ。口縁部は短くはば重直に立ち上がる。	砂を多く含む。大粒の赤色粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(194) (88) —	口縁部は二段の斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面斜位ヘラケズリ後ナゲ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色微粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(35) 56 —	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナゲ後ナゲ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	
7	石器	砥石			長さ166mm, 幅68mm, 厚さ23mm, 重さ342.6g。	No. 12	
8	砥石				長さ110mm, 幅74mm, 厚さ56mm, 重さ99.99g。	No. 2	
9	土製品	支脚			高さ(103)mm, 径125mm。	No. 20	
10	土製品	支脚			高さ157mm, 径141×122mm。	No. 18-22	

S I - 1 1 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) (38) (68)	口ロコ型。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	縦密で白色微粒子と赤色微粒子を僅かに含む。暗褐色及び茶褐色。二次焼成を受けて濃い。	括3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 42 (66)	口ロコ型。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	縦密で白色微粒子と赤色粒子を含む。黒褐色。二次焼成を受ける。	No. 2
3	土師器	坏	口径 器高 底径	132 45 62	口ロコ型。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	縦密で白色粒、赤色粒を僅かに含む。濃褐色。焼成は良好。	No. 6
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	114 35 —	口縁部は横ナゲ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面ともカール現象による黒色処理。	縦密で白色微粒子と赤色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	括4

5	土師器	坏	口径器高底径 — — —	(128) (38) (41)	ロクロ製形。体部下端の調整は不明。体部は内筒気味に立ち上がる。	縹色で白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	No.20
6	土師器	坏	口径器高底径 — — —	(130) (41)	ロクロ製形。体部下端は手持ちヘラケズリ。口縁部は外反する。	縹色で白色微粒子、赤色粒子を含む。淡褐色。一部黒色。焼成は良好。	括5
7	土師器	坏	口径器高底径 — — —	(20) 70	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はミガキ。内外面とも黒色処理。	縹色で白色粒を僅かに含む。素地は茶褐色。焼成は良好。	No.2-2
8	土師器	坏	口径器高底径 — — —	(10) (72)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。白色粒、赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No.24 底部外面に墨書「美？」
9	土師器	坏	口径器高底径 — — —	130 43 62	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	縹色で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No.7 底部内面に刻書「×」
10	土師器	碗	口径器高底径 — — —	(32) 67	非ロクロ製形。体部から底部はヘラケズリ。内面は連弧状のミガキ。	粗い砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。外面は明褐色。内面は茶褐色。焼成は良好。	No.1, 体部外面と底部内面に墨書「中」
11	土師器	皿	口径器高底径 — — —	(138) (23)	ロクロ製形。体部下端の調整は不明。内面は丁寧なミガキ。カーボン発着による内面は黒色処理。	白色粒子を含む。外面は淡褐色。内面は黒色。焼成は良好。	括2, 体部外面に墨書「力」
12	土師器	甕	口径器高底径 — — —	— — —	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。内面はナデ。	縹色だが白色粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括1, 体部外面に墨書
13	土師器	甕	口径器高底径 — — —	209 (127) 185	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部が斜位ヘラケズリ。内面はヘラ後ナデ。口縁部は直線的に開き、口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No.13, 16, 17
14	土師器	甕	口径器高底径 — — —	(248) 242 105	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部が斜位ヘラケズリ。内面は胴部からヘラナデ後ナデ。下端は横位ヘラケズリ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子多く含む。褐色。焼成は良好。	No.8
15	鉄製品	紡錘車	径36mm, 厚さ2mm.	芯部 長さ183mm.			括6
16	鉄貨	銅銭	「福壽神寶」径23.5mm				No.9

S1-113 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	碗	口径器高底径 — — —	130 (53)	体部から底部はヘラ調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤影される。	縹色で赤色微粒子と白色粒子を僅かに含む。素地は暗褐色。焼成は良好。	No.38, 括
2	土師器	碗	口径器高底径 — — —	130 (57)	体部から底部はヘラ調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤影される。口縁部は細くつまみ出される。	縹色で白色粒子を僅かに含む。素地は茶褐色。焼成は良好。	No.34
3	土師器	碗	口径器高底径 — — —	(166) (66) 46	体部から底部はヘラ調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤影される。	縹色で白色微粒子と赤色粒子を含む。素地は暗褐色。焼成は良好。	No.42
4	土師器	埴	口径器高底径 — — —	143 61 36	口縁部から底部刷毛調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤影される。口縁部直線的に開き、口縁部細くつまみ出される。	縹色で白色微粒子、赤色粒子を含む。素地は赤褐色。焼成は良好。	No.35
5	土師器	坏	口径器高底径 — — —	(113) 66	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	縹色で細かな砂を含む。白色微粒子は僅かである。素地は淡褐色。焼成は良好。	括2 底部外面に墨書「香？」
6	土師器	鉢	口径器高底径 — — —	193 120 54	口縁部から体部は刷毛調整後ミガキ。胴部内面はヘラ調整ナデ。底部はヘラケズリ。口縁部は長く内湾する。	白色粒子を多く含む。赤褐色。二次焼成を受け一部黒色。焼成は良好。	No.39-1
7	土師器	甕	口径器高底径 — — —	(140) (130) 182	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜位ヘラケズリ後ナデ。口縁部は内筒気味に立ち上がる。	縹色で細かな砂を多く含む。白色針状物を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	No.9, 11, 13, 14, 27
8	土師器	甕	口径器高底径 — — —	168 (118) (180)	口縁部は内外面とも細い刷毛調整。胴部は刷毛調整後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。	No.37, 39, 40, 41
9	土師器	甕	口径器高底径 — — —	— (32) 74	胴部外面はヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	細かな砂と小砂利を多く含む。外面は濃褐色。内面は淡黄褐色。焼成は不良。	No.1
10	土師器	甕	口径器高底径 — — —	(156) (88)	口縁部は横位の刷毛調整。胴部から胴部は斜位の刷毛調整。内面は胴部から胴部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤色微粒子と白色粒が目立つ。褐色。焼成は良好。	No.43, 54
11	土師器	甕	口径器高底径 — — —	138 (77)	口縁部は横位の刷毛調整。胴部は縦位。胴部は斜位の刷毛調整。内面は口縁部が横位刷毛調整。胴部はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好で硬質。	No.36
12	土師器	甕	口径器高底径 — — —	(129) 252 64	胴部外面は斜位の刷毛調整。内面は刷毛調整後ナデ。底部はヘラケズリ。	粗い砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は不良。	No.39-3
13	土師器	甕	口径器高底径 — — —	(300) 320 74	胴部外面は刷毛調整後ヘラケズリ。更にミガキ。内面は斜位ヘラケズリ後、底部から掻き上げ調整後ミガキ。	粗い砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No.3, 5, 14-19, 38, 49-52

14	土師器	手裡土器	口径 器高 底径	(50) <38> 24	外面は指頭整形、内面は指ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	緻密で細かな砂を含み、白色微粒子は少ない。淡灰褐色、黒色。焼成は良好で硬質。	括3
15	土師器	手裡土器	口径 器高 底径	(59) <61> 38	外面は指頭整形、内面は指ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	白色微粒子を多くと、大粒の赤色粒を極かに含む。茶褐色、焼成は良好。	括4
16	土師器	手裡土器	口径 器高 底径	(61) <50> 38	外面は指頭整形、内面は指ナデ。口縁部はつまみ出されるが、頸部は丸くなる。	細かな砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 29
17	土師器	高坏脚部	口径 器高 底径	— <77> —	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。坏部内面と脚部内面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。素地は赤褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 47
18	土師器	高坏脚部	口径 器高 底径	— <62> —	脚部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。脚部外面は赤彩される。	緻密だが細かな砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 20
19	土師器	高坏脚部	口径 器高 底径	— <55> —	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。脚部外面は赤彩される。	緻密だが砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。二次焼成を受けて脆い。	No. 21
20	土製品	土玉		径32×33mm, 厚さ33mm, 重さ30.11g。	黒色で焼成は不良。		No. 33
21	新形石製模造品			長さ41mm, 幅25mm, 厚さ4mm, 重さ5.38g。			括9
22	石器	砥石		長さ89mm, 幅44mm, 厚さ30mm, 重さ88.66g。			括5
23	鏝			長さ26cm, 幅23cm, 厚さ16mm, 重さ17.12g。			括6
24	鏝			長さ54cm, 幅53mm, 厚さ26mm, 重さ80.72g。			括7

S I - 1 1 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <27> 56	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は暗褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 1, 2, 3
2	石器	砥石		長さ153mm, 幅58mm, 厚さ37mm, 重さ442.92g。			No. 4

S I - 1 1 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	130 138 75	非ロクロ。体部から底部はヘラケズリ後、市広のミガキ。内面はヘラ調整後雑なミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含む。黄褐色、橙褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 7 底部外面に墨書「田」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) 40 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、黒色粒を含む。明褐色、暗褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	坏	口径 器高 底径	120 36 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は巾の狭い手持ちヘラケズリ。	白色粒子、黒色粒を含む。乳褐色、外面底部付近黒褐色。焼成は良好。	括1
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(122) 39 75	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、黒色粒を含む。乳褐色。二次焼成を受けている。	No. 1
5	土師器	坏	口径 器高 底径	120 36 80	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。底部に墨痕か。	白色粒子、赤色粒を含む。黒褐色、一部暗褐色。焼成は良好。	No. 11
6	土師器	坏	口径 器高 底径	122 <40> (76)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面にスス付着。	白色粒子、赤色粒を含む。黄褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 14
7	土師器	甕	口径 器高 底径	203 122 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下部は斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。淡褐色、褐色。焼成は良好。	No. 2
8	土師器	甕	口径 器高 底径	178 <70> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は丸みをもち、つまみ出される。	白色粒子、赤色粒を含む。暗褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 3
9	土師器	甕	口径 器高 底径	222 <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 16-1
10	鏝			長さ72mm, 幅107mm, 厚さ19mm, 重さ193.89g。			No. 11
11	石鏝	砥石		長さ50cm, 幅74mm, 厚さ30mm, 重さ115.61g。			No. 10

S I - 1 1 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	盤状坏	口径 器高 底径	131 88 36	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	37) No. 1
2	土師器	甕	口径 器高 底径	— <24> 40	胴部外面はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。底部はヘラケズリ。口縁部はコの字状に外反する。	細かな砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2
3	土師器	甕	口径 器高 底径	147 <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は直立に立ち上がり、口縁端部近くで外反する。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括1

4	土師器	甕	口径 器高 底径	— (85) 88	胴部外面は多方向のヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナゲ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。大粒の赤色粒子と白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は不良で脆い。	No. 3, 4, 5, 8, 17, 括
5	鉄製品	刀子	長さ	(115)mm	万部 幅15mm、背幅3mm、柄部 幅8.5mm、背幅3mm。		No. 1

S I - 1 1 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(110) 35 61	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。明茶褐色。焼成は良好。	No. 27
2	土師器	坏	口径 器高 底径	116 41 71	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、2方向の全面手持ちヘラケズリされるが省略されている。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。淡明褐色。焼成は良好。	No. 2, 4
3	土師器	坏	口径 器高 底径	122 39 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色大粒、半透明粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No. 11
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) (43) 43	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括7
5	土師器	坏	口径 器高 底径	(115) 37 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒、砂粒を含む。焼成は良好。	括4, A
6	土師器	坏	口径 器高 底径	116 40 70	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリだが半分省略される。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒、赤色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 10
7	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) <40 68	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面は黒色処理か。	大粒の白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 13, 一括9
8	土師器	坏	口径 器高 底径	125 41 81	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を市の狭い手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面は黒色処理か。	砂粒、白色粒、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) 42 (69)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括6
10	土師器	坏	口径 器高 底径	(122) 41 71	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を市の狭い手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括2, A
11	土師器	坏	口径 器高 底径	112 40 74	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1
12	土師器	坏	口径 器高 底径	133 44 52	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。内面は黒色処理か。	砂粒、石英を含む。黒褐色。焼成は良好で軟質。	No. 14
13	土師器	坏	口径 器高 底径	(121) 39 (68)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 8, 括14
14	土師器	坏	口径 器高 底径	120 45 68	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒子、赤色粒子を含む。淡明褐色。焼成は良好。	No. 3, A
15	土師器	坏	口径 器高 底径	(122) 41 (76)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面黒色処理か。	砂粒、白色粒子を含む。淡暗褐色。焼成は良好。	No. 15
16	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) 36 (76)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括13
17	土師器	坏	口径 器高 底径	(124) 37 73	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、5回の矢車状手持ちヘラケズリ。体部下端も5回の矢車状手持ちヘラケズリ。	細かな砂、赤色微粒子、粘土粒を多く含む。淡褐色。焼成は良好で軟質。	No. 5 体部外面に墨書「目」
18	土師器	坏	口径 器高 底径	(110) 37 68	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、小砂粒(2mm)、金雲母を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括3, A 体部外面に墨書
19	土師器	坏	口径 器高 底径	116 38 64	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好で軟質。	No. 12 底部外面に刻書「キ」
20	土師器	坏	口径 器高 底径	— (12) (68)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括11 底部外面に格子模様の線刻
21	土師器	坏	口径 器高 底径	(124) <39 59	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No. 7 底部内面に刻書「X」
22	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) 41 69	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒子、半透明粒、砂粒を含む。淡明褐色。焼成は良好。	括19 体部外面に墨書「市前」

23	土師器	坏	口径 器高 底径	(143) (40) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含み、白色微粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括12
24	土師器	坏	口径 器高 底径	— — (10)	ロクロ製。薄手の作り。	麻密で赤色粒子、白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括29、体部外面に墨書
25	土師器	坏	口径 器高 底径	— — (45)	非ロクロ製。体部内面はナデ。底部の内外面のみミガキ。	麻密で赤色微粒子を僅かに含む。白色微粒子を含む。灰淡褐色。焼成は良好。	括20、体部外面に墨書「神」
26	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	ロクロ製。底部は全面手持ちヘラケズリ。	雲母、白色微粒子を含む。淡赤褐色。焼成は良好。	括21、体部外面に墨書「白」
27	土師器	坏	口径 器高 底径	— — (19)	ロクロ製。	麻密だが砂を多く含む。暗赤褐色。焼成は良好。	括22、体部外面に墨書
28	土師器	坏	口径 器高 底径	— — (34)	ロクロ製。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色粒、小砂りを含む。褐色。焼成は良好。	括30、体部外面に墨書
29	土師器	皿	口径 器高 底径	(180) (31) (76)	ロクロ製。体部下端は回転ヘラケズリ。口縁部は内側に曲折し、端部は僅かにつまみ出される。内面はカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。炭化物付着。	括31
30	土師器	皿	口径 器高 底径	(180) (17) 76	ロクロ製。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。口縁部は内側に曲折する。	麻密だが赤色粒子と白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括28
31	土師器	皿	口径 器高 底径	— — (11) (76)	ロクロ製。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	麻密だが赤色粒子と白色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括32
32	土師器	甕	口径 器高 底径	(166) (83) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部はほぼ垂直につまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒、白色粒が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括27
33	土師器	甕	口径 器高 底径	164 (121)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ、下半部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒子、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No.9
34	土師器	甕	口径 器高 底径	(213) (32) —	口縁部は横ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	砂粒を含む。淡明褐色。焼成は良好。	括18
35	土師器	甕	口径 器高 底径	(224) (78) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	白色粒子、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No.18, 19
36	土師器	甕	口径 器高 底径	(236) (60) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括17
37	須恵器	広口甕	口径 器高 底径	(233) (62) —	ロクロ製。口縁部は複合口縁。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No.23 在地産
38	土師器	甕	口径 器高 底径	— (77) 62	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。底部はヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.6
39	土師器	甕	口径 器高 底径	— (14) 79	胴部下位は横位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。底部はヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	括26
40	焼製品	磁	長さ	(91)mm	厚さ2.5×2.5mm, 厚さ3×3mm		No.26
41	焼	磁	長さ	39mm	幅38mm, 厚さ29mm, 重さ45.68g		括33
42	焼	磁	長さ	72mm	幅35mm, 厚さ31mm, 重さ89.75g		No.22
43	土製品	支脚	高さ	(37)mm	厚さ(30)mm		括34

SI-118 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(140) (33) —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後、斜位のミガキ。口縁端部は内側に巻き込まれる。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No.2, 4
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(160) (93) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で、緩やかに外反する。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No.1, 11, 括
3	土師器	甕	口径 器高 底径	153 (78) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は素縁で、緩やかに外反する。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。黒褐色。焼成は良好。	No.9, 括
4	焼製品	磁	長さ	(85)mm	厚さ4.5×3.5mm		No.8

SI-119 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	鉢	口径 器高 底径	(146) (40) —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は口縁部から底部にかけてミガキ。口縁部は縁分外反する。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	括2

2	土師器	甕	口径器高底径	(126) (64) —	口縁部から胴部は縦位ヘラケズリ。内面は口縁部が横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部はヘラ調整後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	甕	口径器高底径	(20) (66)	胴部外面は斜位ヘラケズリ。底部はヘラケズリ。内面はヘラ調整後ミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	括4.1と同一個体か?

S I - 1 2 0 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(128) 39 82	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。口縁部は外反気味に小さくつまみ出される。	縦密で白色微粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No.20, SI-119, No.2
2	土師器	罎	口径器高底径	(110) (39)	口縁部はヘラ調整後、横位のミガキ。内面はミガキ。胴部はヘラケズリ後、横位のミガキ。	縦密だが砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括1 3と同一個体。
3	土師器	直口甕	口径器高底径	(104) — 30	口縁部はヘラ調整後、縦位のミガキ。内面はミガキ。胴部はヘラケズリ後、横位のミガキ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	縦密で赤色粒、白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No.16, 34, 括, SI-119 2と同一個体。
4	土師器	罎	口径器高底径	129 77 33	口縁部はヘラケズリ後ミガキ。胴部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ナデ。内外面とも赤彩される。	縦密で白色粒子を含む。焼成は良好。	No.2
5	土師器	高坏	口径器高根径	130 101 80	坏部外面から胴部は斜位ヘラケズリ後、縦位のミガキ。内面は横位のミガキ。脚部内面はケズリ後ナデ。坏部は内外面とも赤彩される。	縦密だが白色角礫を多く含む。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No.1 搬入品か?
6	土師器	高坏	口径器高軸径根径	162 121 28 111	坏部外面は縦位のヘラ調整後、横位ミガキ。坏部下位から脚部は縦位ミガキ。坏部内面はヘラ調整後ミガキ。脚部上部がヘラケズリ。下部はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	縦密だが白色角礫を多く含む。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No.3 搬入品か?
7	土師器	高坏	口径器高根径	(85) 124	— 脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位のミガキ。坏部内面はミガキ。赤彩される。坏部と脚部の接合はソケット式になっている。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No.4
8	土師器	坏	口径器高底径	— —	— ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	縦密だが細かな砂を多く、赤色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2, 底部内面に「麴草」瓦
9	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	(185) 195 62 216	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、上位は横位ヘラケズリ。下半を斜位ヘラケズリ。内面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は不良。	No.12-15, 40
10	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	133 132 20 143	口縁部は横ナデ後、一部横位ヘラケズリ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒子、白色粒子を含む。赤褐色。暗褐色。焼成は良好。	No.28
11	土師器	甕	口径器高底径	<183 259 76	口縁部ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面斜位の刷毛。内面口縁部から胴部はヘラケズリ後ミガキ。口縁部くの字状に直線的に開く。	白色微粒子を含む。赤褐色、暗褐色。焼成は不良。下部に二次焼成がみられる。底部木蓋付。	No.5, 9, 11, 38, 39
12	土師器	甕	口径器高底径	219 148 57	口縁部外面横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面口縁部横ナデ。胴部は斜位ケズリ後ミガキ。口縁部はくの字状に直線的に開く。	白色粒子を含む。濃茶褐色。焼成は良好。内外面とも赤彩。	No.18, 24, 29, 30, 41
13	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	<165 240 72 220	調整値はほとんど見えない。一次調整は口縁部は横ナデ。胴部内外面は縦位ヘラケズリ及び斜位ヘラケズリされるが、二次調整は口縁部外面を除いて全面ミガキ。	白色塵の大粒を多量に含む。暗褐色。焼成は良好。	No.2, 28 搬入物か?
14	土師器	甕	口径器高底径	(174) (81) —	口縁部は内外面とも刷毛調整。胴部外面は刷毛調整後ヘラケズリ。更にミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。口縁部はくの字状に開く。	白色粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括3, 住1
15	土師器	広口甕	口径器高底径	144 <63 —	口縁部外面は指環形後ナデ。頸部から胴部は刷毛調整後ミガキ。内面は口縁から胴部にかけて刷毛調整後補なミガキ。胴部はケズリ後ナデ。口縁部は複合口縁で長く外反する。	黒色粒子、白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No.31, 34
16	土師器	甕	口径器高底径	<60 —	胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部がナデ。胴部は高外脚部と同じ絞り成形で縦じわが残る。下半は横位ヘラケズリ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.36
17	土師器	甕	口径器高底径	(32) 44	胴部外面は底部にかけヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。胴下半部は丸みをもち膨らむ。	白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No.37
18	土師器	甕	口径器高底径	<26 48	胴部外面から底部は斜位ヘラケズリ。胴部内面は小口状の工具による縦位ヘラケズリ。胴下半部は丸みをもち膨らむ。	白色粒、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No.22
19	土師器	甕	口径器高底径	<25 55	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は刷毛調整しているがヘラケズリ後ミガキ。胴下半部は外反しながら立ち上がる。	赤色粒、白色粒、黒色粒を含む。暗褐色。焼成は不良。	No.33
20	甕		長さ63mm, 幅60mm, 厚さ32mm, 重さ121.46g。			括4	
21	甕		長さ37mm, 幅34mm, 厚さ27mm, 重さ41.06g。			括5	
22	甕		長さ44mm, 幅35mm, 厚さ22mm, 重さ45.17g。面は丸みを持つ。			括6	

S I - 1 2 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (120) 器高 (65) 底径 (60)	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、練なみガキ。内面の調整は斜織により不明。底部は平底である。	白色微粒子を僅かに含む。二次焼成を受け、赤褐色及び黒色化している。	No.4, 3v) 括弧
2	土師器	坏	口径 (194) 器高 (50) 底径 —	口縁部は横ナデ後、横位のミガキ底部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。口縁部は長くつまみ出され反らす。	白色粒を含む。褐色。黒褐色。焼成は良好。	括3
3	土師器	甕	口径 (20) 器高 (60) 底径 —	胴部下半から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
4	土師器	高坏	口径 (28) 器高 — 底径 —	坏部内外面ともヘラ調整後丁寧なミガキ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括2

S I - 1 2 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	碗	口径 (158) 器高 61 底径 54	口縁部横ナデ。体部外面から底部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。体部内面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	括9
2	土師器	坏	口径 118 器高 53 底径 50	口縁部は横位ナデ。体部外面から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ仕上げ。底部は平底である。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。褐色及び黒色。焼成は良好。	括10
3	土師器	甕	口径 137 器高 (91) 底径 — 胴最大径 146	口縁部内外面とも横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半を斜位ヘラケズリ後、全面ミガキ。内面はヘラケズリ後、放射線状のミガキ。一部跡も赤彩される。口縁部小さく反らす。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。橙黄褐色。焼成は良好。	No.4
4	土師器	甕	口径 (142) 器高 (95) 底径 — 胴最大径 142	口縁部内外面とも横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半を斜位ヘラケズリ。要に全面をミガキ。内面は斜織位ヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は直線的に外に開く。	白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
5	土師器	甕	器高 94 胴径 130 底径 30 胴最大径 137	外面は頸部から胴部にかけて横位ケズリ。内面は頸部が練なみガキ。胴部はヘラナデ後ナデ。胴部外面と内面口縁部が赤彩される。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No.1
6	土師器	高坏	口径 (176) 器高 124 胴部径 (113)	坏部は斜織位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜織位ヘラケズリ。胴部内面を除いて赤彩される。	白色粒子を含む。胴部内面は褐色。焼成は良好。	No.6 胴部内面に線刻「X」
7	土師器	高坏	口径 — 器高 (91) 胴部径 —	坏部内外面とも丁寧なミガキ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面縦位ヘラケズリ。	白色微粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。胴部内面が黒色処理される他は赤彩される。	No.5
8	石製品	白玉	長さ6mm, 幅6mm, 厚さ3mm, 重さ0.11g.			No.2

S I - 1 2 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 118 器高 39 底径 72	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部は典型的な遠弧状ヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色及び淡灰色。焼成は良好。	No.1 胴部底面にスズ付着
2	土師器	坏	口径 124 器高 45 底径 76	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラケズリ。一見非ロクロだが内面及び口縁部のナデはロクロ整形のように丁寧。	緻密で白色粒子、赤色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。内外面とも赤彩。	No.2
3	土師器	甕	口径 152 器高 (79) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は縦位に外反し。口縁部は垂直気味につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括3
4	土師器	甕	口径 (112) 器高 (41) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。口縁部は直線的に開く。	砂を多く含む。小砂利が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。	括2
5	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ成形。回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡灰色。焼成は良好で硬質。	括4 底部外面に墨書「古？」
6	土師器	坏(皿)	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ成形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。白色微粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括5 底部外面に墨書
7	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ成形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	括6 底部外面に墨書2カ所

S I - 1 2 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	非ロクロ成形。底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。体部内外面は赤彩されている可能性あり。6世紀前半か。	砂を多く含む。白色粒子と小砂利が目立つ。外面は淡茶褐色。内面は暗茶褐色。焼成は良好。黒斑あり。	外周縁部1, 底部外面に焼成前の刻書「X」

2	土師器	甕	口径 器高 底径	(122) <40> —	口縁部横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面口縁部から胴部にかけてミガキ。胴部はヘラケズリ後ミガキ。	白色陶土を多く含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	図3. 輸入甕
3	鉄製品	刀子	長さ	<32>mm, 幅11mm, 背幅3.5mm.			図4
4	土製品	土玉	径	27×25mm, 厚さ28mm, 重さ15.33g.	ナデ後ミガキ。胎土は硬質で緻密だが、焼成は不良。		図5

S I - 1 2 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 37	口縁部は内外面とも横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒、茶色粒、透明粒を含む。暗褐色。外面一部黒色。焼成は良好。	図4
2	土師器	坏	口径 器高 底径	146 <31>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後、縦なミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	白色粒、茶色粒を含む。暗褐色。底部外面は黒色。焼成は良好。	図1
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) <48>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含むザラつく。明褐色。外面の一部黒褐色。焼成は良好。	No. 1
4	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	(56) 41 48	指頭による成形と調整。底部はミガキ。内面は指ナデ。口縁部端部集強くつまみ出される。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗赤褐色。外面の一部黒色。焼成は良好。	図7
5	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	(29) 21	指頭による整形後ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	図8
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面と内面は斜縁が著しく調整不明。口縁部は直立気味に立ち上がり外反する。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。外面は淡褐色。内面は淡黄褐色。焼成は良好で軟質。	図3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(60) — —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縁位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は僅かに外反する。	白色微粒子を含むやや粗い。外面は黒褐色。内面は茶褐色。焼成は良好。	外周図図2
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(77) — —	口縁部は横ナデ。胴部は外面が斜縁位ミガキ。内面はヘラナデ。口縁部は内湾気味につまみ出される。	白色微粒子、赤色粒子、雲母を含む。赤褐色。焼成は良好で硬質。	図5
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(60) — —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面は口縁部から胴部が横位ミガキ。胴部は縦位ミガキ。口縁部は外反する。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗褐色。内面一部黒色。焼成は良好。	外周図図6

S I - 1 2 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	埴	口径 器高 底径	113 60 21	口縁部は内外面とも丁寧な縦位ミガキ。体部外面は丁寧な横ミガキ。内面は斜位ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	高坏	口径 器高 底径	144 <69> —	内外面とも方向は不明だが丁寧なミガキで、赤彩される。	赤色粒、白色粒を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 6
3	土師器	甕	口径 器高 底径	133 109 56	口縁部は横ナデ後、縦位ミガキ。胴部は内外面ともヘラケズリ後ミガキ。口縁部はくの字状に開く。	砂を多めに白色粒子、赤色粒を含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 3
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(106) <110> —	口縁部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜縁位ヘラケズリ。胴部外面と口縁部の一部は赤彩される。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	図2
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(326) <134> —	口縁部は内外面ともナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は縦位ヘラケズリ。外面は赤彩。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	図1
6	土製品	土玉	径	24mm, 厚さ25mm, 重さ6.78g.	砂を多く含む白色微粒子が目立つ。		図3
7	土製品	丸玉	長さ 幅 厚さ 重さ	10mm, 幅11mm, 厚さ7mm, 重さ0.72g.	胎土は精練され非常に緻密で土師の胎土とは異なる。焼成は黒色であるため一見不良に見えるが、故意に黒色仕上げにした可能性がある。		図2(ア)
8	石製品	垂装品	長さ	40mm, 厚さ8.5×6mm, 重さ3.52g.	勾玉か。		No. 1
9	罫		長さ 幅 厚さ 重さ	68mm, 幅41mm, 厚さ34mm, 重さ130.2g.			図4
10	罫		長さ 幅 厚さ 重さ	39mm, 幅50mm, 厚さ30mm, 重さ67.90g.			図5
11	罫		長さ	70mm, 幅59mm, 厚さ50mm, 重さ291.1g.			図6

S I - 1 2 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	121 35 66	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、砂粒、白色粒を含む。淡灰褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(124) 43 (58)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	図5.A
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) 54 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。体部内面に輪積痕がみられる。薄手でシャープである。	砂粒を含む。淡暗褐色。焼成は良好。	図9

4	土師器	坏	口径 器高 底径	131 40 62	ロクロ彫形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。口縁部内側に帯状のタール付着。	白色粒子、小砂利を含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 4, 体部外面に墨書「大井」 ^六
5	土師器	坏	口径 器高 底径	134 40 63	ロクロ彫形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。薄手でシャープである。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 5, 体部外面に墨書「穴太」 [?]
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(200) (89) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部は縁やかに外反し、口縁部は垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括10, 体部外面に墨書
7	土師器	坏	口径 器高	— (37)	ロクロ彫形。体部下端は未調整。	縦密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括11, 体部外面に墨書
8	土師器	坏	口径 器高	— (26)	ロクロ彫形。内面ミガキか。	縦密で白色微粒子を極僅かに含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括5, 体部外面に墨書
9	土師器	坏	口径 器高	— (19)	ロクロ彫形。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗赤褐色。焼成は良好。	括12
10	罐		長さ 幅 厚さ	34mm, 44mm, 7mm	重さ11.05g。		括13
11	罐		長さ 幅 厚さ	43mm, 39mm, 27mm	重さ39.36g。		

SI-128 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	甕	口径 器高 底径	(234) (82) —	口縁部外面に施文された縄文原形は単節R L。口唇頂部は押捺。	砂粒を含む。黒褐色。焼成は良好で軟質。	No. 8
2	土製品	紡錘車	径 厚さ	57mm, 20mm	重さ89.85g。両面には縄文原形単節R Lが施文されている。	白色微粒子が目立つ。	No. 1
3	石器	砥石	長さ	62mm, 幅39mm, 厚さ7mm	重さ35.88g。		No. 4

SI-129 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	高坏	口径 器高 根径	186 (79) —	体部は内外面ともヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。坏部と脚部はソケット状に接合される。	砂を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
2	石器	砥石	長さ	91mm, 幅26mm, 厚さ17mm	重さ37.93g。		括1

SI-130 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考		
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(138) 57 47	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は内湾する。	白色粒子、赤色小砂利を含む。赤褐色及び淡褐色。焼成は良好で軟質。	括4	
2	土師器	坏	口径 器高	(140) 39	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。底面のみミガキ。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面は赤褐色。内面に暗茶褐色。焼成は良好でやや硬質。	括3	
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(51) — —	口縁部片 器高 底径	内外面ともヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は内湾する。	白色微粒子、赤色粒を含む。素地は暗褐色。焼成は良好で硬質。	括5
4	土師器	埴	口径 器高 底径	96 (39) —	口縁部はヘラケズリ後、横位ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括6	
5	土師器	鉢	口径 器高 底径	(45) — —	口縁部は横ナデ。胴部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナゲ風ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括7	
6	土師器	埴	口径 器高 底径	(74) — —	口縁部から胴部は、内外面ともヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、赤色粒子を含む。素地は暗褐色。焼成は良好。	括8	
7	土師器	高坏	口径 器高 根径	(54) — —	坏部外面はヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。内面はナゲ(ミガキ)。内外面とも赤彩される。	白色粒子、黒色粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括9	
8	土師器	高坏	口径 器高 根径	(74) — —	脚部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は市の広い横位ヘラケズリ。外面は赤彩される。	縦密で白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 8	
9	土師器	埴	口径 器高 底径	100 103 27	口縁部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。胴部中央孔は焼成後の穿孔。	縦密で白色粒子、赤色粒子を含む。外面は暗褐色。内面は暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 7	
10	土師器	埴	口径 器高 底径	84 93 29	口縁部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナゲ。	縦密で白色微粒子を多く含む。暗褐色及び淡褐色。焼成は良好で硬質。	括10	
11	土師器	埴	口径 器高 胴最大径	(102) (145) —	胴部外面は斜位ヘラケズリとナゲ(ミガキ)。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ナゲ(ミガキ)。	白色粒子、赤色粒子を含み粗い。外面は黒色。内面は黒褐色。焼成は良好。	括1	
12	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	(71) (37) —	指輪彫形後ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ヘラナゲ。	白色微粒子を多く含む粗い。暗淡褐色及び淡褐色。焼成は良好でやや軟質。	括11	

13	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	— (27) 33	指環成形後、内外面とも指環によるナデ調整。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	括12
14	土師器	甕	口径 器高 底径	— (31) 80	胴部外面は斜位ヘラケズリとナデ(ミガキ)。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。茶褐色及び黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6
15	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	(196) (240) (52) (224)	口縁部は横ナデ後、横位ヘラケズリ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。底部はヘラケズリ。胴部内面は多方向のヘラケズリ後ナデ。	白色微粒子と大粒の赤色粒を含む。赤褐色及び黒色。焼成は良好で硬質。	No. 2
16	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	164 (163) 74 246	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ヘラナデ。	縦密で白色粒子、赤色粒を含む。暗淡褐色。一部黒色。焼成は良好で硬質。	括13
17	土師器	甕	口径 器高 底径	— (17) 74	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	大粒の白色粒子、赤色粒子を含みやや粗い。淡褐色。焼成は良好でやや軟質。	括2
18	土師器	甕	口径 器高 底径	— (37) 62	胴部外面から底部はヘラケズリ後ヘラナデか、内面はヘラケズリ後ナデ。	白色微粒子を多く含みやや粗い。黒色及び茶褐色。焼成は良好で硬質。	括14
19	土師器	甕	口径 器高 底径	— (25) 70	胴部外面はから底部は斜横調整後ヘラケズリ。内面はヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含みや粗い。茶褐色。一部黒褐色。焼成は良好。	括15
20	土製品	土玉	径	27×20mm, 厚さ22mm, 重さ16.22g。	赤絞りによる整形でミガキ。下部の孔周囲は平坦。胎土は土師器類と同一。淡褐色及び暗褐色。		括16
21	甕		口径 器高 底径	長さ90mm, 幅44mm, 厚さ31mm, 重さ121.90g。			括17
22	甕		口径 器高 底径	長さ98mm, 幅50mm, 厚さ46mm, 重さ44.88g。			No. 4
23	甕		口径 器高 底径	長さ124mm, 幅85mm, 厚さ89mm, 重さ173.11g。			No. 9, 括

SI-131 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	甕	口径 器高 底径	— (166) —	頸部に2段の結節縄文を施し。胴部は単純LR縄文を施文。内面ナデ。	細かな砂を多く含む。大粒の赤色粒子と白色微粒子が目立つ。黒褐色及び暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1
2	甕		口径 器高 底径	長さ97mm, 幅59mm, 厚さ24mm, 重さ177.14g。後世に流入か。			括7
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(134) 43 (50)	口コロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	縦密で白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	括3
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(34) (60)	口コロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	縦密だが砂利を含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括1, 底部内面に墨書「元」
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— (20) (78)	口コロ整形。底部は手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括2, 体部外面に墨書「工」
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(170) (32) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出されるが下方に垂れる。	砂を多く含む。白色粒子と赤色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括5
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(204) (40) —	口縁部は横ナデ後、縦位ヘラナデ風ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はくの字状に外に開く。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面淡黄褐色及び黒色。内面明褐色。焼成は良好で硬質。	括6

SI-132 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	128 41 74	口コロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	縦密だが白色粒子多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	甕	口径 器高 底径	126 37 68	口コロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は平滑。	縦密だが大粒の赤色粒を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 8 体部外面に墨書「野田」
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(116) 40 58	口コロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。器面がざらつく。淡褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 3 体部外面に墨書「益」
4	土師器	甕	口径 器高 底径	158 49 96	口コロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。筒型甕か。	縦密だが小砂利を含む。外面は褐色。暗褐色。内面は褐色。焼成は良好。	No. 4, A
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— (23) —	口コロ整形。口縁部は縁分反りする。	縦密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括1 体部外面に墨書「逆位」
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(216) 80 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に外反し。口縁部は外につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 1, 7, 9, 括
7	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	218 253 78 210	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位から横位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に外反し。口縁部は内湾気味につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色焼成は良好。	No. 5

S I - 1 3 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(120) 器高(27) 底径—	外面は口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	No.2
2	土師器	坏	口径(108) 器高34 底径(62)	ロクロ製形。底部全面手持ちヘラケズリ。体部下端の調整は不明。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	坏	口径(144) 器高44 底径(76)	非ロクロ製形。体部から底部は手持ちヘラケズリ。内面はまばらで雑なミガキ。	砂を多く含む。赤色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No.1
4	土師器	甕	胴最大径247 器高250 底径80	胴部外面斜位ヘラケズリ後全体に斜横位ヘラケズリ。下部は縦位ミガキ。胴部内面上部横位ヘラケズリ後ナデ。下平部斜横位ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は黒褐色及び赤褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No.1,3

S I - 1 3 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径127 器高42 底径72	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。再調整の巾は非常に狭い。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No.1,括 底部外面に墨書「大家」

S I - 1 4 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(138) 器高32 底径(78)	非ロクロ製形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒、砂、白色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括1
2	石器	砥石	長さ70mm,幅47mm,厚さ18mm,重さ61.42g。			括3
3	土製品	土玉	径21×23mm,厚さ20mm,重さ7.48g。			括2

S I - 1 4 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径138 器高39 底径59	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。全体が摩耗している。	砂と小砂利を多く含む。赤色粒が目立つ。器面がざらつく。淡黄褐色。焼成はあまり。	No.1
2	土師器	坏	口径132 器高39 底径57	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。全体が摩耗している。	砂と小砂利を多く含む。赤色粒が目立つ。器面がざらつく。暗褐色。焼成は良好。	No.2
3	織		長さ111mm,幅70mm,厚さ53mm,重さ451.15g。			No.6
4	鉄製品	刀子	長さ377mm,幅9mm,背幅4mm。			括1

S I - 1 4 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(140) 器高丸底37	口縁部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。	赤色粒を含む。外面は明褐色。一部黒色。内面は明褐色。焼成は良好。	No.6
2	土師器	甕	口径(112) 器高115 底径70	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後、下半部を多方向からのヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は淡褐色。一部黒色。内面は淡黒色。黄褐色。焼成は良好。	No.4,5,S1-147 括
3	土師器	甕	口径(181) 器高<53> 底径—	口縁部は横ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出され、側面が凹面状になる。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No.3
4	土師器	甕	口径(200) 器高<131> 底径—	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。外面は暗黒褐色。内面は暗褐色。焼成は良好で硬質。	No.2

S I - 1 4 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(200) 器高<34> 丸平底	口縁部横ナデ。体部から底部ヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面ヘラ調整後、丁寧なミガキ。内外面とも黒色処理が、漆の可能性あり。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は暗褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No.1
2	土師器	甕?	口径— 器高— 頸部径(226)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面ナデ。焼成前に直径5mmの小孔が穿孔される。	緻密だが砂を含む。白色微粒子が目立つ。焼成は良好で硬質。	括1

S I - 1 4 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径(138) 器高45 底径(83)	ロクロ製形。底部は二方向の全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面はミガキされず。黒色処理。	砂を多く含む。大粒の赤色粒を含む。器面がざらつく。内面は暗褐色。内面は黒灰色。焼成は良好。	No.6
2	土師器	坏	口径121 器高38 底径70	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも平端。	緻密で白色粒子、赤色粒子を含む。淡黄褐色。砂を多く含むが焼成は良好で軟質。	No.5

3	土師器	甕	口径 器高 底径	(105) 148 86	胴縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位から下部にかけヘラケズリ。更にミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。底部外面に木炭痕。	細かな砂を多く含み、白色微粒子と赤色微粒子が目立つ。茶褐色。外面一部黒色。焼成は良好で軟質。	No.7, 平安時代の甕で木炭痕は稀少
4	土師器	甕	口径 器高 底径	— <119 (90)	胴部外面は上半部がナデ、下半部が多方向のヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。孔部の内外面横位ヘラケズリにより調整される。	白色・茶色・灰色・半透明粒を含みやや粗い。外面は橙褐色。内面は赤褐色。焼成は良好。	括1
5	土製品	支脚	高さ	<107mm, 径63×(54)mm,			括2
6	石器	砥石	長さ	125mm, 幅129mm, 厚さ52mm, 重さ1110.75g,			No. 8

S I - 1 5 1 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(106) 41 (57)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は平滑。	細かな砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は淡褐色。内面は淡褐色。焼成は良好。	括1A
2	須恵器	片口鉢	口径 器高 底径	(200) <60 —	ロクロ製形。口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ製形。内面はナデ。口縁端部は中央部が凹面になる。	細かな砂と白色微粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	括3 在地産
3	土師器	甕	口径 器高 底径	208 <89 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半を斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁部はコの字状に曲折し、口縁端部は外につまみ出される。	粗く砂を多く含み、赤色粒と白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括2
4	須恵器	甕	口径 器高 底径	(254) <63 —	ロクロ製形。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のタタキ製形。内面は当て具痕がナゲ消される。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。酸化塩焼成。	No. 1, 5, 7 在地産
5	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <107 (172)	ロクロ製形。胴部外面は縦位タタキ製形後、下位は斜位ヘラケズリ。内面は当て具痕がナゲ消される。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。酸化塩焼成。	No. 1, 6 在地産

S I - 1 5 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) 35 (66)	ロクロ製形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面はミガキ。内面は黒色処理。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。淡灰褐色及び黒色。焼成は良好。	括3
2	土師器	坏	底部片 口径 器高 底径	<18 (93)	ロクロ製形。底部回転糸切り後、周縁部手持ちヘラケズリ。体部下端手持ちヘラケズリ。底面は放射状の丁寧なミガキ。内面黒色処理。	砂を多く含み、白色粒子を含む。括1	括1
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(150) <38 —	ロクロ製形。内面はミガキで黒色処理される。内外面とも平滑。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡黄褐色及び黒色。焼成は良好。	括2 外面・体部に墨書「国」?
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(176) <67 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は長く重直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子と大粒の赤色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1-2
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(278) <79 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。つまみは貼り付け後ヘラケズリ。口縁端部は長く重直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子と大粒の赤色粒を含む。赤褐色。外面一部黒色。焼成は良好。	No. 1-1

S I - 1 5 3 遺物観察表

() は推定値、< > は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(156) <63 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子を含む。赤黒褐色。焼成は良好。	No. 1

S I - 1 5 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) 40 (67)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	細密で白色微粒子、金雲母微粒子、白色針状物を含む。明褐色。焼成は良好だが軟質。	括2
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(126) 40 (54)	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	細密で金雲母微粒子を含む。茶褐色。焼成は良好だが軟質。	括6
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <15 60	ロクロ製形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含み、大粒の赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括1) No. 1
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(146) <65 —	口縁部横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面斜位ヘラナゲ後ナデ。胴部内面横位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	細密で白色微粒子を多く含む。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 2
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <25 148	ロクロ製形。胴部外面の下半は縦位ヘラケズリ後細なミガキ。底部は回転糸切り後、手持ちヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含み、小砂利と白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。酸化塩焼成。	No. 3
6	須恵器	甕	口径 器高 底径	(268) <160 —	ロクロ製形。口縁部横ナデ。胴部外面は縦位タタキ製形。内面はナデ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。酸化塩焼成。	No. 1

7	須恵器	甕	口径器高底径 — (55) —	ロクロ壺形。胴部外面は縦位タタキ壺形、下部は斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナゲ後ナゲ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。酸化場焼成。	括5
8	須恵器	甕	口径器高底径 — (69) —	ロクロ壺形。胴部外面は縦位タタキ壺形。内面はヘラナゲ後ナゲ。	砂を多く含み、小砂利と白色微粒子を僅かに含む。暗褐色及び赤褐色。焼成は良好。酸化場焼成。	括1' 括
9	須恵器	甕	口径器高 <100 胴最大径(290)	ロクロ壺形。胴部外面は格子タタキ壺形。内面はヘラナゲ後ナゲ。	砂を多く含み、白色粒子と大粒の赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。酸化場焼成。	No.7, 括, 括1' No.3
10	鉄製品	刀子	長さ44mm, 幅7mm, 背幅4mm.			括5

S I - 1 5 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 — (122) 41 68	ロクロ壺形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが砂を多く含み、白色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好で硬質。	No.2A
2	土師器	坏	口径器高底径 — (130) (31)	ロクロ壺形。体部下端の調整は不明。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰茶褐色。焼成は良好で硬質。	括2
3	土師器	坏	口径器高底径 — (34) —	ロクロ壺形。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡明褐色。焼成は良好で軟質。	括1' 外面に墨書「見参？」
4	土師器	手捏土器	胴部径器高丸底 40 24	土玉状の粘土塊に指を入れ、指端による壺形。口縁部には整形時のヒビが無数に残される。	緻密で白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No.1
5	土師器	甕	口径器高 (168) (118) 胴最大径 166	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半部を横位ヘラケズリ。胴部内面ヘラナゲ後ナゲ。口縁部は着縁で端部は僅かに内湾する。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	括1' 括1
6	土師器	甕	口径器高底径 — (196) (81)	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ。胴部内面ヘラナゲ後ナゲ。口縁部はくの字状に曲折し、口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。赤褐色及び暗褐色。焼成は良好だが二次焼成を受け難い。	括1' 括2
7	土師器	瓶	口径器高底径 — 290 (145) —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ。胴部内面ヘラナゲ後ナゲ。口縁端部は垂直につまみ出される。取手部分はヘラケズリ後ナゲ。	砂を多く含み、白色粒と赤色粒が目立つ。外面は黒褐色。内面は暗褐色。焼成は良好で硬質。	括, 括1' No.1
8	土師器	甕	口径部片器高底径 — (61) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜位ヘラナゲ後ナゲ。口縁端部は外反気味に弱くつまみ出される。	砂を多く含み、白色微粒子が目立ち、器面がツラつく。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好で硬質。	No.3

S I - 1 5 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	器高底径 <115) (72) 胴最大径(155)	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナゲ後ナゲ。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。黒褐色。焼成は良好。	No.1
2	土師器	甕	口径器高底径 — (44) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナゲ。口縁端部はほぼ垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面は暗褐色。内面は褐色。焼成は良好。	括1

S I - 1 5 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 — (124) 41 63	ロクロ壺形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰黄褐色。淡黒褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	坏	口径器高底径 — (133) 44 50	ロクロ壺形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色粒を含む。淡褐色。焼成は不良。	No.2
3	土師器	甕	口径器高底径 — (124) (36) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナゲ後ナゲ。口縁端部は僅かにつまみ出されるのが丸みをもつ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No.5
4	土師器	甕	口径器高底径 — (192) (57) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナゲ後ナゲ。口縁端部は弱くつまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No.2
5	土師器	瓶	口径器高 (314) (115) 胴最大径(274)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜横位ヘラナゲ後ナゲ。口縁端部は丸みをもつが縁分つまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No.3, 一括 括1' 一括
6	土師器	坏	口径器高底径 — (35) —	ロクロ壺形。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。灰褐色及び灰黄褐色。焼成は良好で硬質。	括3 体部外面に墨書
7	土師器	鉢	口径器高底径 — (160) (39) —	ロクロ壺形。口縁部横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はナゲ。	緻密だが白色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括4

SI-158・159 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 112 器高 41 底径 80	ロクロ製形。底部は静止糸切り後、肩縁部を手持ちへラケズリ。体部下端は未調整。	緻密だが白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	坏	口径 122 器高 36 底径 74	ロクロ製形。底部は回転糸切り後、肩縁部を手持ちへラケズリ。体部下端は手持ちへラケズリ。内面はカーボン炭墨による黒色処理。	緻密だが細かな砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。焼成は良好。破片毎にネザイ状の変色。	SI-158, 159 括 No. 1, 2
3	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ製形。底部は静止糸切り後、全面回転へラケズリ。	緻密だが小砂利と白色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括2 底部外面に墨書(書1)

SI-160 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	瓶	口径 (290) 器高 <89> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位へラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。黄褐色及び黒色。焼成は良好で硬質。	No. 1

SI-161・162 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	口径 130 器高 <90> 胴最大径(130)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位へラケズリ後、下半部を斜横位へラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む。小砂利が目立つ。外面は赤褐色。内面は黒色。二次焼成を受けている。	No. 3, 4
2	土師器	甕	口径 (170) 器高 <81> 胴最大径(175)	口縁部横ナデ。胴部外面縦位へラケズリ後、下半部斜横位へラケズリ。内面横位へラナデ後ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	No. 11
3	土師器	甕	口径 178 器高 104 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位へラケズリ後、下半部を斜横位へラケズリ。内面は斜横位へラナデ後ナデ。口縁部は素練で外に開く。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	No. 9, 10, 12
4	須恵器	甕	口径 — 器高 <163> 胴最大径(300)	胴部外面は縦位のタタキ製形。内面はタタキ製形当て具痕とともにナデ消される。胴部内外面は横ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。暗茶褐色。焼成は良好。	No. 5 在埋地

SI-163 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	碗	口径 (161) 器高 <59> 底径 —	口縁部は鋭くつまみ出され、面取り状に削られている。体部から底部はへラケズリ後ミガキ。内面はへラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。黒地に赤褐色。焼成は良好。スス付着。内外面とも赤彩。	No. 29, 30
2	土師器	高坏	口径 197 器高 <61> 底径 —	坏部は内外面ともへラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。胴部外面は縦位へラケズリ後ミガキ。体部は直線的だが幾分内湾する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。黒地に赤褐色。焼成は良好。一部黒色化している。	No. 71
3	土師器	高坏	口径 (205) 器高 <76> 底径 —	坏部は内外面ともへラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。胴部外面は縦位へラケズリ後ミガキ。内面はへラ調整後赤彩される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。黒地に赤褐色。焼成は良好。内外面に多量のススが付着。	No. 2, 70
4	土師器	高坏	口径 器高 135 底径 <81> 器高 135	胴部外面は縦位へラケズリ後丁寧な縦位ミガキ。内面は絞り製形後、下半をへラケズリ。赤彩されることが基本だが底縁は確認されない。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。一部黒色化している。	No. 64, 71 2書、3書とは別個体
5	土師器	甕	口径 124 器高 (100) 底径 48 胴最大径 125	胴部は内外面とも斜位へラケズリ後ミガキ。胴部外面は横位へラケズリ後ミガキ。内面は横位へラケズリ後ナデ。胴部は内外面とも赤彩される。	緻密だが細かな砂と白色粒、小砂利を多く含む。黒地に淡黄褐色。焼成は良好。多量のススが付着。	No. 48, 86
6	土師器	甕	口径 150 器高 <42> 底径 —	口縁部から胴部は縦位へラケズリ後、縦位ミガキ。内面は横位へラケズリ後、横位ミガキ。口縁部は複合口縁。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。ススが付着。	No. 85
7	灰陶器	把手付瓶	口径 器高 <73> 底径 (104)	底部は全面回転へラケズリ。胴部下半部は回転へラケズリ。濃緑色の軸が流れる。	緻密で白色角礫を僅かに含む。乳白灰色。焼成は良好。	No. 69 須投墨黒票90号底式か
8	土師器	甕	口径 172 器高 <169> 底径 238 胴最大径 238	外面の口縁部から胴部はへラケズリ後ミガキ。内面はへラケズリ後ミガキ。口縁部は素練で直線的に開く。	砂を多く含む。白色粒子と大粒の赤褐色微粒子が目立つ。黄褐色及び暗褐色。焼成は良好。赤彩か。	No. 3, 5, 6, 70
9	土師器	甕	口径 (190) 器高 257 底径 72 胴最大径 246	外面の口縁部から胴部上半部縦位へラケズリ後、縦位ミガキ。内面は口縁部が幅広のミガキ。胴部は横位へラケズリ。胴部は内外面とも赤彩される。	砂を多く含む。赤褐色と白色粒子、小砂利が目立つ。黒褐色及び暗褐色。焼成は良好。ススが多量付着。外面は赤彩か。	No. 11, 12, 15, 18~22, 24~26, 29, 80~84
10	土師器	甕	口径 (190) 器高 <129> 底径 (265)	口縁部横ナデ後、胴部より斜位へラケズリ後ミガキ。内面横位へラケズリ後ミガキ。口縁部は素練で直線的に開く。	緻密で白色微粒子を多く含む。淡赤褐色及び淡黄褐色。焼成は良好。	No. 39
11	土師器	甕	口径 器高 <67> 底径 (78)	胴部外面は斜位へラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜横位へラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。小砂利、白色角礫、赤褐色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 53 輸入品?
12	土師器	甕	口径 器高 <92> 底径 80	胴部外面は縦位へラケズリ後、下半部は斜位へラケズリ。全面ミガキ。胴部内面は斜横位へラケズリ後ミガキ。	砂を多量に含む。白色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好。ススが付着。外面は赤彩か。	No. 54, 55
13	石器	砥石	長さ237mm、幅100mm、厚さ73mm、重さ2.150g。			No. 7

写 真 图 版





神山谷遺跡北部（空振南側から）





A区調査区 (空撮南側から)



A区調査区 (空撮北側から)



151号住居跡



151号住居跡セクション



151号住居跡P2



151号住居跡竈セクション



151号住居跡竈



152号住居跡



152号住居跡遺物出土状況



153号住居跡



155号住居跡



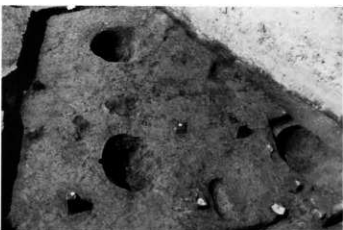
156号住居跡



156号住居跡遺物出土状況



157号住居跡



157A号住居跡遺物出土状況



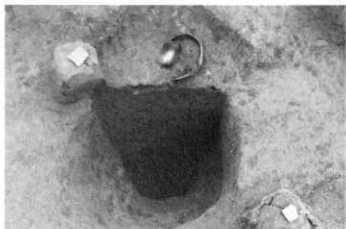
157B号住居跡



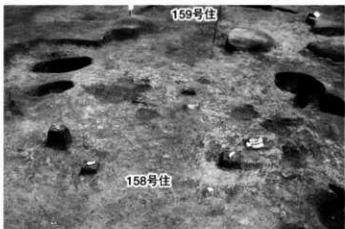
158号住居跡



158号住居跡遺物出土狀況



158号住居跡遺物出土狀況



158・159号住居跡



159号住居跡



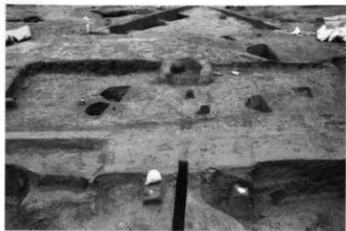
159号住居跡竈



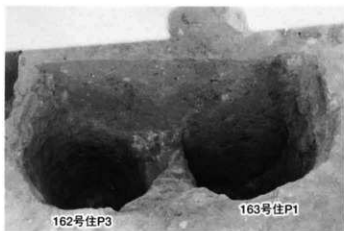
160号住居跡遺物出土狀況



160号住居跡竈周辺遺物出土狀況



162号住居跡



162号住P3

163号住P1

162・163号住居跡柱穴



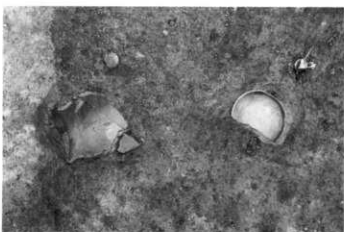
162号住居跡竈



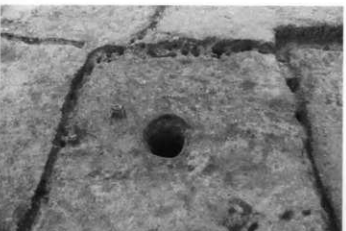
162号住居跡竈遺物出土状況



162号住居跡竈周辺遺物出土状況



162号住居跡竈周辺遺物出土状況



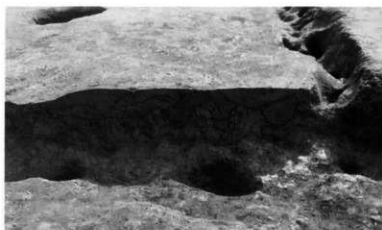
163号住居跡



163号住居跡遺物出土状況



163号住居跡竪



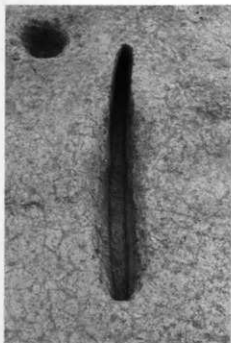
163号住居跡竪セクション



方形土坑



遺物出土状況



1号落とし穴



1号・2号落とし穴



2号落とし穴



2号落とし穴



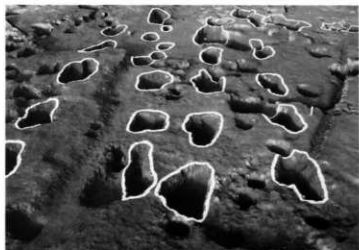
2号落とし穴セクション



掘立柱建物跡群 (空撮)



1号・2号掘立柱建物跡



1号・2号掘立柱建物跡



1～3号掘立柱建物跡



1～3号掘立柱建物跡



3号掘立柱建物跡



1号掘立柱建物跡セクション



2号掘立柱建物跡セクション



3号掘立柱建物跡セクション



1号地下式坑



1号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑



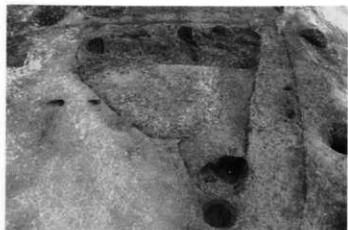
2号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑



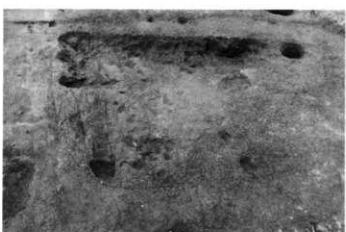
粘土贴土坑



粘土贴土坑



粘土贴土坑 (粘土除去後)



粘土贴土坑 (完掘狀況)



粘土贴土坑



粘土贴土坑



粘土贴土坑



粘土贴土坑



2号堀内道跡 (空撮)



1号道跡 (空撮)



1号道跡



2号堀



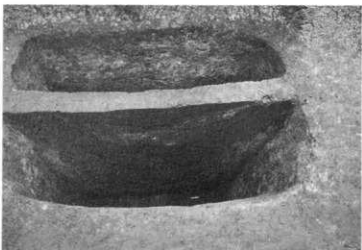
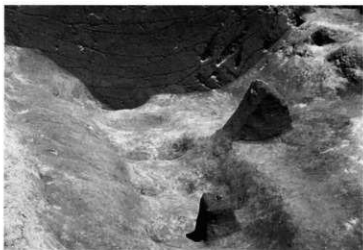
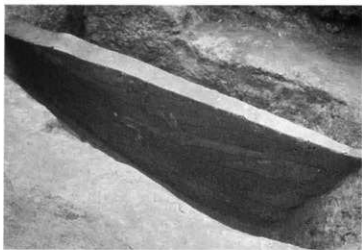
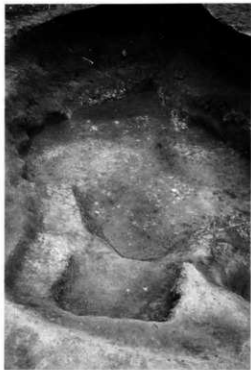
2号堀



2号堀



2号堀





3号堀





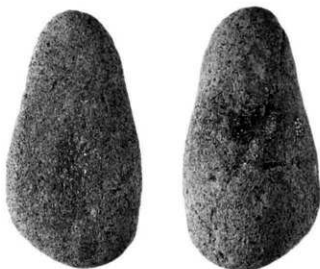
1号道跡 (空撮南側から)



1号道跡



151住,1



156住,2



151住,5



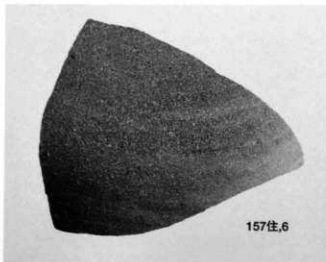
157住,1



157住,7



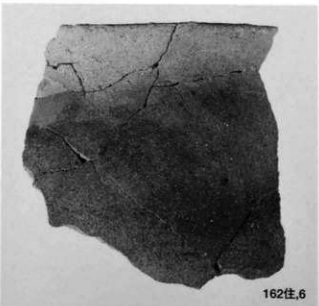
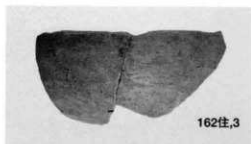
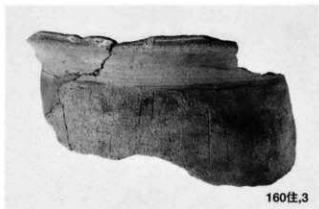
157住,2



157住,6



157住,8







神山谷遺跡南部（空撮西側から）



神山谷遺跡南部（空撮南側から）



B区調査前 (空撮西側から)



B区調査前 (空撮西側から)



神山谷遺跡 (空撮北側から)



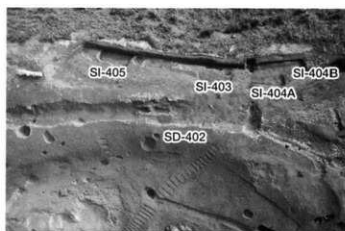
B区・C2区調査風景 (空撮西側から)



B 2 区 (空撮北から)



B 2 区 (空撮西から)



B 2 区尾根部遺構検出状況



SI-401



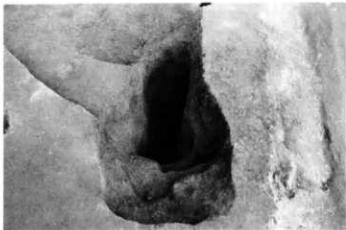
SI-401



東側斜面住居跡検出状況



3号落とし穴



9号落とし穴



10号落とし穴



SK-410



SK-412



SK-412



SK-426



SK-426



中世墓域



中世墓域



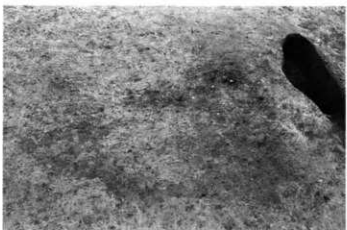
中世墓域 (北側)



中世墓域 (東側)



中世墓域 (南側)



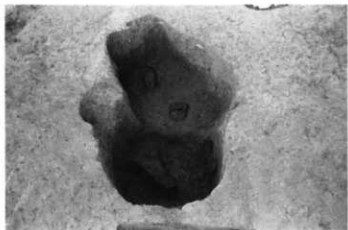
SK-414A検出状況



SK-414A・SK-415



SK-414A遺物出土状況



SK-416・SK-417



SK-417遺物出土状況



SK-418遺物出土状況



SK-418



SK-419遺物出土状況



SK-419



SK-419



中世墓域



SK-420遺物出土状況



SK-420



SK-421



SK-421



SK-422



SK-422



SK-423A



SK-423A



SD-401



SD-401西端土層断面



SD-401中央部土層断面



B2区(空撮)



SD-401及びSD-402



SD-402



SD-402硬化面検出状況



斜面部須恵器出土地点（南西から）



斜面部須恵器出土地点（北東から）



須恵器出土状況



須恵器出土状況



須恵器出土状況



須恵器出土状況



須恵器出土状況



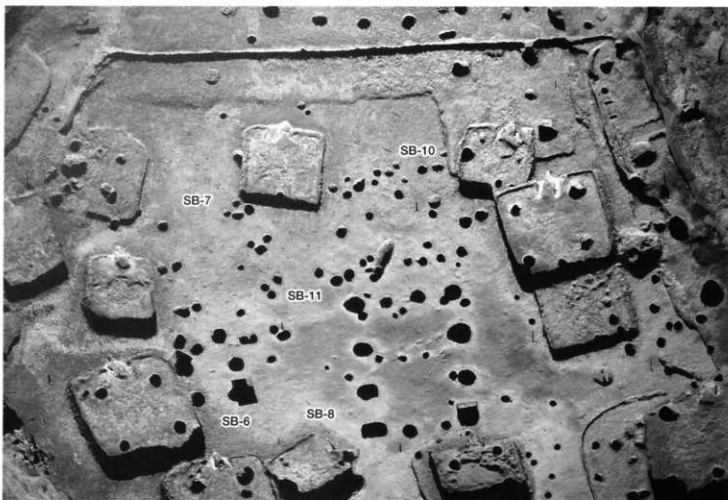
B区北部 (空撮)



B区中央部 (空撮)



B区中央部 (空撮)



B区中央部掘立柱建物跡群 (空撮)



B区南端部 (空撮)



C2区 (空撮)



SI-1



SI-1遺物出土状況



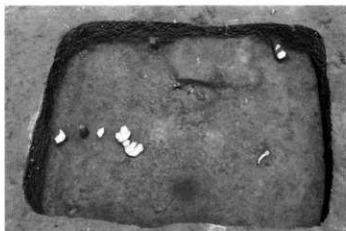
SI-1セクション



SI-1P5内遺物出土状況



SI-2



SI-2遺物出土状況



SI-3A・3B遺物出土状況



SI-3A遺物出土状況



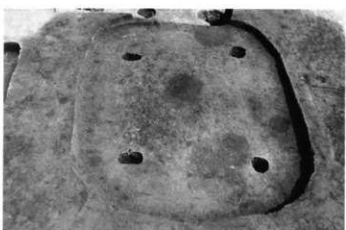
SI-4



SI-4竈



SI-5遺物出土状況



SI-5



SI-6・7A・7B遺物出土状況



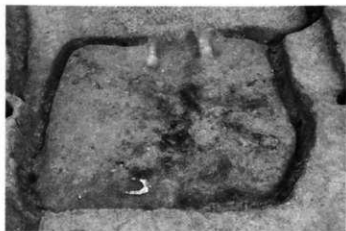
SI-6・7A・7B遺物出土状況



SI-6



SI-6遺物出土状況



SI-7A



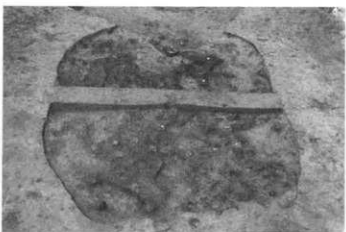
SI-7A炭化材出土状況



SI-7A跡出土状況



SI-7A跡出土状況



SI-8遺物出土状況



SI-8



SI-9遺物出土状況



SI-9



SI-11B



SI-10・11A・11B



SI-10遺物出土状況



SI-11A



SI-10遺物出土状況



SI-12B



SI-12A・12B遺物出土状況



SI-12B遺物出土状況



SI-12B遺物出土状況



SI-13遺物出土状況



SI-13竈



SI-13



SI-13耳環出土状況



SI-14



SI-14竈遺物出土状況



SI-15遺物出土状況



SI-15遺物出土状況



SI-15遺物出土状況



SI-15遺物出土状況



SI-16・29遺物出土状況



SI-16遺物出土状況



SI-16



SI-16竪



SI-17遺物出土状況



SI-17竈内遺物出土状況



SI-19遺物出土状況



SI-19



SI-19粘土及び遺物出土状況



SI-19遺物出土状況



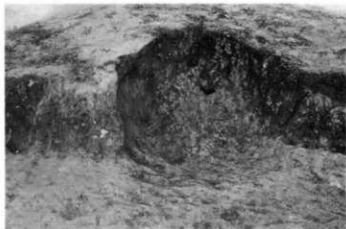
SI-19竈内遺物出土状況



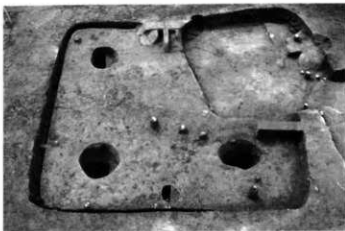
SI-19竈内遺物出土状況



SI-19竈内遺物出土状況



SI-19 甕



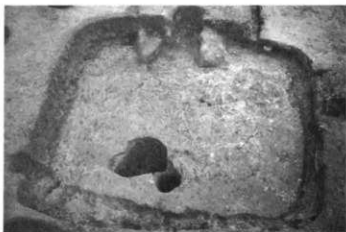
SI-20・21 遺物出土状況



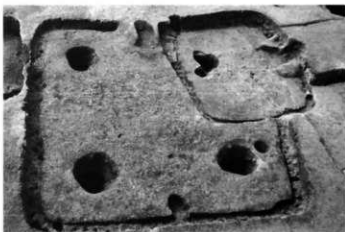
SI-20 遺物出土状況



SI-20 貼床及び遺物出土状況



SI-20



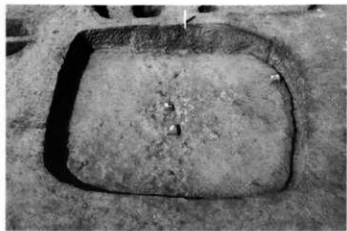
SI-20・21



SI-21 甕



SI-22A・22B



SI-22A遺物出土状況



SI-22B



SI-22B竈内遺物出土状況



SI-23



SI-23竈内遺物出土状況



SI-24



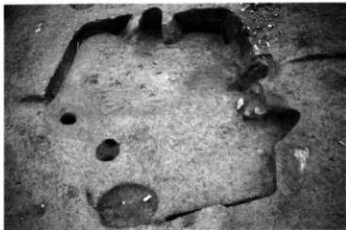
SI-24遺物出土状況



SI-24



SI-24遺物出土状況



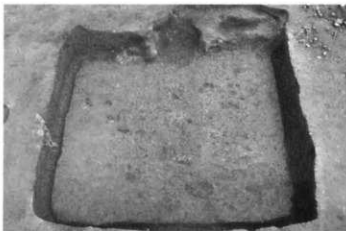
SI-25A・25B



SI-25B竈



SI-26遺物出土状況



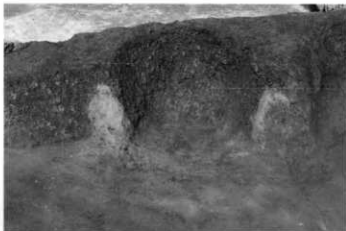
SI-26



SI-27B遺物出土状況



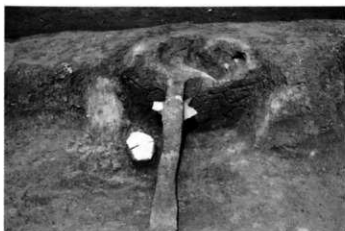
SI-27B竈内遺物出土状況



SI-27B竈



SI-27B竈内遺物出土状況



SI-27B竈内遺物出土状況



SI-27B竈



SI-27A遺物出土状況



SI-27A竈



SI-27A遺物出土状況



SI-27C



SI-27A竈



SI-27A



SI-27A竈内セクション



SI-27C遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-29A・29B



SI-29A竈



SI-28・29A・29B遺物出土状況



SI-26遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-29A・29B遺物出土状況



SI-28・29A・29B遺物出土状況



SI-30A・30B・30C



SI-30A



SI-30A遺物出土状況



SI-31



SI-32遺物出土状況



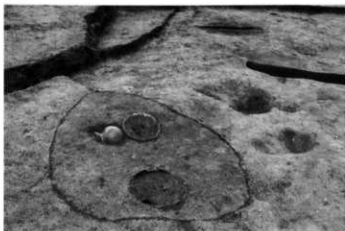
SI-32遺物出土状況



SI-32遺物出土状況



SI-33遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



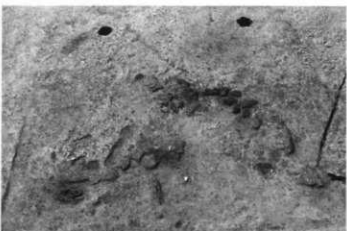
SI-33P3遺物出土状況



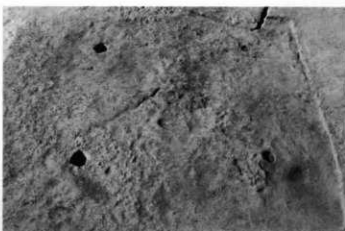
SI-33P3遺物出土状況



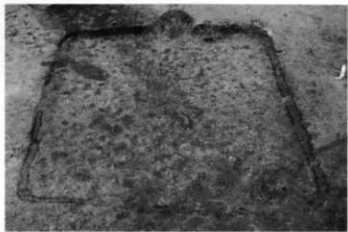
SI-33P3遺物出土状況



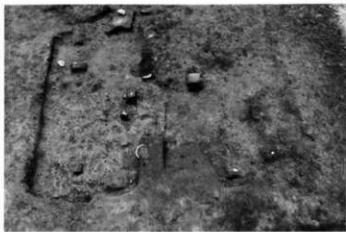
SI-34炭化材出土状況



SI-34



SI-35



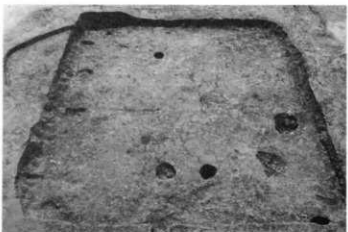
SI-35遺物出土状況



SI-35窟内遺物出土状況



SI-36



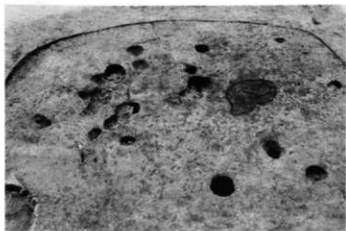
SI-37



SI-37遺物出土状況



SI-37



SI-39



SI-40遺物出土状況



SI-40



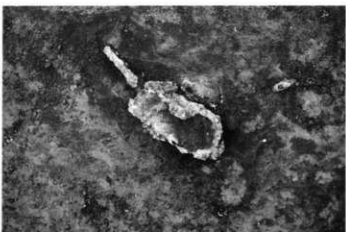
SI-41



SI-42



SI-43



SI-43遺物出土状況



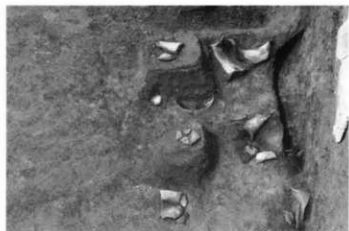
SI-44



SI-45



SI-46A・46B



SI-46A遺物出土状況



SI-47遺物出土状況



SI-47竈遺物出土状況



SI-47



SI-48



SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



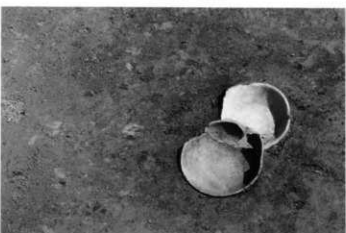
SI-49



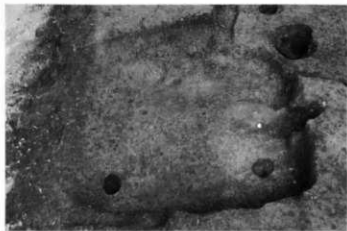
SI-49遺物出土状況



SI-49遺物出土状況



SI-49遺物出土状況



SI-50



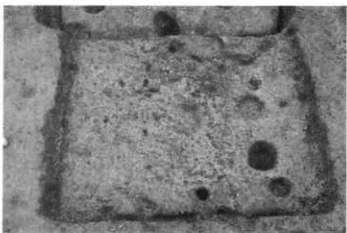
SI-50遺物出土状況



SI-50遺物出土状況



SI-50竈B



SI-51



SI-51遺物出土状況



SI-52



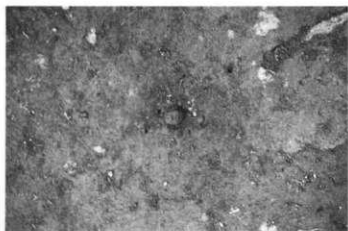
SI-52竈



SI-53A・53B



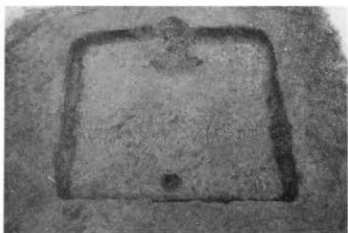
SI-53A



SI-53B種子出土状況



SI-53A窟



SI-54



SI-55遺物出土状況



SI-55遺物出土状況



SI-56



SI-57



SI-57遺物出土状況



SI-57竈



SI-57竈出土状況



SI-57カヤ出土状況



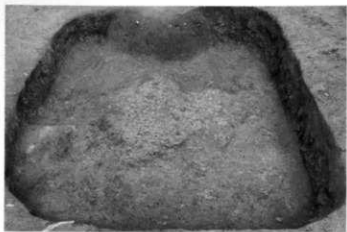
SI-57カヤ出土状況



SI-58B遺物出土状況



SI-58A・58B遺物出土状況



SI-59



SI-59遺物出土状況



SI-60



SI-60遺物出土状況



SI-60遺物出土状況



SI-60遺物出土状況



SI-62



SI-62竈



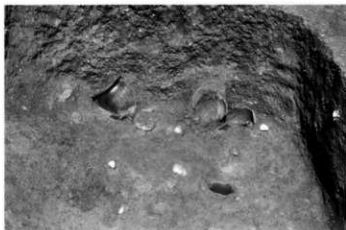
SI-63



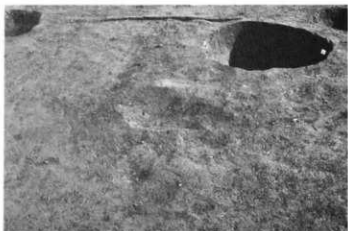
SI-64



SI-64



SI-64遺物出土状況



SI-65



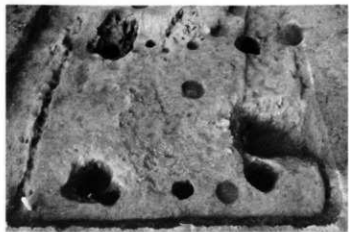
SI-66



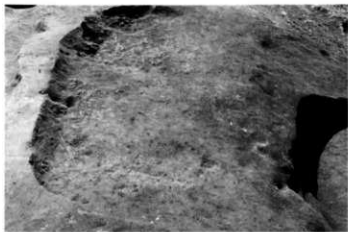
SI-67



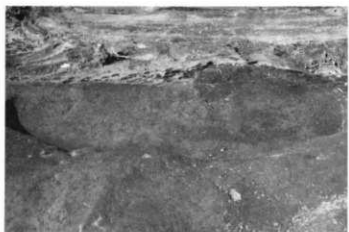
SI-67遺物出土状況



SI-68



SI-69



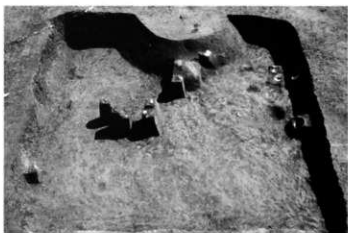
SI-70



SI-70遺物出土状況



SI-71



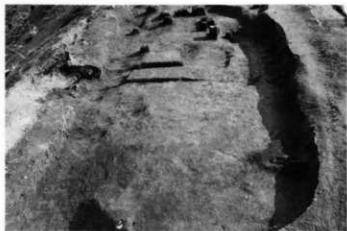
SI-71遺物出土状況



SI-71竈内遺物出土状況



SI-71遺物出土状況



SI-72遺物出土状況



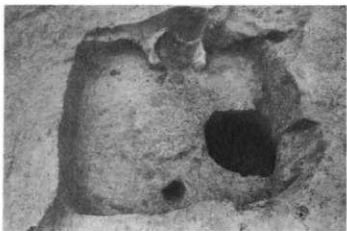
SI-73A・73B



SI-73A・73B遺物出土状況



SI-74



SI-77



SI-77竈内遺物出土状況



SI-78



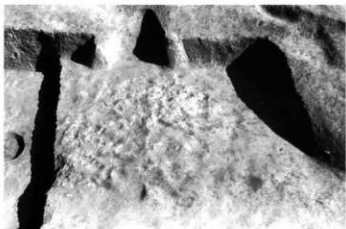
SI-78遺物出土状況



SI-78竈内遺物出土状況



SI-79A



SI-79B



SI-79B竈内遺物出土状況



SI-80A・80B



SI-80A・80B



SI-81



SI-81竈内遺物出土状況



SI-82



SI-82遺物出土状況



SI-83遺物出土状況



SI-83窟



SI-84A



SI-84A・84B遺物出土状況



SI-84A窟A



SI-84A窟B



SI-84A窟B断面



SI-85A



SI-85A



SI-86遺物出土状況



SI-87



SI-89遺物出土状況



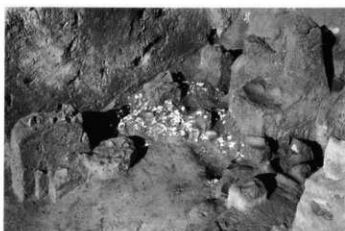
SX-90



SX-90遺物出土状況



SX-90



SX-90遺物出土状況



SX-90遺物出土状況



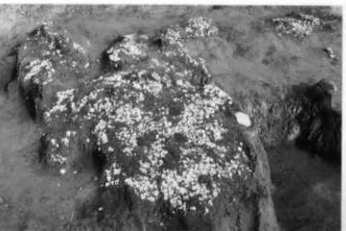
SX-90貝検出状況



SX-90遺物出土状況



SX-90遺物出土状況



SX-90貝検出状況



SX-90貝検出状況



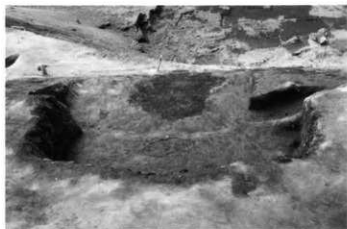
SX-90貝層堆積狀況



SX-90貝層堆積狀況



SX-90貝層堆積狀況



SI-90B



SI-90B



SI-90B窟內遺物出土狀況



SI-90B・90C



SI-91



SI-91遺物出土状況



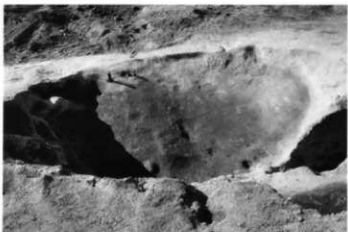
SI-92A



SI-92A裏



SI-92A・92B



SK-22



SK-22遺物出土状況



SI-94A・94B・94Cセクション



SI-94Cセクション



SI-94A・94B



SI-94A・94B・94C



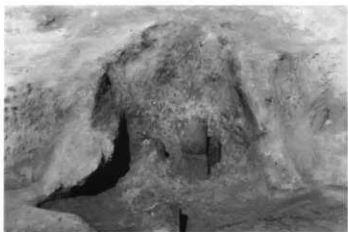
SI-94A・94B・94C



SI-94A竈



SI-95



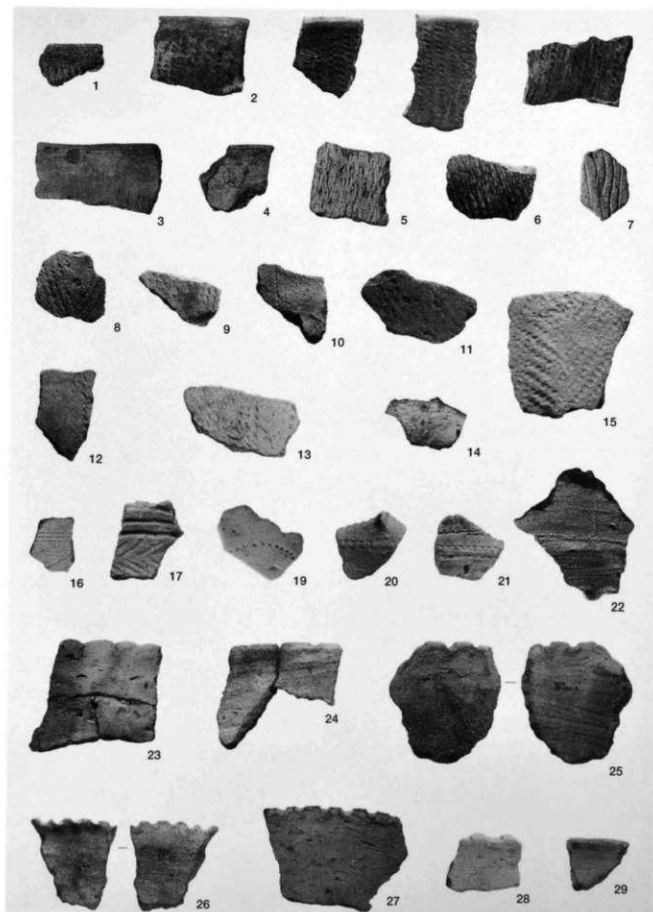
SI-95竈支脚出土状況



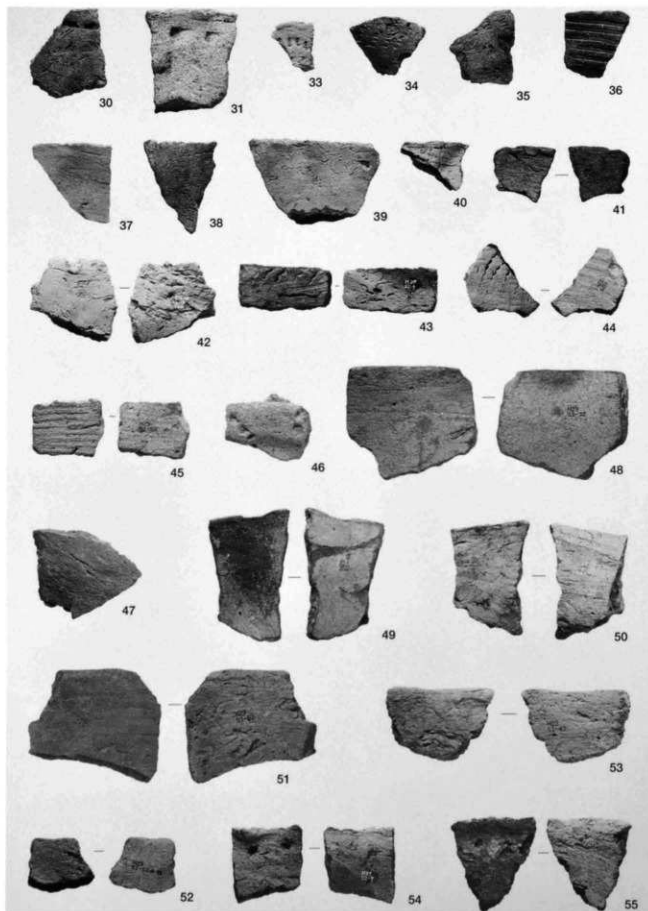
SI-96A・96B・96C

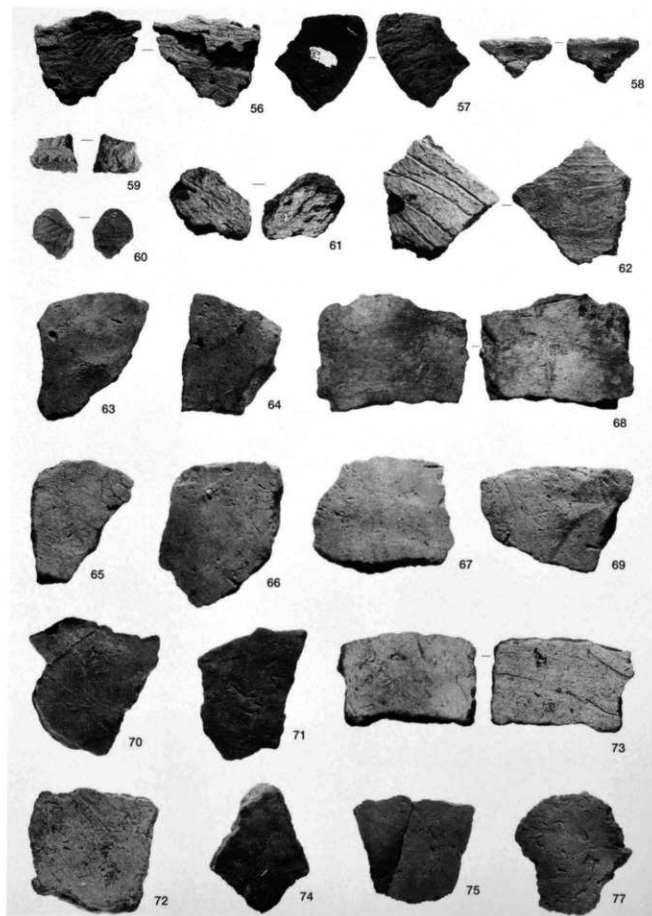


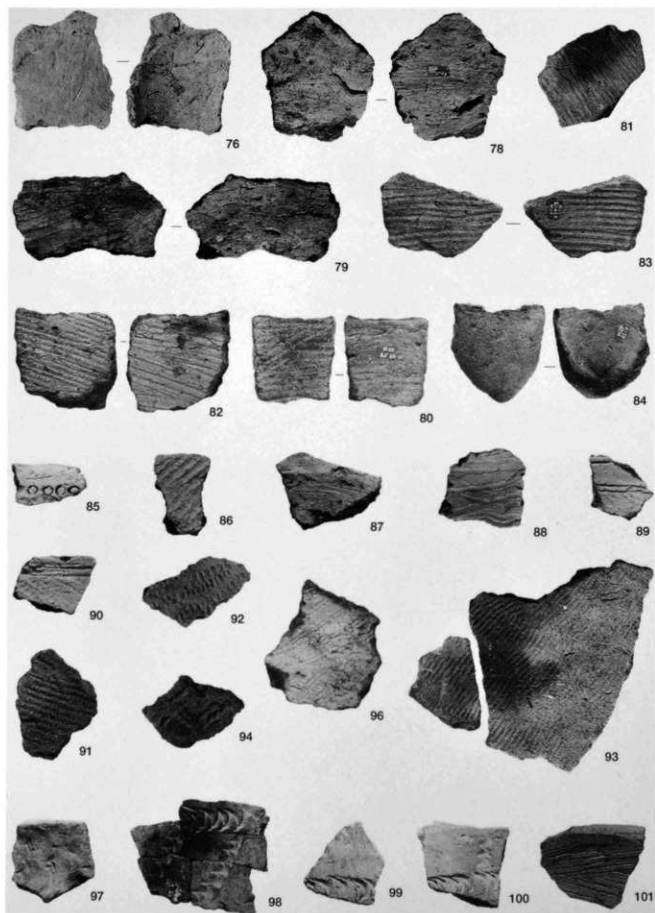
SI-96B床面



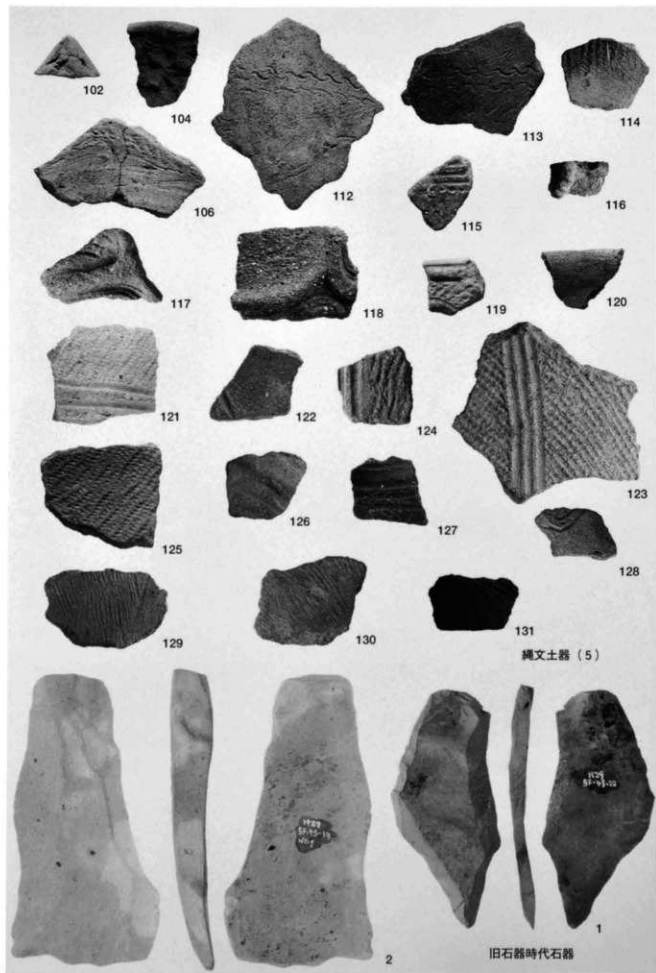
縄文土器 (1)





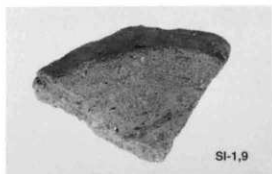


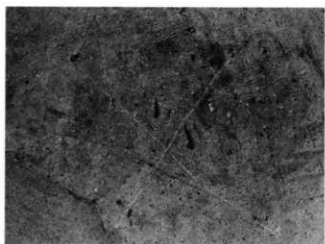
绳文土器 (4)



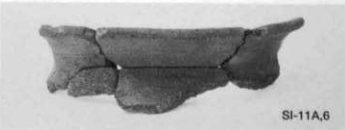
縄文土器 (5)

旧石器時代石器











SI-11B,1



SI-13,3



SI-13,1



SI-13,4



SI-13,2



SI-13,5



SI-13,6



SI-13,7



SI-13,8





SI-13,9



SI-13,10



SI-14,1



SI-14,2



SI-14,3



SI-15,1



SI-15,2



SI-15,3



SI-15,4



SI-15,5



SI-15,7



SI-15,6



SI-16,2



SI-16,4



SI-17,1



SI-17,2



SI-19,1



SI-19,5



SI-19,2



SI-19,6



SI-19,13



SI-19,16



SI-19,15



SI-20,2



SI-20,5



SI-20,4



SI-22A・22B,1



SI-22A・22B,2



SI-22A・22B,3



2の底部



SI-22A · 22B,4



SI-22A · 22B,5



SI-23,1



SI-23,6



SI-23,2



SI-23,9



SI-23,7



SI-24,1



SI-24,2



SI-24,3



SI-24,5



SI-24,4



SI-24,6



SI-25A,1



SI-25B,3



SI-25B,2





SI-27C,2



SI-27C,3



SI-27C,5



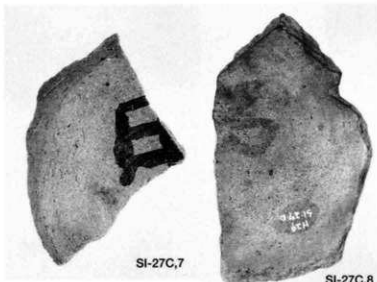
SI-28,2



SI-28,3



SI-28,4



SI-27C,7

SI-27C,8



SI-28,6



SI-28,9



SI-28,11



SI-28,12



SI-28,13



SI-29A,2



SI-29A,3



SI-28,16



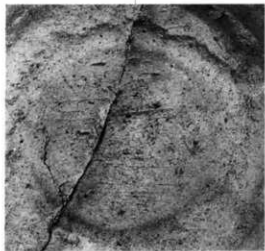
SI-29B,1



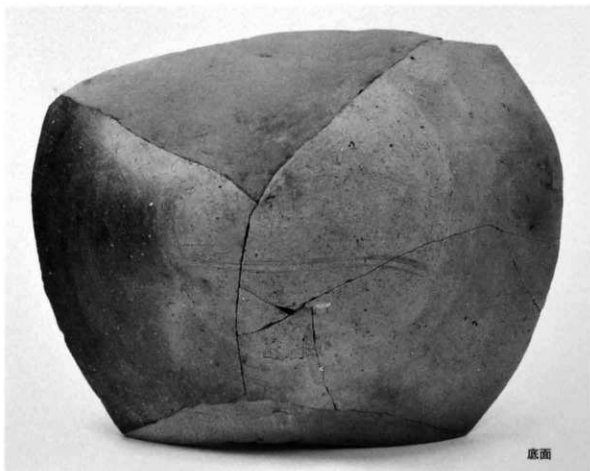
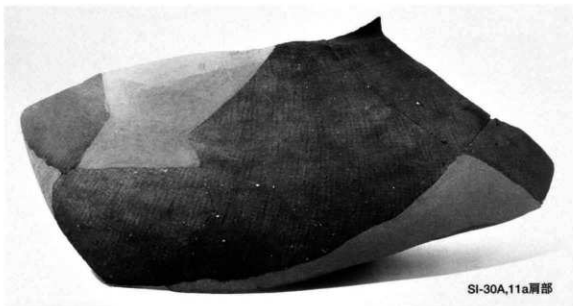
SI-30A,1



SI-30A,2



SI-30A,8





SI-30B,1



SI-30C,1



SI-30D,1



SI-31,1



SI-30D,2



SI-32,1



SI-32,6



SI-32,2



SI-32,4



SI-32,7





SI-35,1



SI-35,2



SI-35,4



SI-40,1



SI-42,2



SI-42,3



SI-35,3



SI-44,1



SI-44,2



SI-44,3



SI-46A・46B,1



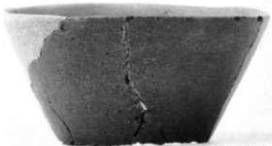
SI-46A・46B,2



SI-46A・46B,3



SI-46A・46B,4



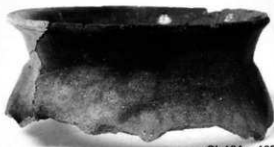
SI-46A・46B,8



SI-47,1



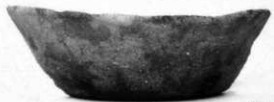
SI-47,1の内面墨書「田」



SI-46A・46B,10



SI-46A・46B,13



SI-47,3



SI-47,4



SI-47,13



SI-47,15





SI-49,7



SI-49,9



SI-49,8



SI-49,11



SI-49,10



SI-49,12



SI-50,1



SI-50,2



SI-50,3



SI-51,1



SI-52,2



SI-53A,1



SI-55,1



SI-57,1



SI-57,2



SI-57,3



SI-55,2



SI-58A · 58B,1



SI-55,3



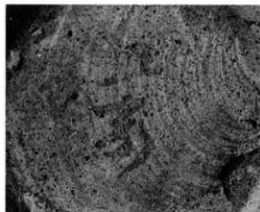
SI-58A · 58B,2



SI-55,4



SI-58A · 58B,7





SI-59,9



SI-59,10



SI-60,1



SI-60,6



SI-60,2



SI-60,7



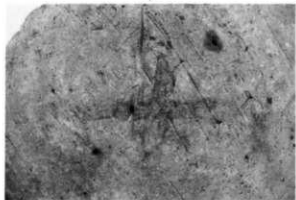
SI-60,3



SI-60,8



SI-60,4



SI-60,9



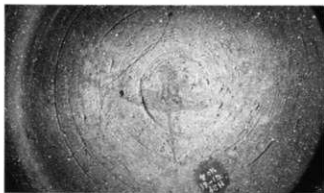
SI-60,5



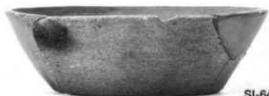
SI-61,4



SI-61,6



SI-61,8



SI-64,1



SI-64,2



SI-64,5



SI-64,4



SI-64,6



SI-64,7



SI-64,8



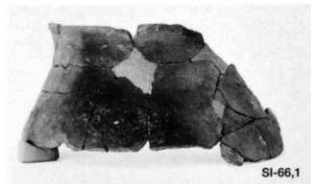
SI-64,9



SI-64,10



SI-67,1



SI-66,1



SI-68,1



SI-71,1



SI-70,1





SI-71,2



SI-71,3



SI-71,4



SI-71,5



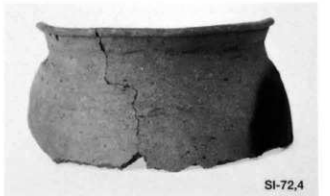
SI-72,1



SI-72,3



SI-72,2



SI-72,4



SI-73A,2



SI-73A,4



SI-73A,3



SI-73A,5



SI-73A,6



SI-73A,9



SI-74,1



SI-73A,11



SI-76,1



SI-76,2



SI-77,5



SI-77,1



SI-78,1



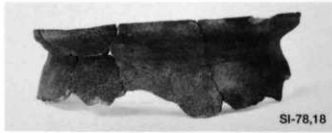
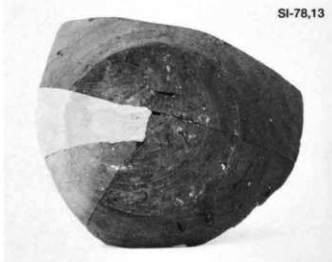
SI-77,2



SI-78,2



SI-77,3





SI-78,21



SI-78,22



SI-79A,1



SI-78,24



SI-79A,2



SI-79B,6



SI-79B,2



SI-79B,7



SI-79B,3



SI-79B,4



SI-79B,9



SI-80A,1



SI-80A,2



SI-80A,4



SI-80A,8



SI-81,3



SI-81,5



SI-80A,6



SI-81,8





SI-84C,2



SI-84C,4



SI-84C,5



SI-84D,2



SI-84D,1



SI-84D,4



SI-85A · 85C,3



SI-85A · 85C,1



SI-85A · 85C,2



SI-85A · 85C,5



SI-86,1



SI-86,3



SI-86,2



SI-86,4



SI-91,1



SI-91,6



SI-91,2



SI-91,7



SI-91,3



SI-92A,3



SI-92A,1



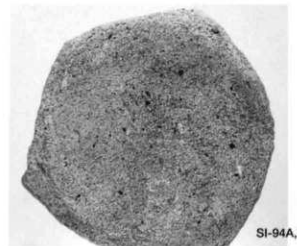
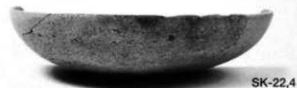
SI-92A,4

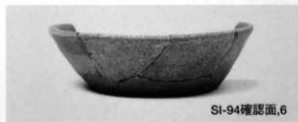
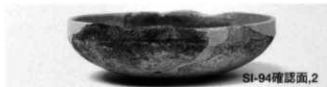
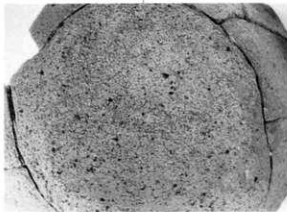


SI-92A,2



SI-92A,5









SI-95,10



SI-95,11



SI-95,12



SI-95,13



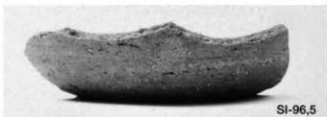
SI-95,16



SI-95,19



SI-96,1



SI-96,5



SI-96,2



SI-96,3



SI-96,6



SX-90,1



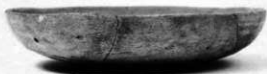
SX-90,8



SX-90,2



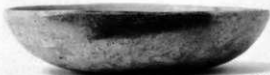
SX-90,9



SX-90,3



SX-90,10



SX-90,4



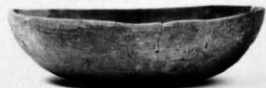
SX-90,11



SX-90,5



SX-90,12



SX-90,6



SX-90,14



SX-90,7



SX-90,15





SX-90,30



SX-90,31



SX-90,32



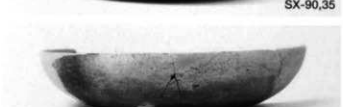
SX-90,33



SX-90,34



SX-90,35



SX-90,36



SX-90,37



SX-90,38



SX-90,39



SX-90,40



SX-90,41



SX-90,42



SX-90,43



SX-90,44





SX-90,58



SX-90,62



SX-90,59



SX-90,63



SX-90,60



SX-90,61



SX-90,65



SX-90,64



SX-90,67



SX-90,68



SX-90,70



SX-90,73



SX-90,75



SX-90,78



SX-90,80



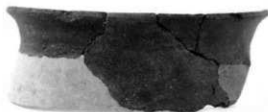
SX-90,82



SX-90,91



SX-90,84



SX-90,99



SX-90,85



SX-90,108



SX-90,88



SX-90,110



SX-90,115



SX-90,117



SX-90,120



SX-90,118



SX-90,124



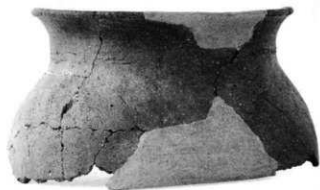
SX-90,123



SX-90,127



SX-90,129



SX-90,131



SX-90,136



SX-90,132



SX-90,137



SX-90,134



SX-90,141



SX-90,146



SX-90,135



SX-90,147



SI-12,6



SI-16,5



SI-16,6



SI-19,17



SI-25B,5



SI-27C,9



SI-28,18



SI-62,1



SI-82,7



SI-84A,16



SI-57,11



SI-80A,11



SI-92A,8

SI-78,28



SI-95,25



SX-90,158



SX-90,159



SX-90,160



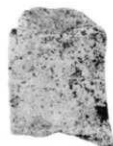
SI-2,5



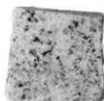
SI-9,2



SI-10,10



SI-11A,8



SI-13,12



SI-17,7



SI-23,12



SI-30A · B · C,9



SI-30D,3



SI-32,10



SI-47,17



SI-48,11



SI-56,3



SI-59,12



SI-59,14



SI-60,10



SI-64,15



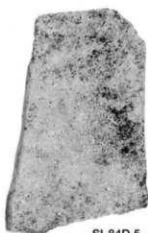
SI-79A,4



SI-79A,5



SI-91,8



SI-84D,5



SI-2,6



SI-4,8



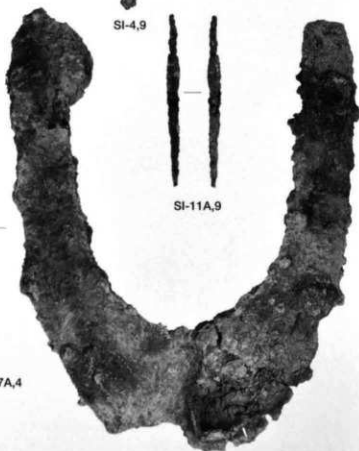
SI-4,9



SI-4,10



SI-7A,4



SI-11A,9



SI-11B,5



SI-16,8



SI-16,7



SI-23,10



SI-23,11



SI-19,18



SI-26,11



SI-26,12



SI-27A,12



SI-27A,13

SI-27A,14



SI-29A,5

SI-29A,6



SI-29B,4

SI-33,7



SI-30A,10



SI-43,2



SI-49,14



SI-44,12



SI-49,15



SI-50,4



SI-43,3



SI-57,12

SI-53A,4



SI-59,15



SI-61,9



SI-62,2



SI-64,11



SI-64,12



SI-64,13



SI-64,14



SI-76,3



SI-71,7



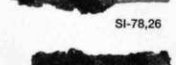
SI-78,25



SI-78,26



SI-78,27



SI-84A,20



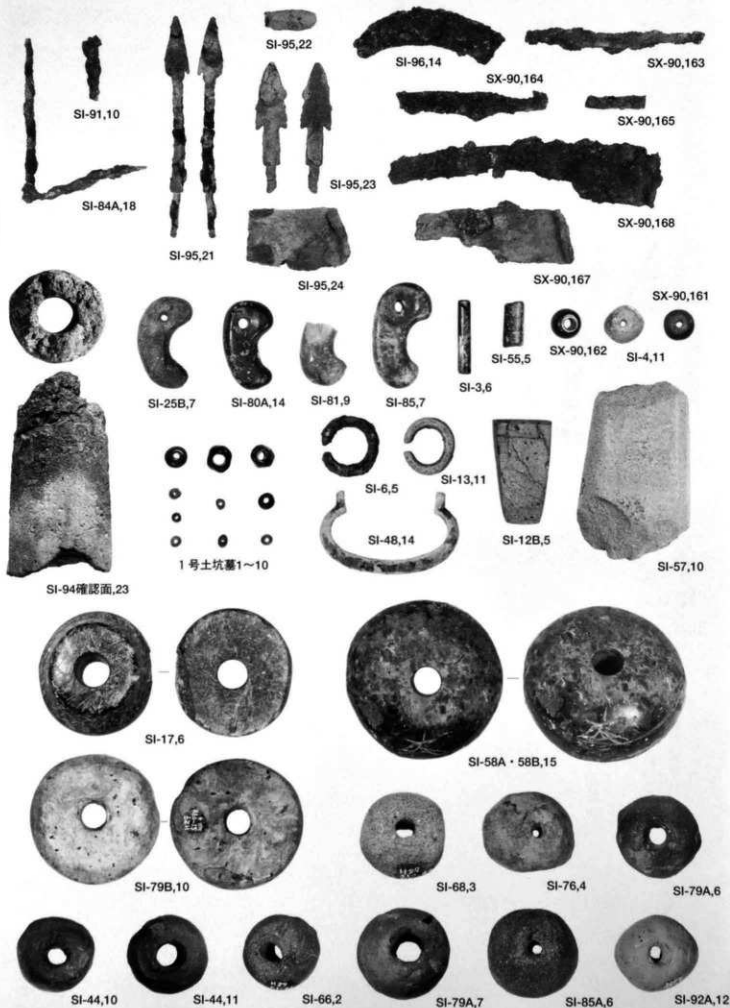
SI-79A,8



SI-80A,13



SI-84A,19





SI-101



SI-101竈



SI-101遺物出土状況



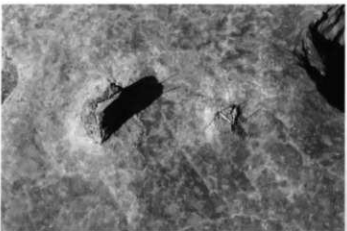
SI-101遺物出土状況



SI-102遺物出土状況



SI-102遺物出土状況



SI-102遺物出土状況



SI-102・SB-19



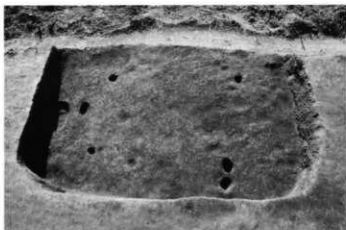
SB-19



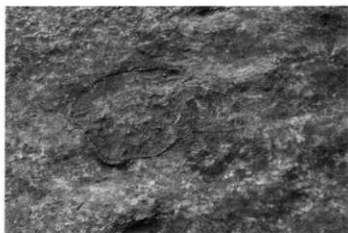
SI-104・106



SI-109遺物出土状況



SI-110



SI-110炉



SI-111遺物出土状況



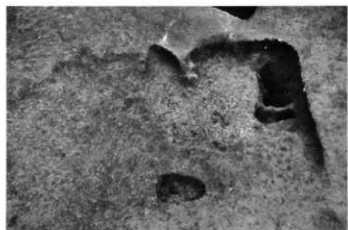
SI-112遺物出土状況



SI-112遺物出土状況



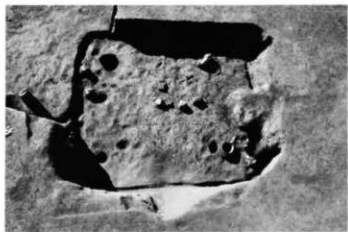
SI-113遺物出土状況



SI-114



SI-114P4遺物出土状況



SI-115遺物出土状況



SI-115竈



SI-115・116遺物出土状況



SI-116遺物出土状況



SI-116竈内遺物出土状況



SI-117遺物出土状況



SI-117遺物出土状況



SI-117竈



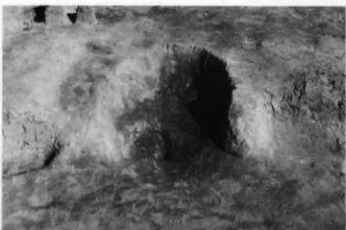
SI-118遺物出土状況



SI-118竈



SI-119遺物出土状況



SI-119竈



SI-120



SI-120遺物出土状況



SI-120遺物出土状況



SI-120遺物出土状況



SI-121遺物出土状況



SI-121竈



SI-122・117・118



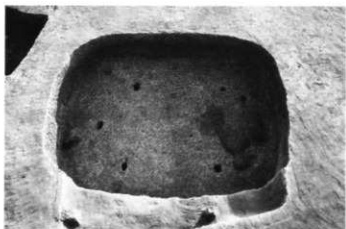
SI-122坪



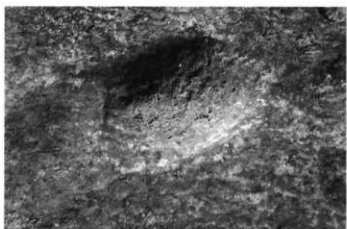
SI-123遺物出土状況



SI-123遺物出土状況



SI-124遺物出土状況



SI-124炉



SI-125遺物出土状況



SI-125竈



SI-126



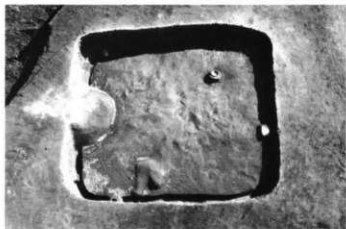
SI-126遺物出土状況



SI-126遺物出土状況



SI-126垂飾出土状況



SI-127遺物出土状況



SI-127竈



SI-128



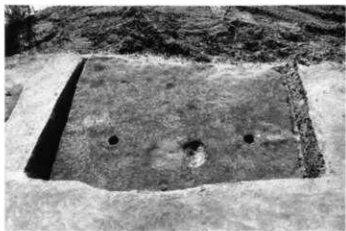
SI-128遺物出土状況



SI-129遺物出土状況



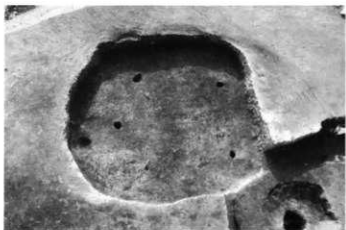
SI-129遺物出土状況



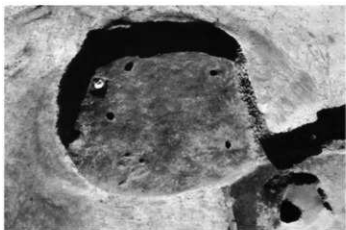
SI-130



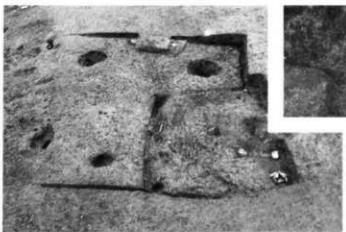
SI-130遺物出土状況



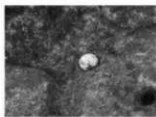
SI-131



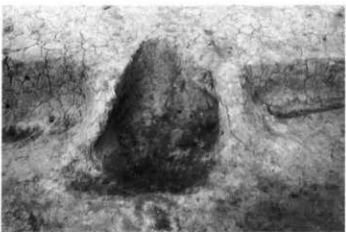
SI-131遺物出土状況



SI-132・133遺物出土状況



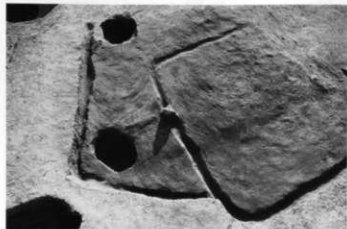
SI-132遺物出土状況



SI-132窟



SI-133窟



SI-134·135遺物出土状況



SI-135遺物出土状況



SI-136



SI-146遺物出土状況



SI-147遺物出土状況



SI-148



SI-149遺物出土状況



SI-150



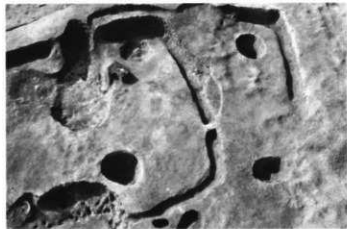
SI-151遺物出土状況



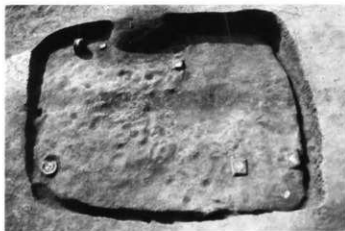
SI-152遺物出土状況



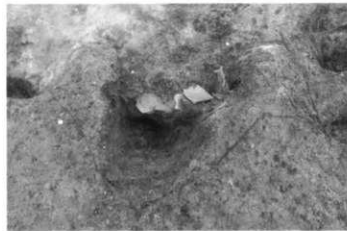
SI-152遺物出土状況



SI-153



SI-154遺物出土状況



SI-154竈内遺物出土状況



SI-155遺物出土状況



SI-155竈内遺物出土状況



SI-157遺物出土状況



SI-157窟



SI-158



SI-158窟



SI-159遺物出土状況



SI-159



SI-161



SI-162遺物出土状況



SI-163遺物出土状況



SI-163遺物出土状況



SB-18A



SB-18A・18B



SB-18A・18B遺物出土状況



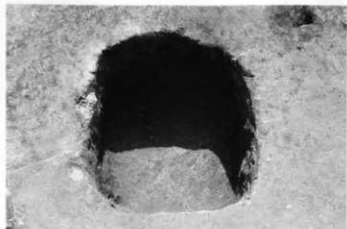
SB-20



SB-21



SD-20



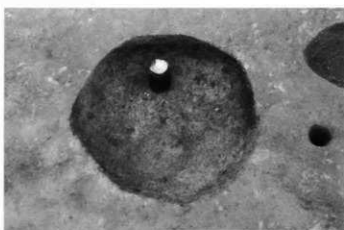
2号土坑墓



3号土坑墓



2号土坑



3号土坑遗物出土状况



4号土坑



4号土坑遗物出土状况



3号炭窟



3号炭窟



3号炭窯



3号炭窯セクション



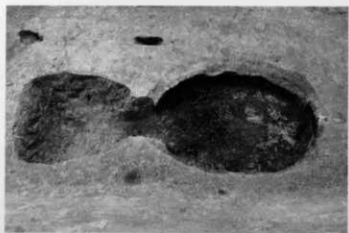
4号炭窯



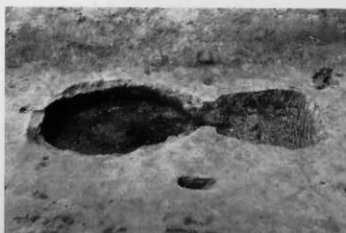
4号炭窯完掘



5号炭窯遺物出土状況



5号炭窯



5号炭窯



5号炭窟



5号炭窟



5号炭窟



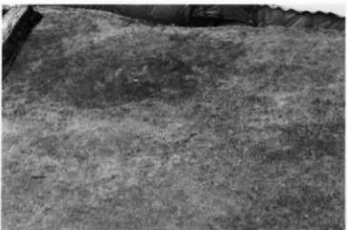
5F85-17 (中世硬化面)



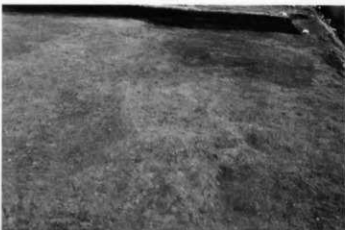
5F85-17 (中世硬化面)



5F85-17 (中世硬化面)



5F85-17 (中世硬化面)



5F85-17 (中世硬化面)







SI-110,3



SI-111,1



SI-110,5



SI-111,2



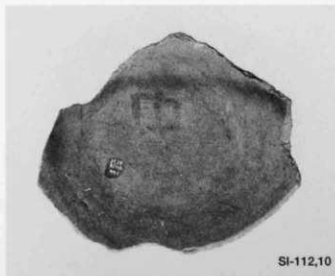
SI-112,1



SI-112,9



SI-112,2



SI-112,10



SI-112,3



SI-112,4









SI-115,5



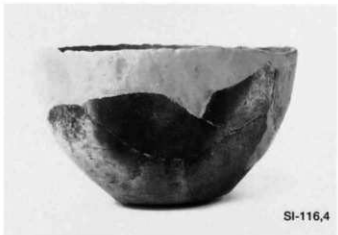
SI-115,7



SI-115,6



SI-116,1



SI-116,4



SI-116,3



SI-117,1



SI-117,4



SI-117,2



SI-117,5

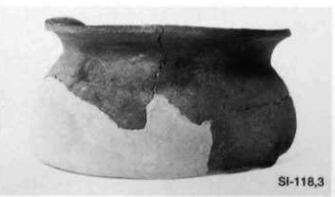
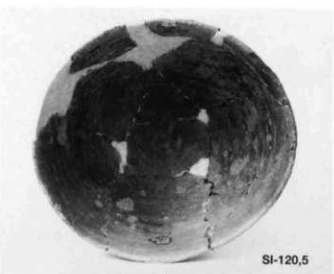


SI-117,3



SI-117,6







SI-120,6



SI-120,11



SI-120,7



SI-120,12



SI-120,9



SI-120,13



SI-120,10



SI-121,1



SI-122,1



SI-123,1



SI-122,2



SI-123,2



SI-122,3



SI-125,1



SI-122,5



SI-125,3



SI-125,4

SI-125,5



SI-122,6





SI-130,10



SI-130,1



SI-130,16

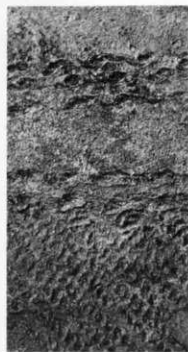


SI-130,9

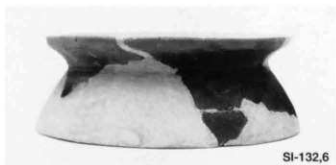




SI-131,1



SI-132,1



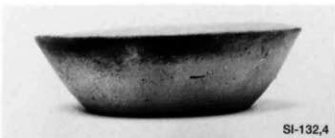
SI-132,6



SI-132,2



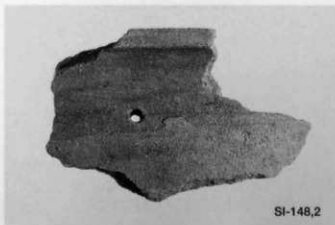
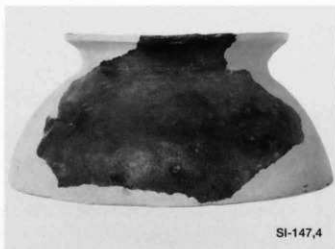
SI-132,3

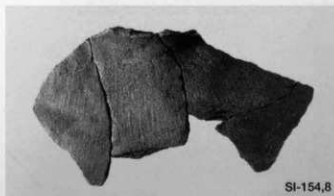
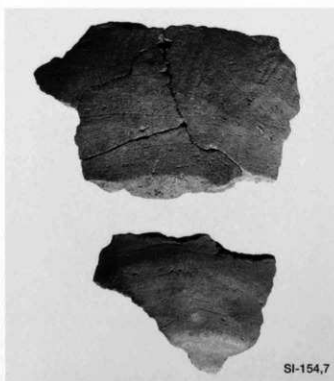


SI-132,4



SI-132,7







SI-154,9



SI-154,9



SI-154,9



SI-155,1



SI-157,1



SI-155,4



SI-157,2



SI-155,5



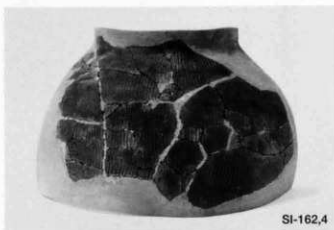
SI-158・159,1



SI-158・159,2



SI-162,1



SI-162,4



SI-162,3



SI-163,1



SI-163,6



SI-163,2



SI-163,4



SI-163,3



SI-163,5



SI-163,8



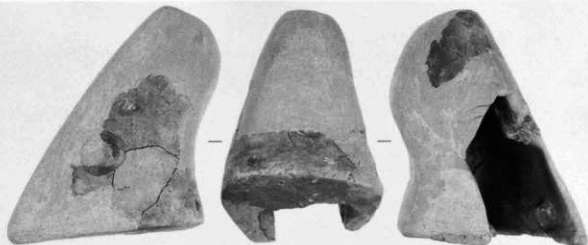
SI-163,9



SI-163,13



SI-101,22



SI-111,9



SI-102,8



SI-111,10



SI-107,6



SI-109,12



SI-128,2



遺構外,23



遺構外,24



SI-110,7



SI-122,8



SI-126,7

遺構外,20



SI-102,4



SI-110,6



SI-113,21



SI-126,8



SI-101,23



SI-113,20



SI-124,4



SI-126,6



SI-130,20



SI-141,3



遺構外,21



遺構外,22



神山谷遺跡出土貝類

- 1・2. ダンベイキサゴ、3. クボガイ類、4. カワニナ、5. オオタニシ、6. メガイアワビ、
 7. フジノハナガイ、8. コタマガイ、9. マガキ、10. アサリ、11. ワスレガイ、12. シオフキガイ、
 13. カガミガイ、14. オオノガイ、15. サトウガイ、16. チョウセンハマグリ

報告書抄録

ふりがな	かみやまたにいせき
書名	神山谷遺跡(1)
副書名	ひかり工業団地内埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	Ⅲ
シリーズ名	財団法人 東総文化財センター発掘調査報告書
シリーズ番号	第25集
編著者名	岸本雅人、宮内勝巳、本多昭宏
編集機関	財団法人 東総文化財センター
所在地	〒289-1727 千葉県匝路郡光町宮川字宮内前2334
発行年月日	西暦 2002年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		経度	緯度	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
神山谷遺跡	千葉県匝路郡光町字孫本	12381	29	140° 29' 54"	35° 41' 54"	1995.4.6~ 1997.10.9	22,200m ²	工業団地造成に伴う埋蔵文化財調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
神山谷遺跡	集落跡 古墳 城跡	旧石器時代		網片		
		縄文時代	落とし穴 焼土跡	12基 3基	縄文土器(早・前・中・晩期)、石器、土製品	
		弥生時代	竪穴住居跡 土坑墓	7軒 1基	弥生土器(中・後期)、ガラス玉	
		古墳時代	竪穴住居跡 古墳	63軒 4基	土師器、須恵器、石製品、土製品、鉄製品、磁石	やや尾根状の台地に展開する大規模集落
		奈良・平安時代	竪穴住居跡 土坑 特殊遺構	120軒 1基 2基	土師器、須恵器、土製品、石製品、鉄製品、金銅製品、磁石	
		中世・近世	擬立柱建物跡 土坑墓 土坑 地下式坑 井戸 炭窯 溝・堀・道	2基 3基 42基 2基 1基 5基 30条	茶釜、五輪塔、銭貨、磁石	

財団法人 東総文化財センター発掘調査報告書第25集

神 山 谷 遺 跡 (1)

—ひかり工業団地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—

平成14年3月31日発行

編 集 財団法人 東総文化財センター
発 行 千 葉 県 企 業 庁
千葉県千葉市中央区長洲1丁目9番1号
財団法人 東総文化財センター
千葉県匝路郡光町宮川字宮内前2334
印 刷 株式会社 エ リ ー ト 印 刷

附 圖



附圖 神山寺遺跡及び阿含山遺跡 (遺存城跡) 遺跡分布圖